

あいちの子育て・ 教育・文化動向

2001・1~12

大橋 基博編

1月

3日 名古屋市中生涯学習センターが講演を依頼した後で、その人が交流するメンバーに教科書裁判を支援していた人がいることなどを理由に講演依頼を取り消していたことがわかった

7日 東海豪雨で大きな被害を受けた西枇杷島町の古城小学校で16年前に埋めたタイムカプセルの開封式があった

11日 犬山市教委、「小人数授業」導入に伴い市費で非常勤講師を募ることを決めた（中11日 中川署が逮捕した少年グループや暴走族が暴力団に月100万円、「上納」していたことがわかった（中日）

12日 県、当初予算案で、各児童相談所に「危機児童・家庭サポートチーム」を編成すること、非常勤の精神科医4名を配置することを盛り込んだ

14日 愛知県高校教職員組合、教育研究全国集会で、生徒へのセクハラを教職員の3分の1が見聞きしていたこと、教職員間でのセクハラも3分の1の教職員があると回答したと報告

15日 「大曾根中学校に障害児学級をつくる会」、名古屋市教育長に要請書を提出

17日 県教委、半田市内に肢体不自由児の養護学校を2004年度に新設する方針を固めた

18日 名古屋市、2001年度から小学1年生を対象に、30人学級の試行に取り組む方針を明らかにした

18日 5000万円恐喝事件が起きた名古屋市緑区の中学校の学区が分割され、中学が新設されることが明らかにされた

20日 あいち公立高校父母連絡会『公立学校をひろく』刊行

23日 県警少年課、昨年1年間に県警に逮捕された中学生は194人で前年の56人を大きく上回ったこ

とを明らかにした（朝日）

23日 春日井市、「児童虐待防止協議会」を設置し、初会合を開く。県内の自治体では初の取組

26日 武豊町で、同居していた女性の長女（当時3歳）と長男（当時2歳）を熱湯が入った浴槽につけて脚に大やけどを負わせたとして男が傷害の疑いで逮捕された

26日 県、2000年度中に児童相談所が相談を受けた虐待事例の点検結果を発表、虐待の可能性のある事例を30件、半年以上放置していた

27日 安城市小中学校PTA連絡協議会、インターネット上に「安城のPTA」と題したHP開設

31日 名古屋地裁、旅費を二重取りしていた校長会メンバーの名前を公開するよう判決

2月

3日 名古屋市、「小人数授業」を行うため、2001年度からすべての市立中学校に「支援講師」として2人以上の教員を配置することを決めた

5日 養護学校教諭、自身の勤務評定書を全面開示しなかった県教委に対して異議を申し立てた

8日 名古屋市熱田区の小学校の教諭が1年生の女儿にわいせつ行為をし諭旨免職になっていたことがわかった

8日 県情報公開審査会、教科書を選ぶ地区協議会の議事録の非公開処分を妥当と答申、今後は公開を前提に手続を進めるよう要望

9日 碧南市の元教師が同市内にフリースクール「ファンタジック・ペーター」を開設

11日 日進市は新年度から市内のすべての小学校で、低学年の授業に非常勤の補助教員を配置する方針を固めた（朝日）

13日 県、2001年度当初予算案を発表、県教委所管予算は前年比で1.1%の増、県予算に対する割合は23.5%で前年より0.2ポイント減

15日 名古屋市中村区の亀島、本陣、則武3小学校の学区住民が、統合に合意し、早期の新小学校設置を求める要望書を提出

18日 犬山市教委、事務局内に「学校教育客員指導

主幹」という独自のポストを新設することにした。

中京大学杉江修治教授が就任予定

19日 名古屋市、新年度予算案に児童虐待対策に前年度の5倍にあたる4900万円を計上

22日 県個人情報保護審議会、教員の処分の決済文書中の校長の意見などは非開示とする県の決定を支持

23日 名古屋地裁、県立高校教諭の請求を一部認め、休養室への冷房設置を認めなかった人事委員会の判定の取消を命じた、その他の請求は棄却

25日 県教委、県立高校の授業料等の減免の範囲を縮小する方針を決めた（朝日）

25日 少人数学級を求めるあいち県民のつどい開催

25日 名古屋市名東区で高校3年生の双子の弟が、自殺未遂の後遺症で寝たきりとなった兄（当時17歳）の将来を悲観してナイフで刺殺し、自分も自殺して心中を図ろうとした

27日 名古屋市名東区の中学の教師が、96年、授業に遅刻した生徒に水で薄めた塩酸を飲ませていたことがわかった

27日 福岡県で名古屋市内の高校2年生の女子がメール友達と心中を図った

3月

2日 小牧市の主婦が「昨年夏に死亡した6女（当時2歳）をクーラーボックスに入れてベランダに放置した」と小牧署に自首。死体遺棄容疑でこの母親を逮捕。後に兄（当時14歳）を検挙

2日 県警、学校でのいじめや恐喝についての特別相談会を3月末に名古屋市内で開催へ（朝日）

5日 県芸術文化協会、総合学習に「芸術」を取り入れてもらおうと同協会員が講師を務めることができる授業を一覧にした「アーティストバンク」を創設し、3月からリストの配布を開始した（毎日）

12日 名古屋市教委、2001年度から全小学校のトイレの状況を調べることを明らかにした

18日 長久手町で子育ての不安や悩み相談に、専門的なスタッフが応じる市民団体「はーとねっと」が

立ち上がった（中日）

22日 県立高等学校適正規模等検討会議最終報告「21世紀における魅力と活力ある県立高等学校づくりについて」報告

22日 名古屋市、トワイライトスクールと学童保育について両事業を調整する検討委員会を設置する考えを示した

23日 県個人情報保護審議会は同県の児童相談所が作成した「児童記録票」について一部を除き開示するよう答申

25日 美浜町のコンビニで少年らがもみあい、自動車修理工（当時18歳）が死亡し、少年8人が傷害致死などの疑いで逮捕された

26日 名古屋市内の私立学校で、セクハラのため3教師が依願退職することになった（朝日）

26日 県、県職員採用で国籍要件を全廃すると発表

27日 日進市、子育て情報誌「にっぴー」を発行、編集は地元の母親グループ「ハートステーション」（毎日）

— 「あいちの青少年育成計画21 共に育ち合う社会をめざして」発表

4月

2日 大口町、行政部門に教育担当の特別職「参与」を設け、元中学校長が就任

5日 学習障害児のための「見晴台学園」に今月から青年部が新設された（中日）

7日 市民グループ「ジュビリー2000 子どもキャンペーン」、外国人の子どもの就学実態を調査、外国人登録のない子どもの就学を認めない市が5市あった

13日 地下鉄八事駅のホームで、昭和区の中学2年の男子生徒が線路に飛び降り列車にはねられ死亡

19日 守山区の子育て支援サークル「木の子ひろば」、「もりやま子育てマップ」を出版（中日）

20日 尾張地方の中学で、生徒を5ヶ月間別室に移して授業を受けさせなかったことがわかった

23日 県幼児教育研究協議会の検討テーマは「幼児の心を豊かにする幼稚園・保育所と家庭との連携の

あり方」と教委に報告

23日 丹波地方教育事務協議会、教科書採択地区の小規模化などを協議

23日 県教委、2002年度使用県立学校（高等学校及び盲・聾・養護学校高等部）教科用図書採択の基本方針について決定

23日 一宮市、「児童虐待防止対策連絡会議」を設置し、初会合を開いた

24日 県警と県教委、少年非行の原因を調査する研究会を発足させ、初会合を開いた

26日 最高裁、X線検査を拒み懲戒処分を受けた県内の中学教員が処分取消を求めた裁判で、原告の上告を棄却

28日 名大病院、「児童精神科」を新たに設ける方針を決めた（中日）

5月

3日 犬山市教委、小学4-6年向けの算数の副読本を作ることを決めた（中日）

5日 電話相談窓口「チャイルドラインあいち」が開設された（8日まで）

7日 県教委、休職者の状態について校長と主治医が半年ごとに報告するよう義務づけることを決めた

7日 豊川市教委、市内の22小中学校を一斉に市民に開放する「学校の日」を19日に実施すると発表

14日 西春町、教育長を公募する方針を固める→5.28 公募要項を発表

16日 県公立高等学校入学者選抜方法協議会議（2001年度第1回）開催、本年度諮問事項は「調査書の記載事項について」

17日 「新しい歴史教科書をつくる会」主導の教科書をめぐり、つくる会側と反対する側が出した請願が名古屋市議会財政教育委員会で保留扱いとなった

17日 名古屋市で公立高校の運動場用地として取得した工場跡地が土壌汚染していたことがわかった、そのほかにも7校で汚染の疑い→6.5 5校を対象に土壌調査する方針

21日 県教委、2002年度使用義務教育諸学校教

科用図書の採択基準決定

22日 県教育長、少人数学級の試行校の尾張旭市の旭小学校を参観

22日 異業種交流会「TMC」の会員らが、無料で学校などに講師として出向き、社会人経験で得た専門知識や経験を教育現場に伝える「1日先生プロジェクト」を始める（中日）

23日 東三河地方の小学校教諭が、昨年12月、小学6年の男児生徒を「ふてくされた態度をした」と勘違いし、投げ飛ばす体罰を加え、3ヶ月間の停職になっていたことがわかった

24日 豊田市、市教育行政計画を策定する委員の一部を18歳以上の市民から公募すると発表

29日 県立高校入試で13の高校が学力検査の際に受験生の服装や頭髪をチェックするよう教員向けのマニュアルで指導していたことがわかった（中日）

29日 県立高校を卒業した女子短大生が、高校教師にわいせつ行為を受けたと告訴、教師は4月に依願退職

30日 衆院文部科学委員会で犬山市の外部校長問題が取り上げられた

31日 名古屋市、6月から子育てに悩む親の相談を受け付ける「子育て総合相談窓口」を各区の保健所に設ける（朝日）

31日 「なごやこどもサポート連絡協議会」の初会合が名古屋市役所で開かれた

6月

1日 県少年育成推進調査研究委員会、県警のHPで県民から少年問題に関する意見を募集する

6日 県教委、来年夏の実施分から教員採用試験問題の全面公開を決めた

6日 岐阜県板取村のキャンプ場近くで、ハイキングをしていた春日井市西部中学校の2年の列に落石が直撃、1名が死亡、5名がけが

13日 県教委、第1回指導力不足教員研修検討会議開催

17日 市民参加の教育づくりをめざす「愛知市民教育ネット（ASK-NET）」が設立総会

18日 名古屋市、市の建物の耐震診断結果をまとめた、優先的な耐震対策の検討が必要とされた284棟のうち約210棟が教育施設

19日 名古屋市教委、公立小中高校、幼稚園の教員採用試験問題を一般教養に限り公開すると発表

20日 児童相談所に2000年度に寄せられた児童虐待に関する相談件数は547件、前年の243件と比べ大幅増

20日 豊田市議会、公立高校の入試で外国人への特別措置を求める意見書を可決

21日 携帯電話のメールを使って現金23万円を脅し取ったとして中学生2人を含む少年3人を恐喝の疑いで逮捕

26日 名古屋市、「待機児童」の解消策として認可保育所の設置主体を学校法人などの非営利法人にも広げることを選んだ

26日 名古屋市と同市教委が配布している同和問題の啓発冊子について、時代に合わない表現があるとして廃棄する指示を出していたことがわかった

27日 名古屋市、通学区域の緩和を検討する委員会を発足させることを明らかにした

28日 携帯電話の出会い系サイトで男性を呼び出し、棒で殴って現金を奪った女子高生ら5人を逮捕

28日 豊田市教委、「市教育行政計画」を策定する審議会委員に10代の大学生を選んだ

29日 県立中村高校の教諭が「シックスクール症候群」を防ごうと、校舎の改修工事で化学物質を抑える天然素材の使用を求める要求書を県人事委員会に提出

30日 西尾市の中学3年の男子生徒6人が教諭を殴るなどして逮捕され、この生徒たちが乗用車20数台を盗んでいたことがわかった(朝日)

7月

2日 県教委、教科書の採択地区を細分化する方向で検討することを明らかにした

2日 県教委、外国人の公立高校受験に特別措置をとる方針を明らかにした→8.22 外国人枠を新設

3日 日本教育学会「教育改革研究委員会」犬山市

を視察

7日 名古屋市緑区で小学校新設に伴い学区が分離される滝ノ水小学校区の住民説明会が開かれる、住民は見直しを求める署名を提出

9日 県教育長と市町村教育長との意見交換会開催(第2回は11月22日)

9日 木曾川・長良川連続リンチ殺人事件で元少年1人に死刑、2人に無期懲役判決

11日 県公立高等学校入学者選抜方法協議会議、「愛知県公立高等学校入学者選抜方法について」答申、2003年度入試は現行の生徒指導要録の評価の考え(相対評価)で、2004年度以降は新しい評価の考え(絶対評価)を踏まえたものに

14日 中村区の3小学校の統合問題で、統合場所を則武小学校とすることで合意(中日)

16日 愛知朝鮮中高級学校の生徒が名大を訪れ、出願資格認定申請書を申請

17日 名古屋市南区で小2女児(当時7歳)が虐待死。母親と内縁の夫を逮捕

18日 5000万円恐喝事件で主犯格の少年から二重恐喝したチーマー兄弟の兄に懲役7年の判決

25日 県教委、公立高校入試に外国人枠を設けることを明らかにした

31日 三河地方の小学校教員が勤務先で窃盗、横領したとして懲戒免職

31日 県、学校基本調査結果発表、県内の不登校数は小学校1504人、中学校6203人で過去最高、高校進学率(通信制含む)は95.9%で前年比0.1ポイント減

8月

1日 名古屋市、中央児童館に「なごや子育て情報プラザ」を開設

7日 西尾市教委、「特殊教育」「特殊学級」の呼び方をやめ、「特別支援教育(学級)」へ変更することを決めた(読売)

9日 名古屋高裁、県立高校の教諭が休養室に冷房設置などを求めた訴訟で、原告の訴えを一部認めた一審判決を取り消した

10日 県教委、一部の県立高校に養護学校高等部の分校を併設することについて検討することを決めた（朝日）

16日 県が、「へき地手当」の支給を受けている教職員に都会勤務手当である「調整手当」を二重支給していたことが明らかになった→11.22 二重支給を解消する方針

22日 名古屋高裁、県内の小中学校校長が旅費の二重取りをしていた問題で、校長の氏名の公開を命じた一審判決を支持

23日 県立高等学校再編整備基本計画（案）発表、2010年度までに4校舎廃止、7校を統廃合。

23日 暴走族脱会会の少女に暴行した女暴走族 12人逮捕

23日 三好町、町内の小中学校にシャワー付きトイレを設置することを明らかにした

24日 「少子化と子育てを語る県民会議」開催

24日 2000年度の県内の公立小中高校でのいじめの件数は3163件、暴力行為は956件

26日 ひきこもりの若者たちの家族でつくる全国引きこもりKHJ親の会・東海の発会式を兼ねた第1回月例会が開催された

27日 西尾市の主婦らが「NPO ママネット」を発足し、専用HPをつくった（朝日）

27日 県教委、学校等支援チーム設置要綱を発表

28日 県教委が実施した教員採用試験の2次試験で出題ミスがあったことがわかった（中日）

30日 長久手町、学校生活に適應できない児童生徒のための指導教室「N-ハウス あい」を開設

31日 名古屋市情報公開審査会、教科書採択関連文書を公開すべきと答申

31日 豊田市国際交流協会が外国人の子どもたちの実態などを報告書にまとめた。外国人の児童の4割が不就学（朝日）

9月

3日 名古屋市青少年問題協議会、「今後の地域における青少年健全育成のあり方について」答申

4日 日進市議会、教育委員の任命案を否決

4日 「刃物を持った不審な男がいる」との110番通報で、東区の小中学生4600人が集団下校

5日 日進市で小学6年の男児生徒が刃物を持った不審な男に追いかけて回される事件が起きた

6日 県警少年課、夏休みの少年少女の補導結果をまとめた。女子中学生の深夜はいかいの増加が目立った

6日 東栄町教委、廃校の方針が出された新城東高校本郷校舎に町内から進学した生徒に授業料を補助する制度を検討中（朝日）

10日 あいち民研編『少年「5000万円」恐喝事件を読みひらく』刊行

10日 岩倉市議会で、小学校の校庭の目の前の市有地で、神社に貸している敷地の中に「八紘一宇」の文字が彫られた石碑があることが取り上げられた

11日 常滑市内の児童養護施設で体罰などの人権侵害行為が続いているという申し立てがあり、県運営適正化委員会は立入調査することを決めた（朝日）

→10.24 一部の懲戒で方法に問題があったと改善を勧告

11日 津島市、公民館の館長を市民から公募することを決めた（朝日）

14日 千種区で刃物を持った不審な男がいるとの110番通報が相次ぎ、同区内の小中学校が下校を早めた

17日 西春町、公募の教育長に名古屋大学講師の吉野茂雄氏を選んだと発表

17日 名古屋市中区で3歳男児虐待の母親逮捕。後に起訴猶予処分

18日 名古屋地裁、5000万円恐喝事件で主犯格の少年から二重恐喝したチーマー兄弟の弟に実刑判決

18日 県立高校が生徒の大学受験の際、激励や合否確認などを目的に教諭を出張させたのは不適切として、県立学校事務職員組合が出張旅費の返還を求めた住民監査請求で、県監査委員は請求を棄却

18日 春日井署、中学3年男子生徒を覚せい剤使用の疑いで緊急逮捕

19日 鳳来町議会、鳳来寺高校の存続を求める意見

書を全会一致で可決

19日 名古屋市、児童虐待防止のため、教員全員に研修を受けさせるなど対策を改善する方針を明らかにした

21日 愛高教、県立高校の分校の存続を求める請願を県議会に提出

21日 名古屋市議会で市教委、不適格教員に対する新しい人事管理システムの研究を進めていると答弁

25日 名古屋市、教員用の児童虐待防止マニュアルを作成し、配布を始めた

27日 犬山市教委、小中学校の理科専門の非常勤講師を市単独で採用する方針を決めた

10月

2日 尾西市教委、小学校の算数担当の非常勤講師を市費で採用する方針を決めた

3日 県教委、指導力不足教員の選別、研修、転職等を来年度から導入することを明らかにした

4日 県内の有志が長野県で休校中の小学校の校舎を使いフリースクール「どんぐり向方塾」を来年4月に開校する予定(中日)

8日 名古屋市南区で高1女子(当時16歳)がメル友の男(同25歳)に刺殺される。男は飛び降り自殺

9日 県教委、委員長に太田弘委員(元小中学校長会会長)を選任

10日 名古屋市内の小中学校で昨年度9校9学級で「学級崩壊」していたことがわかった(朝日)

11日 県教委、中学3年生の第1回進路希望状況調査結果を発表、全日制高校への進学希望率は94.1%

11日 愛教労、計画進学率の引き上げと募集定員の維持を求める申入書を県教委に提出

17日 愛高教、希望者が全入出来るまで計画進学率を引き上げることなどを求める申入書を県教委に提出

19日 県教育委員に全国PTA連合会理事の森久宏が選任され辞令が交付された

19日 県学校法人等助成審議会、私立幼稚園や学校

が教室に防犯ブザーを設置するなどの対策を取る場合、経費の半額を補助する県の方針を認める答申を行った

22日 中学生女子を携帯電話のメールで脅し、公園で体を触るなどした中学生男子(14歳)摘発

22日 県の「あいち小児保健医療総合センター」が大府市に完成し公開された

22日 名古屋市教委、小中学校の通学区域に関する制度を見直すための検討会の初会合を開いた

26日 西春町の公募で選ばれた教育長候補を町教育委員会が改めて信任投票にかけていたことがわかった(朝日)

29日 中村区の小学校統合に対して「3校統合に疑問を持つ有志の会」が統合の議論やり直しなどを求める要望書を市長に提出

30日 県議会文教委員会、犬山市を視察、犬山市教委、少人数授業と少人数学級の実現を求めた要望書を提出

31日 名古屋市情報公開審査会、教職員の処分に関する公文書について個人が特定される情報を除き公開すべきと答申

31日 自宅に出入りしていた中学生らを使いひったくりを繰り返させていたとして港区の夫婦を逮捕

11月

2日 西春町の公募の教育長候補を教委が信任投票した問題で信任しなかった委員3名が辞表を提出していたことがわかった

9日 「尾張西部地区教科書採択協議会」の議事録を県教委が非公開にしたのは違法だとして非公開処分の取り消しを求めた訴訟で、名古屋地裁は原告の請求を認め、非公開を取り消す判決

12日 県教委が、昨年2月、内部文書で教科書採択地区協議会の議事録はメモ程度が適当との指針を示していたことがわかった(朝日)

12日 一宮市で小4女兒(10歳)が行方不明に

14日 県個人情報保護審議会は内申書の一部非開示を妥当とする答申

16日 県教委、県立高等学校再編整備基本計画を可

決、2002年度県立高校生徒募集計画可決、内海高校篠島校舎募集停止、5校にコース制導入

21日 尾西市で4歳男児虐待死。母親と同居していた男を逮捕

26日 守山区の中学3年男子生徒が別の事件での家庭裁判所の処分が出る前に学校のガラスを割り、学校側が指導が困難として市長名の告訴状を出し、それが受理され逮捕された

28日 名古屋市公立保育園父母の会は障害児保育の充実を求める請願書を、名古屋市学童保育連絡協議会は学童保育の制度化などを求める請願書を市議会議長に提出

28日 日進市、6歳未満の乳幼児の入院医療費を事実上無料化する条例の改正案を提案すると発表

29日 県、財政難のため、予定されていた「生涯学習推進・幼児教育センター」（仮称）を分離し整備する方針を決めた（中日）

12月

1日 昨年6月、名古屋市中川区で交際少女（当時16歳）にシンナーをかけて焼殺しようとした19歳の少年を逮捕

3日 自民党県議団、県立3大学の統合を提言

4日 半田市、全中学を対象に要望に応じて校内や地域に警察OBを配置する方針を明らかにした

5日 名古屋市情報公開審査会、小学校長の不祥事に関連した公開請求に文書の存在すら明かさない「存否応答拒否」による非公開決定をしていたことについて、市教委の判断を妥当ではないと結論づけた

5日 高浜市教委、新設小学校の校長を県内の教頭や現職校長から公募することを明らかにした。当初は民間人の登用を計画したが市教委で2度にわたり否決されていた

5日 愛知私学助成をすすめる会、助成拡充を求める請願署名を県議会議長に提出

6日 県、児童虐待対応マニュアルを配布することを明らかにした

6日 名古屋市小中学校通学区域制度検討会議の

専門部会の初会合が開かれた

12日 愛知学長懇話会、全45大学で単位互換制度を始めることを決めた

13日 県教委、民間人の県立高校校長登用を2004年度にも導入する考えを示した

13日 緑区の小学校の分割問題で「滝ノ水学区を守る会」は学区変更の見直しを求める請願書を教育長に提出

14日 東海市、児童や生徒の生活面から教員をサポートする非常勤講師を市単独で全小中学校に配置する方針を明らかにした

16日 「千種区子育てマップ」が出版され、人気を呼んでいる（中日）

18日 犬山市、県教委の方針に抗議する文書を県議会議長らに手渡す

19日 県義務教育問題研究協議会、「小・中学校における学級経営の在り方」について提言

22日 河合塾が運営する幼児教室「ドルトンスクール名古屋」が各種学校として認可されることが決まった（中日）

25日 犬山市教委、小学校の理科の副読本を作ることを決めた

26日 金城学院大学、セクハラで教授を諭旨退職処分

27日 名古屋市情報公開審査会、市立校の教員採用試験の筆記試験問題などの全面公開を求める答申

28日 2000年度中にわいせつ行為を理由に懲戒免職処分を受けた公立小中高校の教員は県内で6人で全国最多（中日）

※本動向の作成にあたっては、中日新聞、朝日新聞、毎日新聞の教育関係記事を基本資料とした。項目により月日が確定できなかったものは新聞掲載月日で示し、掲載紙名を括弧内に示した。

（あいち民研 研究部長）

あいちの子育てと

教育・文化動向

2002. 1~12

大橋基博編

1月

2日 電波学園と同学園理事長が模範料を除外するなどの申告漏れがあったとして追徴課税されていたことがわかる。

4日 飛島村、4月から中学卒業まで医療費を村が全額補助することを決める。県内では初めて。(朝日)

5日 犬山市教委、小中学校で理科の授業を専門に教える非常勤講師を募集。(朝日)

7日 高浜市教委、リストラで職を失った家庭の高校生にも奨学金を支給すると発表。

9日 県警、非行少年グループを取り締まるとともに解体をめざす「非行集団対策課」(仮称)を新設することを明らかにする。

9日 県教委、新年度、「学校安全推進事業」を実施する方針を固める。小中学校の基本3教科で20人程度の少人数授業を実施すること、半田高校の昼間定時制跡地に養護学校を新設すること、03年度から新たに5高校にコース制を導入することなどを明らかにする。

9日 犬山市、生涯学習推進の取り組みとして「犬山市民総合大学」(仮称)を設置すると発表。

10日 高浜市教委、4月から、生涯学習や文化・スポーツ分野を市教委から市長部局へ移管し、市教委は小中学校教育だけを所管する機構改革案を提案。

11日 名古屋市は「青年の家」について4月以降すべての利用団体に対し有料とすることを決める。これまでは慣例で青年団体は無料。(毎日)

11日 4月に開学する星城大学、大学と高校の教員で組織する「高等教育方法研究会」を設立し、初会合を開く。

12日 愛知学長懇話会、加盟44校が単位を互換する包括協定を結ぶ。

12日 小牧市、発達障害などで授業に集中できない児童・生徒に対応するため「こころの相談室」を新年度に開設する。(毎日)

16日 県、乳幼児医療費が無料となる年齢を3歳未満から4歳未満へと広げる方針を固める。(中日)

17日 名古屋市学童保育連絡協議会、市役所前で座り込み行動を行い、運営補助金の増額などの要求をアピールする。

17日 北区保育団体連絡会と北区福祉事務所との懇談会が開催される。毎年設けている意見交換の場。

18日 県、家庭の経済難から高校就学が困難となった生徒を支援するため、無利息の奨学金制度を創設する方針を固める。

21日 名古屋市立小中学校通学区域制度検討会が開かれ、区域外通学の8つのケースをそれぞれ検討。

22日 犬山市教委、新年度に市内の小中学生を対象とした「子ども大学」を開講することを決める。

23日 港区の九番団地で、外国人も日本人も暮らしやすい地域づくりを進めるための「港区多文化共生推進協議会」が設立される。

24日 名古屋市、02年度当初予算案概要を発表。小学1年生での30人学級の試行を拡大、学校評議員制度も対象校を増やす。

26日 県教委、県立高校の再編計画で廃止を決めている3校舎(分校)の新規生徒募集停止時期の方針案を地元を示す。(中日)

28日 高浜市教委、名古屋市を除く県内全域から募集した新設小学校の校長予定者が決まったことを明らかにする。

2月

4日 県市長会、「教育問題懇談会」を発足させる。

5日 東海署、強盗傷害を重ねた14歳の中学2年男子生徒を異例の再逮捕。

6日 犬山市が開講する「子ども大学」に河合塾が米国製の理科実験教材を提供することになった。(朝日)

7日 通知票や答案用紙など個人情報の含まれた書類や資料を教師が盗まれる事件が県内で相次ぎ、今年度これまで6件が県教委に報告されていることがわかる。(朝日)

7日 名古屋市教委、「なごやマイ・スポーツ推進プラン」を市議会で示す。

7日 共産党県委員会などは30人学級の実現を求める要望書を知事に提出。

8日 県教委が、00年11月以降、男性教職員5人を生徒にわいせつな行為をしたとして懲戒免職処分にしてきたことがわかる。

8日 西尾市の「市立保育所民営化等検討委員会」は市立保育園を順次、民営化していくのが適当とする報告書をまとめる。

9日 「高校統廃合を考える4週連続シンポジウム」が始まる。

10日 「不登校・中退・転編入フォーラム」が開催される。

12日 県、学校法人前嶋学園に対し園児数の過少報告があったとして01年度の補助金の半額を交付しないことを決める。

14日 名古屋市、乳幼児医療費助成制度を拡充し、現行4歳児までの入院費の無料を就学前までに拡大、4歳児までは通院費も無料にする方針を決める。(中日)

15日 県個人情報保護審議会は自分の勤務評定書の公開を求めた県立学校の男性教諭に対し、一部を非開示にした県教委の処分を「妥当」とする答申を行う。

19日 藤岡町は学校生活になじめない町内の小中学生に北海道で宿泊体験学習をしてもらう計画を発表。

20日 高浜市、4月から幼稚園教育と生涯学習の両部門を市長部局に移し、市教委は小中学校教育のみを所管とする機構改革を行う。(毎日)

20日 中京大学附属中京高校の入試で、学習指導要領の移行措置で教えなくてもいいことになった二進法に関する出題があり、全員を正解とする

措置をとっていたことがわかる。(中日)

21日 緑区常安小学校、月に一度、校長室を開放する「学校へ行こう」という企画が好評。(中日)

23日 名古屋 YMCA、学習障害児を支援する教育プログラムを5月から本格的に開始する。(朝日)

24日 山梨県の私立日本航空高校が、同県の認可を得ないまま名古屋市内の学習塾に通信制高校のスクーリング会場を開設していることがわかる。(中日)

24日 県児童総合センターが、愛知万博の会場造成工事のために3月末で廃止される。(朝日)

24日 一宮市、少人数授業を取り入れるため市費で非常勤講師32人を採用することに。(毎日)

25日 県、教育機関向けの「子どもの虐待対応マニュアル」を作成し、公表。

25日 半田署、半田市内の中学2年生4人を集団暴行監禁で逮捕。母親は見て見ぬふりをしていたという。

25日 尾西市、新年度から小学校5、6年生の英語授業を週1回に増やし、新たに派遣講師を2人増員することにする。

25日 名古屋弁護士会、体罰を繰り返したとして碧南市の中学校教員に対し書面で警告、学校長と同市教委にも具体的な措置を講じるよう勧告。

25日 豊橋市で、新年度から市内の各小中学校で学校評議員制度を本格的にスタートさせる。(朝日)

25日 戸塚ヨットスクール事件で最高裁、戸塚被告らの上告を棄却、実刑確定へ。

26日 岩倉市の全盲の女兒が市内の小学校の普通学級へ進学することになる。(朝日)

26日 高浜市、市三役の給与と職員の手当をカットし、これを原資として臨時職員を雇うと発表。7人の臨時事務職員と3人の非常勤講師を雇用する予定。

26日 半田市、警察OBなど学校外の市民を「生徒指導アドバイザー」として採用し、市内の各中学校に配置することを決める。(中日)

26日 名古屋市立中学校の講師が覚せい剤を持っていたとして逮捕される。

3月

1日 扶桑町は新年度、町内の小中学校で授業に参加したい町民を募ることを決める。(朝日)

1日 犬山市教委、少人数学級を市町村独自に編成することを認めるよう求める要望書を県教委に提出。

2日 甚目寺町、学校給食へのはしの持参をやめ、給食センターが用意することに決めた。はしの洗い忘れが多いため。関連予算約 3650 万円を計上。

3日 あいち定時制・通信制父母の会が夜間定時制高校の統廃合に反対する集会を開く。

4日 渥美県教育長、高校入試の調査書の取扱について、絶対評価の導入は 2004 年度以降、関係者の意見を聞いて対応したいと述べる。

5日 県中小学校体育連盟、複数の中学校で作る合同チームの県大会参加を 02 年度から認めることを決める。

6日 名古屋市、中学校の合同部活動のモデル校を指定する方針を明らかにする。

6日 名古屋市、新年度から軽度な虐待経験者の相談に乗る「家庭支援員」制度を設ける。(毎日)

6日 県、「豊かな体験活動推進事業」を新年度からスタートさせる方針を決める。

7日 県、虐待された児童を一時的に預かる「養育里親」を新年度から募集すること、スクールカウンセラーを 30 人増員することを明らかにする。

8日 万博工事のため児童総合センターが閉鎖されることに反対し、「愛知県児童総合センターを愛する親と市民の会」が閉鎖反対の嘆願書を県に提出。

9日 名城大学、「飛び級」で大学院に進学する学生が初めて誕生。(朝日)

9日 口話法を重視する千種ろう学校に入学予定だった 5 児童の保護者が、教職員の手話能力が不足しているとして岡崎ろう学校に入学先を変えていたことがわかる。(朝日)

10日 西春町、法人町民税の増収が見込まれるため、母子家庭に特別ボーナスを支給したりする教育費援助をおこなう「にっこり HOT 事業」を

予算化。

12日 小牧市内の中学校で、卒業文集用の原稿に、上級生から暴行を受けていたという記述があり、学校側がその部分の削除を求め、生徒に書き直しをさせて文集に収録していたことがわかる。

(朝日)

13日 民間の心理カウンセラーが「中部子育てネットワーク」を結成し、4月から小学生を対象とした「心の教室」を開講する。(中日)

14日 東海市、4月1日付で市教委に副教育長職を新設し、文科省の課長補佐を迎える人事を固める。

15日 県、新年度から一人の教員が小中学校両方で勤務できる新制度を導入することを明らかにする。

15日 県教委、県立高校の統合の対象校の選定について、地元の反対を考慮して予定していた今年度中は無理との見通しを示す。

15日 県議会文教委員会、「養護学校の大規模化解消」を求める請願を採択することを決める。

18日 豊明市、完全学校週五日制の実施に合わせ、市内の小中学生向けのスポーツクラブを設立する。

18日 県、審議会について新年度から原則的に議事を公開する方針を明らかにする。

18日 01 年の藤岡町リンチ死亡事件で、名古屋地裁、当時 16 歳の少年らに実刑判決。

19日 01 年の春日井市立中学落石死亡事故で校長ら 7 人を業務上過失致死傷の疑いで書類送検。

19日 名古屋市内の私立幼稚園が、自閉症の女児の卒園式への出席を断ったことがわかる。(中日)

19日 徳川美術館、4月から、会員になった大学の学生なら何度でも無料で入館できる「大学メンバーシップ」を発足させる。(中日)

20日 豊川市立小学校で 6 年の男児が担任から体罰を受けたとして、両親が損害賠償を求める訴訟を起こしたことがわかる。(毎日)

23日 熱田区の 3 歳男児が変死。→ 25 日傷害の疑いで義父を逮捕。

23日 南区の道徳小学校の改修工事でアスベスト

トを残したまま工事を終わらせていたことがわかる。

25日 民間人校長の起用をめぐり5人の教育委員が3月末までに全員辞職する高浜市教委の新委員が議会で任命同意を受ける。

25日 県個人情報保護審査会は、教員から自己情報開示請求があった「現任校勤務実績」欄を開示するよう答申し、「異動希望調査票」の「校長所見」欄などは不開示を妥当とする。

25日 県教委、「指導力向上を要する教員の取扱いについて」を決定。指導力不足教員の判定、研修システムを新年度からスタートさせる。

26日 名古屋市児童相談所、虐待の早期発見を民間の協力で強化するため「子どもの虐待防止ネットワーク・あいち」と覚書を締結。

27日 名古屋市教委、セクハラをした小学校教諭を懲戒免職処分。

27日 名古屋市教委、小学4年生の健康診断から色覚検査を廃止することを決める。国の方針を前倒しする。

28日 名古屋市、児童虐待防止へ専従班を設置することに。(朝日)

28日 港署、4歳の長女を殴ってけがをさせたとして義父を逮捕。

28日 菊華高校の校長に中電の営業所長が起用されることになる。

28日 名古屋大学、教育学部附属中学・高校を2004年度から大学直属とする構想をまとめ文科省へ報告。

29日 「子どもと親が安心できる30人学級を求める会」は30人学級を拡充することを求める陳情書を名古屋市へ提出。

30日 高浜市教委が募集した新設小学校の校長に元西尾市立東部中学の教頭の登用が決まる。

4月

1日 県が発令した教職員人事に津島市教委が「地元の意見が反映されていない」と反発したことから、県教委はこれまで同市教委が同市内の小中学校に行っていた辞令伝達を直接行うことにする。

2日 豊田署、入院中の1歳の長女に暴行を加えたとして、父親を逮捕。

3日 北署、3歳の長女を投げつけけがをさせたとして父親を逮捕。

3日 ショッピングセンターの連続不審火で北区の高校3年生が逮捕される。「世間を騒がせたかった」と供述。

5日 県教委、地域の家庭教育や子育て支援の指導者を養成する「子育てネットワーカー」養成講座の受講生を募集する。(中日)

8日 春日井署、同居している女性の1歳の長男を虐待したとして27歳の男性を逮捕。

10日 文科省の「スパー・サイエンス・ハイスクール」に岡崎高校が指定される。

11日 豊田署、小学1年の長男を虐待したとして両親を逮捕。

11日 日進市で子どもの健全育成を目指すNPO法人「スマイルハウス」の発会式が行われる。

11日 県警、強盗や窃盗、恐喝などの疑いで暴走族3グループの少年14人を逮捕。

11日 児童虐待事件があいつぎ、名古屋市、「なごやこどもサポート連絡会議」の緊急会議を開く。

17日 尾張旭市内に、有限会社方式で経営される認可保育所が誕生。(中日)

18日 東区の小学校で、5年の担任教諭が体罰で男児を転倒させていたことがわかる。(中日)

19日 愛知保育団体連絡協議会など4団体が保育関係予算に対する見解を発表。積極的な予算配分を求める。

20日 常滑市、国の緊急地域雇用創出特別基金で、いじめ・不登校対策として子どもたちが気楽に話せる専任の担当員を市内9小学校に配置する。(毎日)

21日 県内の公・私立高校の生徒たちが私学への募金を訴えるデモ行進。

24日 水泳授業中におぼれて死亡した岡崎市の小学6年の男児児童の両親が、岡崎市に損害賠償を求める訴訟をおこしていたことがわかる。(毎日)

24日 尾西市内の中学校で、1月にパンの朝食

い競争をしてのどに詰まらせ入院中の3年男子生徒が死亡。

25日 名古屋大学がセクシャル・ハラスメントの相談所を開いたと発表。

26日 名古屋明德学園が修学旅行費の3%を旅行会社から還流させていたことがわかる。学園の「国際交流基金」に寄付する形で続けられていた。(朝日)

26日 愛知文教女子短大が01年度入試の志願者や合格者数を水増しして発表していたことがわかる。

29日 私立高校などの生徒たちによる「新入生歓迎フェスティバル」が愛知高校で開かれる。

5月

6日 引きこもりに悩む若者や保護者でつくる「ゼロからの会なごや」が、同じように引きこもりに悩む人の家庭を訪問して相談相手になる活動を始める。(朝日)

7日 和装教育の推進を求める「和装教育国民推進会議愛知県支部・あいちきものネット」設立総会開かれる。

8日 県警非行集団対策課と東海署は暴行の暴走族3人を逮捕し、後見の暴力団事務所を家宅捜索。

9日 愛知医科大の中野さんが理事長を務めるNPOが長野県に作った宿泊型フリースクール「どんぐり向方(むかかた)塾」の開校式が行われる。

15日 県公立高校入学者選抜方法協議会が開催される。調査書に来春から「総合的な学習の時間」の評価について記載する欄を新たに設けることを決める。

19日 春日井市の東春朝鮮初中級学校は、初めて地域の学校関係者や議員らを校内に招き授業を公開。

21日 県教委、教え子にわいせつ行為を繰り返したとして刈谷市の県立高校教諭を懲戒免職処分。

21日 犬山市教委、来年度から少人数学級を実施するため教務主任に担任を持たせること、モデル校を指定することなどを決める。

22日 師勝町立熊野中学で「無責任な人は」など同級生の実名を記入させるアンケートを実施し、保護者からの抗議で急きょ中止していたことがわかる。(中日)

22日 県有施設の耐震調査で県立学校の122校の207棟が倒壊の危険性が高いとされるC評価だった。危険性があるB評価は606棟。

23日 瀬戸市と緑区の5小学校で17日から23日にかけて校内に侵入した何者かにクラスの集合写真や児童の保護者の保険証コピーが盗まれていることがわかる。

24日 県立平和高校で、月1回校門指導を行い、茶髪の生徒を帰宅させていたことがわかる。

24日 名古屋市教委、盗難などの防止策の強化を求める通知を出す。

25日 三好町の全小学校7校で、名簿類が盗まれていることがわかる。

25日 中川区の細米公園で、遊具の支柱が根本から折れ、女児6人がけが。

27日 豊田署、交際中の女性の長女がなつかないとして虐待した会社員を逮捕。

30日 名工大がセクハラに関するアンケート結果を発表。回答者の半数が何らかの被害に。

6月

4日 高浜市、住民投票に参加できる資格を18歳以上に引き下げる方針を決める。(朝日)

5日 県の「いじめ・不登校・問題行動対策協議会」の02年度最初の会合が開かれる。今年度は、問題行動に対しての地域ぐるみでの取り組みをテーマに話し合う。

10日 日進市の日東保育園が子育て情報誌「子どものしあわせ」を発行。(毎日)

10日 県教委、「県立高等学校再編整備実施計画(第1期)」決定、蒲郡、西尾実業に総合学科設置、普通科へのコース制の導入などを実施する。統合する高校名は明示せず。

13日 尾張西部地区の教科用図書採択協議会の議事録公開訴訟で、名古屋高裁、非公開処分を取り消した名古屋地裁の判決を支持、県教委の控訴を棄却。

15日 県、閉鎖された県児童総合センターの機能を代替する施設として、幡豆郡の「愛知こどもの国」の他に、東浦町の「あいち健康プラザ」を新たに使用する方針を固める。(朝日)

15日 愛知大学の教授が、セクハラに近い行為をしたとして10日間の出勤停止になっていたことがわかる。

17日 知多市内の小学校教諭が常滑市に情報公開請求したところ、勤務する小学校長から公開請求の事実を確認されたところから、個人情報か漏洩したとして、知多地方教職員労働組合は両市に事実の説明を求める要求書を出す。

17日 春日井市の八幡小学校の3年生の男児が担任の女性教諭の体罰で鼓膜が破れるけがをする。

19日 県児童家庭課、01年度に県内(名古屋市を除く)の児童センターに寄せられた児童虐待に関する相談件数が572件(前年度比25件増)に上ったことを明らかにする。

20日 豊川署、小学校の動物飼育小屋で鳥やウサギを殺傷したとして10代の無職少年を逮捕。

22日 瀬戸市の愛知朝鮮第7初級学校は初の公開授業を開く。

14日 県警非行集団対策課と江南署は、高校生から50万円を脅し取ろうとしたとして、男子定時制高校生と無職の少年いずれも17歳を逮捕。高校生はこれまでに130万円を脅し取られていたという。

26日 01年度に名古屋市を除く県内の児童相談所に寄せられた児童相談は12680件で、前年度に比べ7.7%増で過去最高。児童虐待に関する相談は4.6%増の572件。(朝日)

28日 宅地開発事業で、小坂井町在住の児童を豊川市の小学校に通えるようにあっせんした見返りに業者から30万円を受け取ったとして豊川市議が逮捕される。

29日 入学辞退した大学から授業料、入学金などの返還を求める電話相談「ぼったくり授業料110番」開設。

7月

3日 南署は、内妻の子の中学1年男子生徒を

虐待したとして、無職の男性を逮捕。学校が異常に気づき市児童福祉センターに相談して虐待がわかる。

4日 瀬戸市立小学校適正配置等協議会は1学年の適正規模を2~3学級にして、通学距離は2キロ以内とするなどの基本原則で、小学校を20校から16校に再編する答申をまとめる。

5日 西署は、1歳2ヶ月の長男を放置し餓死させたとして母親を逮捕。

10日 尾張市内の中学校で中学3年の女子生徒が携帯電話内蔵のカメラをいじめに悪用していたことがわかる。(中日)

16日 名古屋地裁、01年の鈴木杏実ちゃん虐待死事件で、母親と同居人の男に実刑判決。

16日 一宮署、小学校に侵入して女児児童の水着などを盗んだとして18歳の無職少年を逮捕。

17日 県公立高校入学者選抜方法協議会開催、2004年度入試からA、Bグループの試験期日を入れ替え、Bグループを先にすることを決める。

17日 朝鮮学校の処遇改善を求め、愛知朝鮮中高級学校の生徒らが栄などで署名活動。

17日 小牧市の桃陵中学校で、牛乳瓶やガラスが4回にわたりプールに投げ込まれていたことがわかる。(中日)

20日 犬山市の小学校で3年の担任が児童の首に電気コードを巻き付け、そのショックで児童が一時、不登校になったことがわかる。(朝日)

20日 半田市の中学2年の男子生徒が、いじめに対し学校が適切な配慮をしなかったため不登校になったとして市に200万円の損害賠償を求める訴訟を起こしていたことがわかる。

29日 文科省の調査によると、公立小中学校の耐震診断実施率は愛知県54.0%。

30日 県産業教育審議会、「生涯学習社会における職業教育の在り方について」答申。

31日 緑区の滝の水小学校の学区の住民が、新小学校開校後も従来通り滝の水小学校に子どもを通わせたいとする陳情書を教育長宛に提出。

8月

1日 県教委、01年度に処分された公立小中

高校などの教員が9人に上ったとの処分状況を公表。

2日 県教委、定期的に行っていた県立学校の内装リフォームを見合わせ、耐震工事を優先させることを決める。(朝日)

3日 戦争の残酷さを若者に伝えたいと、半田市の「半田空襲と戦争を記録する会」が中高生向けに第2次大戦を中心にした記録集「知多の戦争物語40話」を出版。(朝日)

18日 犬山市、シンポジウム「教育のまち」を開催。少人数授業や副教本の成果を話し合う。

19日 刈谷市で、生後10ヶ月の男児が死亡、母親が酒を飲ませて無理心中を図った疑い。

23日 文科省、2001年度の「生徒指導上の諸問題の現状」(速報)を発表。県内の暴力行為は1,083件で前年を127件上回り、いじめは減少し2,739件。

26日 犬山市教委、知事と県教委などに少人数学級の早期実現を求める要望書を提出する方針を固める。

29日 県、「構造改革特区」について、「教育特区」の設置を提案することを決める。5・4制なども検討。

31日 名古屋市内の保育士2人が、北区大曽根の商店街に無認可保育施設を開く。

9月

1日 乳幼児を持つ親の子育て支援をする「ほっとほっとステーション」が瑞穂区の堀田本町商店街内にオープン。名古屋おやこセンターが主催。

2日 豊橋市の私立高校3年生が飛び降り自殺。

2日 東郷町、不登校児らを対象に、適応指導教室「ハートフルとうごう」を開設。

3日 名古屋市教委、東海地震の警戒宣言に先立つ判定会の招集段階で市立小中学校の児童生徒を帰宅させることを決め、各校に伝える。

5日 新城東高校本郷校舎のPTAと同窓会、廃校再考を求める署名を県教委に提出。

6日 「女性を議会に!ネットワークあいち・ぎふ・みえ」のメンバーらが、県内で使われている道徳の副読本について、「男女平等の視点に欠け

る」などとして議会で市町教委の見解をただす質問を一斉に始める。(中日)

6日 豊田市、03年から18年4月までに順次、市立の幼稚園10園と保育園9園の経営を学校法人や社会福祉法人に移管すると発表。

10日 名古屋市、「教育サポートネットワーク」を10月1日から募集する。(朝日)

11日 高浜市教委、来年度から小中学校の学校評価システムを導入する。(中日)

11日 「名古屋市立小中学校通学区制度検討会議」、区域外通学の弾力的な運用を求める提言を提出。

12日 業者模試の受験生のデータから、県内の中学3年生の通知表は、「絶対評価」が導入されたことで、「相対評価」と比べて全体的に高くなっていたことがわかる。(朝日)

13日 守山区の知的障害児通園施設「市立ちよだ学園」が統廃合で閉鎖される可能性が強まり、市北東部が施設の空白地域になると保護者らが署名活動を始めている。(中日)

17日 県教委は、東海地震の判定会が招集された段階で、児童・生徒を帰宅させることを検討することなどを県内の全公立学校に通知した。

18日 犬山市の石田市長、少人数学級の早期実現を求める要望書を県教育長に提出。

18日 尾西市の中学校で、心臓疾患のある3年生男子が、長縄飛びの練習中に心臓発作を起こし、その後、死亡していたことがわかる。(中日)

20日 「名古屋エンジョイ子育てガイド」の改訂版出版。

21日 日本青少年育成協会東海支部は、不登校生徒や中退者のための情報誌「東海版 LOVE NET」を制作。(中日)

21日 「戦争メモリアルセンターの建設を呼びかける会」は、NPO「平和のための戦争メモリアルセンター設立準備会」に改組することを決め、設立総会を開く。

22日 豊橋朝鮮初級学校は、地元の教育関係者を招き、初めての公開授業を行う。

24日 犬山市、市内の小中学校全学年で30人以下の少人数学級を原則的に導入する方針を決め

る。

27日 県教委、12月をめどに学校長から「指導力不足教員」を申請させることを明らかにする。

30日 半田商業の臨時教諭、淫行容疑で逮捕される。

10月

1日 県人事委員会、県職員の月給を平均2.07%引き下げる勧告を行う。

3日 県教育長、市町村が独自の裁量で少人数学級を導入することについて前向きな姿勢を示す。

3日 県教委の調査で、学校五日制の導入で、全日制の県立高校の27%が土曜に補習を実施していることがわかる。

4日 名古屋市、公園での遊具事故を受け、今後の公園遊具の安全対策を明らかにする。木製遊具は順次廃止。

4日 春日井市の児童自立支援施設「愛知学園」で4少年が施設職員を殺害し、逃走を図る。

5日 尾西市の中学校で、2年生男子が足首に巻いていたお守り「ミサンガ」を男性教諭がライターで焼き切っていたことがわかる。同校では、パンの早食いで生徒が死亡し、長縄飛びの練習中にも生徒が心臓発作で死亡している。

7日 県教委、次期委員長に赤井知久氏を選任。

7日 稲沢市で二男が自閉症の診断を受けた母親が、無理心中。

10日 県教委、中学3年生の第1回進路希望状況調査結果を発表。全日制課程への進学希望率は94.2%、定時制、通信制を含めると95.6%。

10日 県教職員労働組合協議会（愛教労）、「計画進学率」の引き上げを県教育長に申し入れる。

13日 碧南市の小学校の理科専任の男性教諭が、授業で包丁を手に児童を脅かすような行為をしていたことがわかる。（中日）

15日 名古屋市は01年度の児童虐待件数を発表。過去最多の583件。

18日 県教委、教室で女子生徒にキスをしたとして碧南市の公立高校教諭を懲戒免職処分に。

20日 県内の教育関連の市民グループや行政、専門家が交流を深め、情報交換を行う「子育てフ

ェスタinあいち」が開かれる。

23日 犬山市教委、市立小学校の全児童を対象とする国語の補助教材を市独自に作製する方針を決める。

23日 私立愛知高校が情報誌に国公立大学の現役合格者数を水増しして発表していたことがわかる。（朝日）

23日 県内の公立学校の内、2,108校が耐震診断を済んでいないことがわかる。（朝日）

25日 西春町、来年度から町内の学校の小1と中3の全学級に町が独自に採用する教員を1人ずつ配置すると発表。

23日 愛知大学でセクハラ行為をしたとして講義担当から外された教授が、処分を不当として仮処分決定を申し立て、名古屋地裁豊橋支部が処分を撤回するよう決定していたことがわかる。（中日）

26日 豊橋市教委は、東海地震に備えた独自のパンフレットをつくる予定。（朝日）

29日 県高校教職員組合、高校の計画進学率を引き上げるよう県教育長に申し入れ。

30日 武豊町の幼女餓死事件で、名古屋地裁、両親に懲役7年の実刑判決。

31日 学校法人愛知水野学園が不正な経理処理を行い、文科省からの補助金などの返還処分を受けていたことがわかる。

11月

6日 県教委、04年度の高校入試から調査書に絶対評価を導入し、調査書と入試の得点の配分を各高校で変更することを認める方針を固める。

8日 「少人数授業研究交流会 in 犬山・2002」が開かれる。

18日 東区の幼稚園と園児の父母が、高層マンションの建設で日照被害が出るとして、計画の大幅な変更を求める署名と要望書を市長あてに提出。

19日 木曽川町、来年度から町内4小中学校の全クラスで35人の少人数学級を導入する。自治体の小中学校の全学級で始めるのは全国初。（中日）

20日 公立高校入学者選抜方法協議会議、04

年度の入試から、調査書に絶対評価を導入するとともに、「学力検査重視」の選抜もできる裁量を高校側に認めることを決める。

20日 県教委は、体罰を行った2教諭を戒告の懲戒処分にしたと発表。

25日 小牧市教委、来年夏までに市内小中学校の全教室に扇風機を4台ずつ設置する方針を明らかにする。

26日 名古屋市内の小中学校で行われているトワイライトスクールへの参加児童は高学年ほど少なく、保護者らは体験活動や広いスペースを求めていることが市教委の調査でわかる。(中日)

26日 名古屋市公立保育園父母の会は障害児保育の充実を求める請願書を市議会議長あてに提出。

28日 名古屋市は、市内で生まれた赤ちゃんのお祝いに配布している冊子「なごやっ子」の内容や編集方針を見直すことを明らかにする。

12月

1日 「子どもと親が安心できる30人学級を求める会」が集めた署名が10万4千人以上に達したことが集会で報告される。

4日 県、愛知学園事件をめぐる、少年と職員の信頼関係を築く方策を検討する委員会を12月中旬に設置することを明らかにする。

4日 県、少人数学級への県独自の財政的措置は難しいとの認識を示す。

9日 名古屋市を除く県内の小中高、特殊学校で「指導力不足教員」が11人いることがわかる。小学校6人、中学校2人、高校3人。

12日 名古屋市教委の「教員の資質向上に関する調査研究会議」、「指導力向上を要する教員への対応について(中間まとめ)」を発表。

13日 小中学校の運動部の部活動に児童生徒らが楽しく取り組み、指導の教師もやりがいを感じている一方、中学校の「合同部活」や他校の部への入部には生徒・教師ともに慎重な考え方が根強いことが名古屋市小中学校運動部活動検討委員会が集めた調査でわかる。(中日)

17日 名古屋市教委、定められた学区以外の小中学校への通学を認める「学区外通学許可基準」

の一部改正を発表。

18日 名古屋弁護士会会長「朝鮮学校の生徒たちに対する嫌がらせ等の廃絶を求める声明」を出す。

18日 名古屋地裁豊橋支部、愛知大学のセクハラ問題で、教授の担当講義を外す大学の措置を認める決定を出す。(朝日)

18日 中学生対象の「新・中統テスト」に加わる予定だった「新統」が新テストから離脱し、来春以降も独自に「新統テスト」を続けていくことがわかる。(中日)

24日 県教委、西尾実業高校に04年度、経済界出身の民間人校長を誕生させると発表。

24日 犬山市教委、市内の全小中学校などの敷地内を新年度から全面禁煙にすることを決め、校長に通告。(朝日)

24日 私立金城学院高校、女子生徒がいじめを苦に自殺していたことがわかり、遺族からの要望で生徒会新聞に校長の謝罪文を掲載。(朝日)

25日 「子どもの虐待防止ネットワーク・あいち」と県児童相談センターは、児童虐待防止に協力して取り組むための協定を締結。

26日 県、来年度、知事部局に「教育懇談会」を新設する方針。

26日 県高等学校教職員組合、全日本教職員組合の教研集会の会場使用許可を取り消した名古屋市教委の処分を停止するよう名古屋地裁に申し立てる。

27日 一色町教委、佐久島にある小中学校の児童生徒数を確保するため、町内全域から通学希望者を募集する方針を発表。

*本動向作成にあたっては、中日新聞、朝日新聞、毎日新聞の教育関係記事を基本資料とした。項目により発生日が確定できなかったものは新聞掲載月日で示し、掲載紙名を括弧内に示した。

(あいち民研 研究部長・

名古屋造形芸術大学短期大学部)

あいちの子育てと 教育・文化動向

大橋基博編

2003. 1～12

1月

5日 一色町教委は新年度から離島の町立小中学校を校区外からも通学できる「小規模特認校」に指定する。(朝日)

6日 神田知事、年頭記者会見で教育問題に関する懇談会を知事部局に設置する意向を明らかにする。

8日 トヨタ自動車、中部電力、JR東海の3社は中部地方に中高一貫校を新設すると発表。当面は男子だけの全寮制で1学年100人以下とし県内への立地を考えている。

8日 高浜市立小中学校の校長らが特色ある学校づくりのための特別費用の獲得のため、プレゼンテーションを行う。

10日 全教「教育研究全国集会」の事前集会の開催を予定している名古屋市教育センターが会場使用許可を取り消した問題で、名古屋地裁は愛高教の主張を認め使用許可を名古屋市教委に命じる。

10日 小牧市、放課後に小学生の面倒を見る児童クラブ(学童保育)を市内の16の全小学校に設置し、直接運営する方針を決めた。(中日)

11日 名古屋市、成人式の案内状を初めて在日韓国、朝鮮人を中心にした外国人に送った。(中日)

14日 参議院文教科学委員会の委員11人が東浦町緒川小学校を訪れ、オープン教育の授業を視察。

15日 名古屋弁護士会の人権擁護委員会は愛知朝鮮中高級学校を視察し、同校生徒への嫌がらせなどの実態を調査。

15日 県、04年度から県立田口高校と設楽中学校、津具中学校で中高一貫教育(連携型)を実施することを決めた。

(中日)

17日 名古屋市教委、新年度から小中学校の普通学級に通う肢体不自由児らの介助アシスタント(仮称)を派遣する方針を固める。(中日)

17日 県、新年度から県立養護学校6校に医療的ケアを実施できる看護師を配置することを決めた。(中日)

20日 00年10月におきた藤岡町のせっかん死事件で、名古屋地裁岡崎支部は傷害致死罪に問われた母に懲役2年6月の実刑判決。

21日 田口高校稲武校舎の存続を求め、町民の9割にあたる2500人が署名する。(朝日)

22日 名古屋市児童相談所は「子どもの虐待防止ネットワーク・あいち」との連携にあたり、互いの相談者のプライバシー保護に関する協定書を締結。

22日 弁護士が県教委に体罰報告書の公開を求めた裁判で、名古屋高裁は「報告書は非公開理由のある情報であり、その一部の公開までは義務づけられていない」として原告の請求を棄却。

24日 県内で昨年、刑法犯として検挙・補導された少年は6916人で、前年に比べ320人減ったことが県警のまとめでわかった。殺人や強盗などの凶悪犯は増加。(朝日)

25日 名古屋市、乳幼児医療費助成制度を拡充し、無料化の対象を就学前児童まで拡大する方針を決めた。(中日)

26日 犬山市教委、04年度から市立小学校で2学期制を導入する方針を決めた。(朝日)

29日 県教委、04年度の公立高校入

試から調査書に「絶対評価」を導入することを決定。

29日 名市大教授のセクハラ訴訟で名古屋地裁は元教授のセクハラを認定し、名古屋市に対して元女子留学生に120万円の支払いを命ずる。

2月

4日 新年度から、犬山市、安城市、一宮市、名古屋市、木曾川町の小学校で30～35人程度の少人数学級が実現することになった。(中日)

7日 東海市教委、新年度から市立小学校の全学年で英語教育を取り入れると発表。

8日 86年春、名古屋市熱田区で親の事情で戸籍がない女兒が無戸籍を理由に小学校入学を断られ、以後、就学できなかったことが分かる。(中日)

8日 県内の中学校で絶対評価が相対評価に比べて高めになる傾向が、1学期より2学期でさらに顕著になっていることが、業者の模擬試験を受けた中学3年生のデータで分かった。(朝日)

10日 名古屋市教委、指導力不足の教員への対応方針を決め、各校に通知。

12日 稲沢市内の小学校で4年生の担任の女性教師が、けんかをした男子児童の顔にハサミの刃の部分近づけて注意をしていたことが分かる。(朝日)

14日 名古屋市の中学2年生の女子生徒が野外活動で6年前左目を失明していたことが分かる。市は賠償金3000万円を支払う予定。(中日)

18日 県就職問題連絡協議会は就職を希望する高校生が一人一社にしか応募できない慣行を04年度の卒業生から見直すことを決める。

18日 豊田市、新年度から特色ある学

校づくりのアイデアを出した小中学校の校長に、上限50万円の活動資金を提供する学校活性化事業に乗り出す。(中日)

19日 春日井市は03年度から無認可保育所の社会福祉法人認可取得を支援する「私立保育園整備支援事業」を始める。

(毎日)

21日 幸田町の公園で乳児の遺体が発見された事件で、乳児の16歳の両親が逮捕される。

22日 東浦町は04年度から町内の小中学校を対象にコンペ形式で活動計画のアイデアを募集する。補助金は1校あたり最高100万円。(朝日)

22日 子育て支援メッセ・あいち The・場(ば)が開催される。

23日 江南市のファミリーサポートセンターが初の交流会を開く。

25日 県私学協会性教育研究会が高校生の性行動についての中間報告をまとめる。

26日 名古屋市学童保育連絡協議会は学童保育の制度化を求める請願を市議会議長に提出。

27日 県内で02年、ひったくり、オートバイ盗など少年が関与する割合の高い犯罪の発生件数がほぼ軒並み1～2割減少したことが県警の調査で分かる。県警は02年、非行集団対策課を発足させていた。

3月

1日 港署は同居している29歳の女性の三女(10ヶ月)を殴り、けがをさせたとして21歳の男を逮捕。

5日 名古屋市教委、03年度、市立小中学校各1校の校長を、市教委以外の課長級の職員から登用する方針を決めたことを明らかにする。

6日 県教委、県議会で精神疾患のため休職中の教員が1月末現在で103人にのぼることを明らかにする。

6日 ブラジル人が園児のほぼ半数を占める名古屋市港区の市九番保育園に4月からポルトガル語通訳が配置される見通しになった。(朝日)

8日 「小坂井おやじの会」が「おやじの会 愛知サミット」を開く。

8日 名古屋朝鮮初級学校は卒業生の国立大学への入学資格を認めるよう求めて公開授業を開く。

9日 高層マンションの建設で日影になる幼稚園の父母が「お日さまシンポジウム」を開く。

10日 公立高校の一般入試の数学の問題で、学習指導要領から削除された「無理数」という用語が使われた。事前の点検で分かった。

12日 西尾市内の市立中学校が公立高校一般入試の高校受験者名一覧表を受験生全員に配布していたことが分かり、市教委は学校に回収を指示していた。天白区の市立中学でも同様の一覧表を作成していたことが分かる。(中日)

12日 名古屋市議会の財政教育委員会で学校のトイレの問題が取り上げられ、小中学生の6割が学校のトイレを使いたくないというアンケート結果が報告される。

12日 名古屋ボストン美術館の学芸部長だった女性が、給与や退職金の大幅カットは違法だとして提訴。

13日 名古屋市内の小中学校で01年度に年間30日以上欠席した不登校の児童生徒は1800人で過去最高だったことが分かる。全児童生徒数の約1%にあたる。(中日)

13日 県議会文教委員会で新年度から

独自に少人数学級の導入を検討しているのは県内で6市1町教委に上ることが明らかにされた。

13日 県立大学が4月から、愛・地球博関連の工事による交通渋滞を避けるため始業時間を遅らせることになり、休み時間を5分に短縮することにしたことが分かる。

18日 豊明市の保育園で男子園児が園庭の遊具で大けがをしたのは市側の責任として園児の両親が市に380万円の損害賠償を求める訴訟を起こす。

21日 児童自立支援施設「玉野川学園」で入園していた中学校1年生の少年が女性職員に暴力を振るい、12月に退園処分を受けていたことが分かる。(中日)

25日 中部経済同友会の「日本のこころ」委員会が提言を発表。

26日 熱田高校の高橋信教諭が名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟の口頭弁論で証言を行う。

29日 県教委、県立学校の教職員住宅の6割を10年度までに廃止することを決めた。(中日)

30日 県健康福祉部が未成年者の喫煙調査を行い、中学2年生の男子5人に1人、女子7人に1人がたばこを吸った経験があることが分かる。(毎日)

4月

1日 文科省、スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールを新たに指定。県内では名古屋市立名東高校、県立千種高校が指定される。

1日 豊田市の公立保育園で民間企業出身の園長が誕生。

2日 豊田市教委は、子どもたちのモノづくりや科学技術に対する関心を高めようと「モノづくり科学創造事業計画」

を作る。(朝日)

7日 文科省、スーパーサイエンスハイスクールを新たに指定。県内では県立一宮高校が指定される。

8日 名古屋市教委は5月から、心身障害のある普通学級の児童・生徒を手助けする「学校生活介助アシスタント」を小中学校に派遣する。人材は民間委託する。(朝日)

9日 県立高校の元生徒が、事実と違う行為を理由に67日にわたる謹慎処分を受け、教育を受ける権利や人格権を侵害されたとして県を相手に損害賠償を求める訴訟を起こす。(中日)

9日 名古屋市教委は新型肺炎の流行地域から帰国した転入生に帰国後10日以内は自宅待機を要請する方針を決める。

11日 大府市の市民グループ「青少年の居場所づくり研究会」は青少年の居場所づくりについての提言をまとめ、同市に提出。(朝日)

17日 昭和区の「松栄学童保育クラブ」に通う児童の父母らが学童保育を運営するNPO法人「このゆびとまれ」の設立に向けて準備を進めている。(中日)

17日 港区の公園で、ホームレスの男性が若者に暴行され死傷。

22日 文科省、「学力向上フロンティアハイスクール」を指定。県内では県立愛知商業と豊明高校が指定される。

23日 県教委、「スポーツあいち さわやかプラン」を策定。

25日 トヨタ自動車などが設立する中高一貫校の開校予定日が06年4月と発表される。

5月

3日 小学6年生の通知表に「国を愛する心情」などの言葉がある学校が県内

で15校あることが分かった。(朝日)

6日 県教委、新型肺炎に対する新たな対応方針を通知。

8日 春日井市が公表した「青少年の意識と行動に関する調査」報告書で、小中高と進学するにつれて学校や家庭への満足度が下がり、母親に比べて父親との会話が減ることが分かる。(朝日)

9日 新年度から県教委が容認する方針を示した少人数学級は、名古屋市、一宮市、犬山市、尾西市、安城市、木曾川町の5市1町でスタートしたことが分かった。(中日)

9日 言葉の発達が遅い乳幼児は良好な子に比べ、テレビを見る時間が長い傾向にあることが名古屋市北保育所の調査で分かる。(中日)

10日 半田市の学校規模適正化検討委員会は、児童・生徒数が1000人前後の大規模校の解消策として、隣接の学校へ通学できる特例措置の拡大などを盛り込んだ報告をまとめた。(朝日)

13日 愛知県歯科医師会は、児童虐待の早期発見に協力しようと、医師の対応マニュアルを作成し、全国の歯科医師関係者に配布。(毎日)

14日 天白区の市立中学で、30代の男性教諭が1年男子生徒の頭を床に打ち付けるなどの体罰を加えて大けがをさせていたことが分かる。(中日)

25日 あいち民研第14回総会、記念シンポジウム「平和教育があぶない一生かそう教育基本法の理念ー」開催。

27日 名古屋市内の中学3年の女子生徒が飛び降り自殺していたことが明らかになる。友人関係の悩みをうかがわせる遺書を残していた。(中日)

28日 名大大学院の女子学生が文学研究科の男性教授をセクハラで提訴。

28日 知多児童相談センターが02年度に扱った虐待相談件数は106件で、このうち近隣、知人からの通報で分かったのは21件でトップだったことが分かる。

30日 県は「愛知の教育を考える懇談会」の委員2人を公募する。(朝日)

6月

3日 名古屋市教委、市立定時制高校を05年度から再編すると発表。

4日 名古屋市西区の長男餓死事件で母親に執行猶予付きの判決。

8日 文科省主催の教育改革フォーラムがウイルあいちで開かれる。会場外では「憲法と教育基本法の理念を実現する愛知の会」などが教基法改正反対を訴える。

9日 名古屋市立中学の男性教諭が市の施設を全面禁煙にしなかったのは違法だとして市を提訴。

10日 天白区の市立中学校の体罰事件で、体罰を加えた教諭に対して名古屋市教委は停職1ヶ月の処分。

14日 県教委、県立学校の敷地内を全面禁煙化する方針を固める。(中日)

15日 トヨタ自動車、中部電力、JR東海は設立準備を進めている中高一貫校を蒲郡市のラグーナ蒲郡に設置する方針を固め、県に打診。(中日)

16日 大口町、町内に2校ある中学校を統合し、07年度から新しい学校を開校する構想を明らかにする。

17日 豊田市教委、04年度から市立の小中学校を2学期制にする方針を明らかにする。

18日 名古屋工業大学の粥川教授らが県内の高校生を対象に睡眠調査をしたところ、慢性的な睡眠不足にあり、学校生

活に支障をきたしている例もあることが分かる。(中日)

24日 神田知事、県立3大学の将来像を話し合う検討会を立ち上げる方針を明らかにする。

25日 NPO「まめっこ」は7月8日、北区の柳原通商店街の空き店舗を活用して、子育て広場「遊モア」をオープンさせる。

(中日)

25日 02年度の児童虐待の通報が過去最高の709件に達したことが県児童家庭課のまとめで分かる。前年度より137件増え、98年度の4倍に。

26日 名古屋市教委、現行の奨学金制度を見直し、入学準備金制度を04年度中に導入する方針を明らかにする。

27日 県教委、高校入試での調査書と入試得点の各校での配分比率を発表。

28日 小牧市教委は市内の全小中学校の普通教室に扇風機を取り付けた。(中日)

30日 県教委、高校の枠を超えた選抜クラスを作り、大学レベルの教育を進める「才能開発教育特区」の認定を申請すると発表。

7月

6日 トヨタ自動車、中部電力、JR東海が進めている中高一貫の全寮制男子校の開校計画に対し「ワーキング・ウーマン」など東海地方の女性5団体は女子を排除するなどする抗議声明への賛同者を募ることを決める。

6日 県立高校の統廃合計画に反対するシンポジウム「すすめよう30人学級・やめよう統廃合」が開催される。

9日 県公立高校入学者選抜方法協議会議、「連携型中高一貫教育校における入

学者選抜のあり方について」「定時制・通信制課程における入学者選抜のあり方について」報告。

14日 一宮市の市立中学の男性教諭が、顧問をしていた女子運動部の部員にセクハラ行為をしていたことが分かる。

14日 名古屋工業大学、柳田学長の「信任投票」を教授会で行い、「信任票」が過半数に達した。

14日 愛知朝鮮中高級学校の生徒が名古屋大学を訪れ、受験資格の認定を求める申請書を提出。

17日 県立高校3校の削減が見込まれている知多地区の公立高校PTA連合会が実施計画の一時停止などを求める決議を5日に行いそれを県教委に伝える。

19日 蒲郡市教委、市内の小中学校で2学期制を導入する検討に入る。(中日)

25日 名古屋市立中学の教員が学校の全面禁煙未実施は違法だとして名古屋市を相手に提訴。

25日 県勤労者福祉推進会議、「若年者の就業問題」「多様就業型ワークシェアリングに向けて」について報告。

28日 県内の治安回復策を話し合うため、県と県警は「県安全・安心まちづくり有識者懇談会」の初会合を開く。

28日 職員殺害事件を起こした自立支援施設「愛知学園」について県は「愛知学園の処遇のあり方に関する検討委員会」がまとめた中間報告を発表。

28日 犬山市教委、学校現場で地道な活動に取り組んだ3人の教職員に市長の感謝状を贈る。

30日 実の息子を暴走族の総長に仕立ててグループから面倒見料を徴収していた父親が傷害容疑で逮捕された。(朝日)

30日 第1回県小中連携教育特区検討会議開催。児童生徒の「生きる力」をは

ぐくむため、ゆるやかな5・4制を念頭に、9年間を見通した小中連携教育のあり方を、教育特区の活用も含めて検討する。

31日 02年度学校基本調査結果速報によると県内の不登校の小中学生が前年度より1割減少。

31日 「愛知の教育を考える懇談会」の初会合が開かれる。

8月

4日 文科省の調査によると、県内の公立小中学校の耐震診断率は63.0%、耐震化率は49.4%(名古屋市内を含む)、名古屋市内の公立小中学校の耐震化率は67.3%。(中日)

5日 「県立の大学あり方検討会議」の初会合が開かれる。

7日 私立滝学園の講堂の壁の中から戦前の奉安庫が見つかった。(中日)

8日 犬山市、各学校の少人数学級運営のサポート役を担う「経営調整室長」のポストを新設する方針を決めた。(中日)

9日 教育基本法改悪阻止！夏の全国合宿in名古屋が開催される。

9日 犬山市教委、シンポジウム「教育のまち・学びの学校づくり」を開く。

20日 トヨタ自動車、岐阜県白川村に設ける自然体験型環境教育施設の名称を「トヨタ白川郷自然学校」と決めるとともに起工式を行う。

22日 文科省、「生徒指導上の諸問題の現状について(速報)」を発表。愛知県、いじめの発生件数は2446件で全国一。

23日 名古屋市芸術創造センターで第2次大戦中の朝鮮女子挺身隊をテーマにした劇「ほうせん花」が上演される。

9月

3日 刈谷市教委は市内の小学校の男性教諭が01年春に福祉体験活動費12万円を着服していたことを明らかにする。

3日 金城学院大学の教授が実際には修了していないフランスの高等美術教育機関を修了したと申告していたことが分かった。(中日)

3日 大府市は、教育関係者の責務を盛り込んだ「おおぶ男女共同参画推進条例案」を発表した。(朝日)10月1日に施行。

4日 県教委、県内初の民間人校長として西尾実業高校に豊田自動織機の課長を登用すると発表。

5日 県教委、県立成章高校赤羽校舎の生徒募集を04年度から停止すると発表。

9日 扶桑町、05年度から全小中学校で2学期制を導入することを決めた。

(中日)

12日 弱視を理由に指導員から外されたのは不当な障害者差別だとして愛知高校の教諭が学校法人に慰謝料を求め提訴。

(毎日、中日)

19日 名古屋大学、朝鮮学校の卒業生に受験資格を認める方針を固めた。(朝日)

22日 津島市立小学校の教諭が、教室に掲示した原爆に関するパネルを校長が撤去したことは違法として、慰謝料の支払いを求める訴訟を起こす。

22日 犬山市教委、「校舎の改革」をする検討委員会を発足させることを決める。

30日 名古屋市議会、教育委員に中日新聞の川村洋司氏を選任することに同意。

4代連続で中日新聞出身者から選ばれる。

10月

1日 一宮市立大和中学校で「保健緊急連絡カード」190人分がなくなっていたことが分かる。

2日 名古屋市教委、04年4月から市立学校を全面禁煙とすることを決める。

2日 美浜町立小学校の事務職員が就学援助費など75万円を着服していたことが分かった。(中日)

2日 臨時教員問題の改善を求める会代表委員の兼松ゆかりさんのもとに県教員採用試験の合格通知が届く。

5日 名古屋市立向陽高校夜間定時制の存続を求める「向陽定を守る会」の結成集会が開かれる。

8日 名古屋市内の保育園のほぼ半数が児童福祉法と省令で定められた月1度以上の避難訓練を実施していないことが分かる。

8日 県教委、次期教育委員長に太田弘氏を選任。

21日 名古屋市昭和区の4歳の男児が死亡した事件で、男児の母親の交際相手の高校3年生の男子生徒を傷害致死の疑いで逮捕。

22日 県教委、「県立高等学校再編整備実施計画(第1期2次分)」決定。統合対象の8校等を決定。

22日 朝鮮総連県本部などは朝鮮学校への補助増額などを求める要望書を知事に提出。

27日 ホームレスのテントにガソリンをかけて燃やしたとして高校1年の少年が逮捕され、4少年が補導される。

11月

1日 高浜市、「たかはま子ども市民憲章」を制定。

6日 県個人情報保護審議会、公立学校教員採用試験の面接での「所見欄」を

受験生本人に開示するよう求める答申を県教委に出す。

7日 名古屋市教委、中学校の男性教諭2人について指導力不足として特別研修を受講させることを決め、本人に通知。

21日 名古屋市の小学校の男児生徒がシックスクール症候群と診断され、学区外通学が認められたことが分かった。(中日)

23日 知多郡の中学校が生活態度に問題がある2年生の女子生徒に「職場体験」として近くのスーパーで働くよう指示していたことが分かる。2週間の期間内には定期試験も含まれていた。(中日)

26日 名古屋朝鮮初級学校が授業を公開。

26日 豊明市は前後町に「子育て支援センター」を整備すると発表。

26日 大学運営のあり方をめぐり学内で対立があった名古屋工業大学の柳田学長が辞意を表明。

27日 県教委、田口高校との連携型中高一貫教育の対象校に豊根中を加えることを決めた。(中日)

27日 犬山市は築32年以上の校舎で応急の耐震補強工事を市単独で実施する方針を決めた。(中日)

28日 ジェイ・プランニングと名古屋鉄道が04年2月に名鉄瀬戸線の大曾根駅に一時預かりの託児所を開設することになる。(中日)

28日 豊田市教委、04年度から市立小中学校と養護学校で2学期制を導入すると発表。

12月

1日 名古屋市議会で、市側は公立の中高一貫校について、市としても設置を検討する方針を明らかにする。

2日 蒲郡市教委、04年度から2学期制を導入するとの答申を検討委員会がまとめ、教委会議に提出すると発表。

5日 東海市立小学校で01年、生徒が跳び箱で転倒しけがを負い、生徒側が損害賠償を求める訴訟を起こす。(中日)

9日 県高校教職員組合、県立の養護学校への通学に必要なスクールバスの台数を増やすように県教委に訴える。

12日 県、教育問題に関する県民の意識を尋ねた県政アンケートの結果を発表。

16日 名古屋大学医学部の入試で大学側の連絡ミスで追加合格していたはずの受験生が不合格となっていたことが分かる。

16日 名古屋市教委、市立西陵商業高校を単位制の総合学科に再編する方針を固めた。(中日)

19日 県教委、中学3年生の第2回進路希望状況調査結果を発表。進学希望率は95.1%で過去最高。

21日 「あいち・子どもNPOセンター」の設立総会が開かれる。

(研究部長)



あいちの子育てと教育・文化動向2004

大橋基博編

1月

5日 神田知事、年頭会見で、「あいち知と技の探求教育特区」を申請することや、公立小学校の1年生を対象に新年度から少人数学級の導入をめざすことを明らかにした。

6日 豊川市の6歳の女兒が母親からの暴行で死亡。後に母親逮捕(9日)。

6日 愛高教、高校生を対象とした自衛隊のイラク派遣に対するアンケート結果発表。賛成は16.7%、反対が54.9%。

7日 県立千種高校、新学期からイギリスの名門ハロウ校と、インターネットを使った交流を本格化させることになった(中日)。

8日 名古屋市教委、米国でBSE感染牛が発見された問題で、小学校と養護学校の給食から米国産牛肉の使用をやめることを決めた。

9日 小牧市、新年度から中学生の生徒指導を専門に受け持つ非常勤講師を8名採用する方針を発表。

12日 津島市や海部郡の障害児の保護者たちが運営するNPO法人が、4月に障害児向けの児童デイサービス施設を津島市内に開設することになった(朝日)。

14日 県は新年度から公立小学校1年を35人学級とすることを明らかにした。

16日 名古屋おやこセンターチャイルドライン室が子ども電話相談を54時間連続で受け付ける。

25日 名古屋市が募集した児童館と福祉会館の管理委託先に8つのNPO法人が名乗り

を上げた(中日)。

25日 県教委、公立高校入試で、知的障害を抱える男子生徒に対し、別室で介助者が同席して受験を認める方針を固めた(中日)。

27日 県の産業教育審議会が開かれ、「キャリア教育」のあり方について審議を始めた。

27日 瀬戸市、マイカー通勤の教職員から駐車料金を徴収することを決めた(中日)。

27日 国民生活金融公庫名古屋支店は「愛知県内の家計における教育費負担の実態調査」を発表。子どもの教育費は年収の3割近くを占めていることがわかった。

28日 名古屋地裁半田支部、学校がいじめを放置した結果、不登校になったとして半田市に中学3年の男子生徒に100万円を支払うよう命じた。

30日 名古屋市は新年度から、子育て支援手当を支給する方針を固めた(中日)。

31日 名古屋市教委は市立中学全校に外国人英語指導助手を配置する方針を固めた(中日)。

2月

3日 いじめられて逆上し同級生にカッターナイフで切りつけたとして、名古屋市内の県立高校生が逮捕された。

4日 名古屋市が公募した児童館などの管理委託先に16施設すべてで社会福祉協議会が管理者に選ばれたことがわかった(朝日)。

5日 県市議会議長会の定期総会が開かれ、少人数学級に関する義務教育施策の充実、乳幼児医療費を就学前まで拡大などを県に要望することを決めた。

9日 県内の公立高校の約6割に当たる103校が、大学入試の合否情報を予備校に提供し、うち95校が生徒本人の了解を得ていなかったことがわかった。

12日 主に不登校の相談相手となる非常勤講師を募集した小牧市教委は114人の応募者

の中から8人を採用することを決めた(中日)。

14日 長久手町教委が「学区適正化検討委員会」の一般委員を募集したが、町民からの応募がなく、「町民枠」をなくして検討委を発足させることになった(朝日)。

15日 私教連主催の「授業改革フェスティバル」が名古屋大谷高校で開かれた。

18日 名古屋市教委、3月迄に防犯カメラなどを新設し、非常用インターホンは約9割、防犯カメラは約7割の市立学校に設置することを決めた。

19日 名古屋市内の県立商業高校で、金髪の生徒の頭髪を教諭が黒い染髪スプレーで強制的に染め直させていたことがわかった(毎日)。

19日 名古屋市立中学の女性教諭が、地方公務員法に違反し、市内の牛井店でアルバイトをしていたことがわかった。

26日 校内禁煙の不実施は禁煙教育の妨害で教育権を侵害されたとして名古屋市立中学校の教員が慰謝料を市に求めている訴訟で、名古屋地裁は請求を棄却。

27日 名古屋市立大学は、06年4月に法人化する方針を固めた(中日)。

29日 「愛知子ども文化団体協議会」の設立総会が開かれた。

3月

3日 少年の再非行を防ぐために、立ち直りを支援するチームが天白区に発足した。中学校区ごとに天白署少年係員と生徒指導担当教諭、少年補導委員、保護司の4人一組で活動。

4日 県教委は新年度、小学校から中学校への円滑な連携をめざす「小中連携」の研究に乗り出す。瀬戸市、知多市、額田町の小中学校を指定する(朝日)。

13日 地域限定の育児雑誌「はっぴーママ東海版」が創刊された(朝日)。

13日 名古屋市立中学校の男性講師が、講師として採用される前に傷害事件を起こしていたことがわかり、講師は退職届けを提出していたことがわかった(中日)。

13日 小牧市の私立幼稚園でO157対策で消毒液の原液で洗浄した便座に座った園児が皮膚炎を起こしていた問題で当時の園児と両親が幼稚園側を提訴したことがわかった(中日)。

15日 県教委、「愛知県子ども読書活動推進計画～いきいきあいちっ子を育むために～」を策定。

18日 愛知の教育を考える懇談会が中間報告をまとめた。

18日 千種署は強盗致傷の疑いで市内の県立高校生4人を逮捕。

19日 高浜市立中学校で、卒業記念文集に「指名手配になりそうな人」「非行に走りそうな人」などのランキングを掲載していたことがわかった(中日)。

19日 歯科医の祖父を暴行して死なせたとして北署は名古屋市内の大学1年生を緊急逮捕。

19日 県教委は、04年度から、県と国が給与費を負担し、市教委に置いている「充て指導主事」を廃止し、県と市町村が給与費を折半して負担する「派遣指導主事」を設ける(日本教育新聞)。

22日 安城市教委は、少人数学級の対象を新年度から2年生にも広げる方針を決めた。

22日 県私立学校審議会が開かれ、豊田市内の市立2幼稚園の運営を学校法人に任せて、05年4月から私立幼稚園化することなどを認めた。

25日 県義務教育問題研究協議会、「平成14・15年度報告—確かな学力を育成する学習指導の在り方—学習指導の在り方 Q&A」を県教委に報告。

25日 県小中連携教育特区検討会議、「小中

連携教育のすすめ」を県教委に報告。

25日 「塾の会・愛知」が尾張地区の公立高32校を調査したところ、8割以上の高校で、第1、第2志望とも不合格の受験生が相対評価だった前年に比べて増加していることがわかった(中日)。

26日 県教委が休日の取り扱いをめぐる戒告処分を撤回しないのは違法だとして、春日井市立小学校の教諭が県教委に処分の無効の確認と、県に精神的苦痛を受けたとして賠償を求めた訴訟の判決で、名古屋地裁は「校長の承認で研修したと認められ、処分事実は存在しなかった」として、県に10万円の賠償を命じた。

26日 県立高校の合格発表の前日に合否判定に誤りがあることがわかり、県教委が合否判定をやり直していたことがわかった(毎日)。

27日 名古屋市教委、指導力不足として小学校と中学校の教員各2人、計4人を新年度の特別研修の対象者として決めた。うち2人は継続(中日)。

30日 県教委、指導力不足の教員の特別研修の対象者として新たに5人を決めた。03年度は10人が対象となり、3人が職場復帰、3人が退職、4人は引き続き研修を受ける(中日)。

31日 名古屋市教委、加藤雄也教育長の後任に教育次長の犬野重忠氏を選任。

31日 県は、児童養護施設で着服や体罰が行われていたとして施設を運営する社会福祉法人に改善命令と改善勧告を行った。

4月

2日 県は、06年度から大府市の県立桃陵高校に知的障害養護学校の高等部を併設する方針を決めた(中日)。

13日 県立高校の入学試験中に別の受験生を殴ったとして15歳の少年が逮捕された。

15日 知多地方教職員労働組合は東海市校

長会の沖縄視察に問題があるとして同市教委に説明と報告書提出を求める要求書を出した。

16日 西春町、町立児童館の運営をNPOに委託する県内初の試みをスタートさせた(毎日)。

16日 文科省の04年度研究開発学校新規指定に西尾市立寺津小学校、寺津中学校が選ばれる。小中一貫教育のもと、小学校から新教科「ABC」及び「食育科」を取り入れ、小学校から教科担任制を導入。

21日 県教委、体罰を行った2人の教諭に対し戒告処分。

23日 名古屋ボストン美術館の元学芸部長らが、経営難を理由に賃金等を減額されたのは違法として、美術館を運営する法人を相手に起こしていた訴訟で、名古屋地裁は減額給与を全額支払うよう命ずる判決。

23日 豊橋市教委、2学期制の研究を市立賀茂小学校に委嘱。

26日 中高一貫の男子校「海陽学園」について、同校の男女共学を求める市民グループが県に申し出書を提出。

27日 県の私立高校の募集人数に対する欠員が、昨年に比べて約500人少なくなったことが県私学協会の調査でわかった(朝日)。

28日 名古屋家裁一宮支部が02年、少年に対し少年法で検察官送致(逆送)が認められない罰金刑以下の事件だったにもかかわらず誤って逆送を決定していたことがわかった。

30日 愛知学園の処遇のあり方に関する検討委員会が最終報告を発表。

5月

1日 電波学園が、教諭2人に合意を得ずに給与を減額したとして労働基準監督署から是正勧告を受けていたことがわかった。

11日 北区保育団体連絡会が「北区子育て便利帖」を作成(中日)。

12日 94年に起きた「長良川・木曾川連続

リンチ殺人事件」で「週刊文春」に実名と似た仮名で報道され名誉を傷つけられたとして、当時 18 歳の男性が発行元を訴えていた裁判の差し戻し審で、名古屋高裁は慰謝料支払いを命じた一審判決を取り消し、発行元が勝訴。

12日 東海署は、ネット掲示板で同級生の名誉を棄損したとして 15 歳の男子中学生を書類送検。

19日 県教委、海外・中国帰国子女と外国人生徒の選抜方法のあり方について、県公立高校入学者選抜方法協議会議に諮問。

19日 名古屋市、次世代育成支援対策推進会議を発足させた（中日）。

22日 引きこもりの子をもつ親を対象とした「ファシリテーター育成会（仮称）」発足の集いが開かれた。

27日 県の次世代育成支援対策行動計画策定協議会の初会合が開かれた。

6月

5日 愛知朝鮮学園は県内の朝鮮学校全5校を一斉開放、授業を一般公開。

11日 名古屋市内の小学6年の女子児童3人が、クラスメートから多額の現金を脅し取っていたことがわかった（中日）。

16日 半田市の高校1年の男子生徒が中学の時にいじめを受け、学校が適切な対処を怠ったとして市を訴えていた損害賠償訴訟で和解が成立。

20日 チャイルドラインあいちがNPO法人となり、設立総会が開かれた。

20日 名古屋市立向陽高校の夜間定時制で05年度から生徒募集が停止される問題で「向陽定を守る会」が「定時制教育を考えるシンポジウム」を開催。

21日 あいち民研、県庁で記者会見し、「愛知の教育を考える懇談会」の中間報告についての見解および運営上の問題を指摘。

23日 犬山市立栗栖小学校で、教員が県の

基準より1人多く配置されていることがわかり、2年生担任の教諭を市内の他の小学校に異動させることを決定。専科教員の配当基準のチェックミスによる。

24日 県議会文教委員会で、公明党の議員が、県立高校の日本史の中間試験で、イラクへの自衛隊派遣に肯定的な回答は0点、否定的な回答には5点と評価していたことを問題視。

26日 県の公立高校の内申書で「5」を取った生徒の人数割合に最大で4.7倍の格差が生じていたことが中日新聞の調査でわかった（中日）。

29日 尾張旭市の中学校に包丁を持った男が侵入し逮捕された。

30日 県教委、県立学校と各市町村の教育委員会に対し、児童生徒の安全確保などを徹底するよう通知した。

7月

1日 名古屋市、市内8カ所の保育園などに地域子育て支援センターを開設。

2日 名古屋市教委、酒気帯び運転で接触事故を起こした小学校長を停職6ヶ月に、校長は辞表を提出。

2日 「海陽中等教育学校」の設立準備委員会は、県に設置計画書を提出。

3日 津島市の小学校教諭が、校内に掲示したイラク人捕虜虐待の写真ニュースを校長がかつてにはがしたのは違法として、市に慰謝料を求める訴訟を起こした（中日）。

6日 県児童・障害者相談センターと児童相談センターの03年度の相談受付数は、前年度より約15%減ったが、同じ事例に関してあった相談延べ件数は、前年度より3.5%増えて10万8361件だった。児童虐待に関する相談受付は737件（朝日）。

6日 県教委、自分づくり・仲間づくり推進事業を委託する小・中学校18校を発表（中

日)。

9日 稲沢市の小学校で男性教諭が指導の一環として男子児童を別の児童にたたきように指示していたことがわかった

10日 豊田市内で幼児が母親に水を飲まされて病院に運ばれた事件で、豊田署は母親を傷害の疑いで逮捕。

13日 県公立高校入学者選抜協議会議、中国帰国生徒選抜について、06年度から学力検査を課すことが望ましいとする答申をした。

14日 名古屋市教委、暴風警報が発令されたときに下校させていたルールを見直す方針を示した。

15日 県教委、県立高校の「統合後の新しい学校の基本構想について」発表。来春の公立高校入試で各高校が決める調査書と入試得点との配分比率も発表。

16日 小牧署、小学校低学年の女兒にいたずらをしたとして中学3年の少年を逮捕。

16日 県警、1-6月の少年非行の概況を発表。刑法犯少年の検挙・補導は3,431人(前年同期比15.3%増)で過去5年間で最多。

23日 県立高校の教諭2人が修学旅行で昼食時にビールを飲んだことがわかった。

24日 社会派劇で知られる劇団「燐光群」が名古屋市でイラク戦争を主題にした新作上演を企画したところ、同市文化振興事業団が7月になって共催を断ったことがわかった(朝日)。

28日 名古屋市昭和区の5歳の男児が母親から暴行を受け死亡、母親は傷害致死の疑いで逮捕。

8月

3日 神田県知事とNPOの代表たちが対等な立場で「協働」を誓い合う署名式が行われた。「あいち協働ルールブック2004」を尊重し、運用を通じて改善していこうとする県の呼びかけに輪が広がった。

6日 新城市教委、こころの相談員事業が廃止になったことを受けて、地域の住民が相談員となって各学校に出向き中学生の悩みを聞く「ハートフルスタッフ相談事業」を始めた(日本教育新聞)。

8日 県教委、8月から、研究指定校で教員評価制度を試験的に導入(朝日)。

10日 04年度学校基本調査(速報)が発表された。不登校は小学校1,443人(0.34%)、中学校5,897人(2.81%)。

10日 名古屋市内の小中学校の元教師らが戦後の学校現場の体験談をまとめた「いのち輝かせ」第2集を刊行。

11日 稲沢市の小学校長が、参院選挙で民主党の候補者の紹介カードに署名するよう事務職員に依頼していたことがわかり、稲沢市教委は校長を注意処分した。

12日 名古屋市内で起きた過去の虐待死事件を反省する事例検討会の報告書がまとまり、なごやこどもサポート連絡会議で報告された。

23日 県警、参院選で元県教員組合委員長の民主党の候補を応援したとして稲沢市立小学校の男性校長を書類送検。

27日 尾張旭市、市内のすべての小中学校の門扉にカメラ付きインターホンを設けることを決めた(朝日)。

27日 文科省、「生徒指導上の諸問題の現状について」を発表。03年度の県内のいじめ発生件数は2,307件と前年度比5.6%減。しかし4年連続で全国最多。暴力行為は前年度比11%増の982件。

29日 県内に住む外国人の意見を行政に反映させる「外国籍県民あいち会議」が開催された。

31日 県教委、長崎県の小6女児事件をめぐり授業中に不適切な発言をしたとして豊田市立小学校の男性教諭を停職2ヶ月の懲戒処分。児童に体罰を加えた一宮市の男性教諭も減給処分。

31日 県情報公開審査会は、県立高校3校での「補習」の受講料の集金総額とその用途について、不開示としたことを妥当とする答申をした。

9月

1日 東海市で01年に起きた体育の事故で両親と同市が和解することになった(朝日)。

3日 一宮市立中学校で7月下旬、2年生の男子生徒がハンドボール部の練習中に熱中症で意識不明となり、1ヶ月後に死亡していたことがわかった(中日)。

6日 県は、県立高校6校を統合し、新たに開校する3校の学校名を発表。

7日 県教委は、異常気象時の児童・生徒の途中下校などについて、現場の判断を重視して決定するよう県内の市町村教委と県立学校に通知。

11日 日本育英会の独立行政法人化で高校生を対象とした奨学金事業が05年度から県に移管されるのに伴い、県は、学力要件の撤廃や所得要件の緩和を骨子とする県国公立高等学校等奨学金貸与条例の一部改正案を定例議会に提出する(毎日、中日)。

15日 県教委、元同僚女性教諭に対する強姦致傷罪などで起訴された稲沢市立中学の男性教諭を懲戒免職処分。

16日 瀬戸市、06年度から通学する小中学校を居住地に隣接する学区からも選べる「隣接学校選択制」を導入することを決定。

19日 引きこもりの子どもを持つ親が作る「KHJ 東海・なでしこの会」がNPO法人としてスタート。

21日 名古屋市は、児童相談所に寄せられた虐待事例などの対応について外部の専門家が定期的に助言を与える「スーパーバイザー制度」を創設するなど児童相談所の組織強化に乗り出す方針を固めた。

21日 県議会本会議で、県は、「学校評価シ

ステム」を05年度から全県立学校で導入したいとの意向を示した。

26日 全国59の都道府県・指定都市を調べた公立小・中学校の女性管理職登用度ランキングで、愛知県は8%で55位、名古屋市は10.3%で51位だったことがわかった。全国平均は15.9%(朝日)。

10月

5日 愛工大名電高の吹奏楽部の顧問がセクハラをしたとして減給処分に(中日)。

5日 県教育サービスセンターの「こころの電話」の03年度版報告書が公表された。年間相談件数は1万4894件。

5日 豊田大谷中学と豊田大谷高校の大学進学希望者を対象とした「蒼穹コース」の生徒が、両校を設置する尾張学園に対して、同中学の新入生募集を停止したり、同コースと他のコースとの合併授業を増やしたりしないよう求める仮処分を名古屋地裁に申し立てた。

13日 春日井市の市立中学の道徳副読本の採択をめぐる、男性教員が、校長が校内の手続きに反して県教育振興会発行の副読本を選定したのは裁量権の逸脱であるとして校長や同市に採択取り消しと慰謝料の支払いを求める訴訟を起こした。

18日 常滑市シルバー人材センターが、住宅を借りて「異世代交流子育て支援施設」を開設。

19日 県教委、委員長に赤井知久氏(豊橋市)を選出。

19日 愛教組、「女性教師の生活白書」「青年教師の生活白書」を刊行(毎日)。

24日 県立高校では、公衆電話が設置されている157校のうち月額利用4000円未満の109校で撤去されることが決まった。

25日 県内の小中学生が学校から愛・地球博を訪れたときに入場料を県が全額負担することを県教委が検討していることに対して

「がっこうコミュニティユニオン・あいち」
は無料化をやめるよう求める要求書を県に提出。

30日 犬山市教委、シンポジウム「学びの
学校づくり」を開催。

11月

1日 中川区の団地で1歳の女兒が意識不
明の重体となった事件で、中川署は傷害の疑
いで父親を逮捕。

1日 小牧署は、6歳の長女を虐待したと
して小牧市に住む母親と内縁の夫を逮捕。

8日 愛教大、学部と大学院の6年間一貫
教育で教員を養成する新しいコースを05年
4月に開設することを決めた(毎日)。

12日 6年前に児童養護施設「暁学園」で
少年4人に集団暴行されたのは施設の過失と
して少年と家族が損害賠償を求めた訴訟で、
名古屋地裁は県に3375万円の支払いを命じ
た。

12日 県立小児病院・あいち小児保健医療
総合センターに03年度寄せられた虐待の相
談件数が992件に上り、前年の約3倍に急増
したことがわかった。

19日 小牧市立中学の2年男子生徒が大
麻を試し書類送検された。

20日 春日井市立中学の女性教諭が成績判
定資料の入ったカバンをひったくられた。

29日 県立の大学あり方検討会議、「(提言)
21世紀に飛躍し 競争力のある 魅力あふ
れる大学づくりに向けて」をまとめた。1法
人3大学が望ましいとする。

30日 校内に掲示したイラク人捕虜虐待の
写真ニュースを校長が勝手にはがしたのは違
法で、精神的な苦痛を受けたとして津島市の
小学校の男性教諭が、市に慰謝料を求めた訴
訟の判決が名古屋地裁であり、校長の行為は
妥当として請求を棄却。

12月

3日 神田知事、県議会本会議で、県内1
1カ所に設置している県の勤労会館を廃止も
しくは市町村などに移譲する方針を明らかに
した。

4日 名古屋市は、市内の全小中学校に「刺
股(さすまた)」を2本ずつ導入することを決
めた(朝日)。

6日 名古屋市情報公開審査会、教員に対
し暴力を振るった生徒に関する文書について、
一部を公開するよう答申。

9日 桜花学園大で教授がセクハラ行為で
懲戒免職処分を受けていたことがわかった。

10日 文科省の調査で、03年度、精神疾患
で病気休職した公立学校教員は、愛知県133
人(前年度129人)、名古屋市59人(同36人)。

21日 長久手町教委、35人以下学級を町
独自で05年度から2年生でも導入する方針
を決めた。

23日 電波学園と名古屋学園が、教職員の
時間外賃金の未払いがあったとして、約9億
5千万円を追加支給したことがわかった。

28日 県は、心臓に電気ショックを与える
「自動体外式除細動器(AED)」を全県立高
校に配備する(朝日)。

*本動向作成にあたっては、中日新聞、朝日
新聞、毎日新聞の教育関係記事を基本資料と
した。項目により発生日日が確定できなかったものは新聞掲載月日で示し、掲載紙名を括
弧内に示した。

(あいち民研 研究部長・名古屋造形芸術大
学短期大学部)

大橋基博編

■1月

6日 県教委、津島市立小学校の男性教諭が3年生の子どもに体罰を加えたとして停職3月の懲戒処分とした。子どもは全治半年以上の心的外傷後ストレス障害と診断された。教諭は退職へ。

6日 名古屋市は新年度から、小学校2年生の30人学級制を16校程度で実施する方針を固めた。(中日)

8日 県警、生後7ヶ月の長女に暴行を加えたとして刈谷市に住む主婦の少女18歳を逮捕。→10日夫20歳も逮捕。

9日 名古屋市は新年度から、現行8人の児童相談所の児童虐待防止班職員を16人に倍増する方針を固めた。(中日)

13日 愛知県は、青少年保護育成条例の規制を大幅に強化し、全国でも最も厳しい内容に抜本改正する方針を固めた。(朝日)

17日 県教委、知的障害がある児童・生徒を対象とした養護学校を岡崎市に新設することや、県立安城南高校に「情報活用コース」を新設する方針を県議会と党会派に示す。

18日 犬山市の教育改革の試みについて東京大学大学院の研究グループが検証を始めることになった。(中日)

18日 名古屋市、新年度に「自閉症・発達障害支援センター」を設置する方針を固めた。

23日 県警少年課、04年の少年非行の概況を発表。刑法犯で検挙・補導された少年の人数は6,956人で、前年から4.3%増加。深夜はいかいでの補導は24,896人で5年間で約3倍に増加。(毎日)

25日 名古屋市内の小中学生が学校行事で愛知万博を訪れるときの入場料を県が全額負担する方向で検討に入った。(中日)

26日 養護学校課題研究調査委員会「知的障害養護学校の今後の方策について(報告)」、尾張西部地区、海部・津島地区及び知多地区の「再編整備高校構想委員会」の「構想報告」が県教委に報告された。

26日 県が財政危機を理由に、99年度から3年間、

給与をカットしたのは違法だとして教職員が県を相手に起こした訴訟で、名古屋地裁は請求を棄却。

26日 名古屋地裁半田支部は、児童自立支援施設愛知学園で職員が入所少年に殺害された事件で遺族が損害賠償を求めた訴訟で、加害少年らに1億300万円の支払いを命じた。

28日 「塾の会愛知」が県内中学3年生の2学期の評定を調査。絶対評価を導入した昨年度より「辛め」の評定がつけられていたことがわかった。(中日)

30日 名古屋南部法律事務所の設立30周年を祝う講演会が開かれた。漫画家石坂啓さんが「子どもたちの未来と憲法」と題して話した。

30日 「トヨタ・子どもとアーティストとの出会い in 愛知」が開かれ、「愛知における学校教育現場でのアーティストの果たす役割とその可能性」をテーマにパネル討論が行われた。

■2月

3日 県は05年度から私立高校の授業料補助の年収上限を引き下げる方針を固めた。(中日)

3日 守山署、授業中に騒いで注意を受けたのに腹を立て、教諭の乗用車をけり、さらに男性教諭を殴った中学3年生の男子生徒を逮捕。

3日 県警国際捜査課、中村署、名古屋入国管理局は、入管で認められた規定以上のアルバイトをしていたとして、尾張地方の和洋裁専門学校に在籍する中国人留学生数人を摘発。専門学校は出席日数を大幅に水増しした書類を学校ぐるみで発行していた。

4日 「愛知の教育を考える懇談会」の最終報告(案)がまとまる。→2月14日に一部修正の上、確定。

7日 緑署、偽の旧5千円札を使ったとして南区内の中学3年の男子生徒2人を逮捕。→14日 2人に偽札を渡した同じ中学に通う3年の男子生徒を逮捕。

21日 県は「あいち行革大綱2005」を策定。

22日 県教委、教職員の実名公表も視野に教職員の不祥事の防止策を強化することを明らかにした。→25日に発表。

22日 県教委、04年の参院選前に民主党の議員の紹介カード記入を部下に求めたとして稲沢市の小学校校長を減給処分。

23日 県は新年度から大学改革室、教育企画室を設ける機構改革を行う。(朝日)

24日 道徳副読本の選定をめぐり、教員の投票で2番目であった県教育振興会発行の「明るい人生」を選定したのは裁量権の逸脱として春日井市の教員が採択取り消しなどを求めている裁判で、名古屋地裁は原告の請求を棄却。

27日 愛知高教組、「高校入試制度県民窓口」を27日と28日に開設。

28日 県、市町村職員を対象とした児童虐待防止のための研修会を開いた。

■3月

1日 名古屋市、小学2年生の30人学級について07年度をめどに全校で実施することを明らかにした。

2日 神田県知事、県立大学と県立看護大学を09年度をめどに統合する方針を明らかにした。

7日 民主党県議団、県私学協会、県教員組合、私学をよくする愛知父母懇談会との間で「明日の愛知の教育を考える懇話会」を設立することを決めた。

8日 県、外国人の子どもが適切な教育を受けられるようにするために、各種学校設置認可基準を緩和する方針を明らかにした。

10日 県立岩津高校で行われた入試で、社会科の試験時間を5分間長くするミスがあった。11日に社会科のみ再試験を行う。

9日 愛高教、「高校入試制度県民窓口」への意見結果をまとめた。内申書の絶対評価への意見が集中した。(朝日)

9日 名古屋地裁、セクハラを理由に懲戒処分を受けた名古屋大学教授が処分の取り消しを求めている訴訟で、原告の請求を棄却した。

12日 少年犯罪の捜査員が教壇に立つ課外授業が1月から3月まで計5回、北区志賀中学で行われた。(中日)

15日 愛知教育大学は、学校教育や生涯学習を中心とした活動で地域との連携協力を深めるため刈谷市教育委員会との間で覚書に調印した。

15日 県立大、県立芸術大、県立看護大の3大学の改革の基本計画づくりをする「県立の大学改革推進会議」の初会合が開かれた。

19日 七宝町の小学校で、1年女子児童が殺菌消毒剤の原液を腕にかけ、けがをしていたことがわかった。(中日)

23日 県立高校で合格者発表。知的障害を持つ男子生徒が全日制普通科高校に合格。

25日 名古屋市、「なごや 子ども・子育てわくわくプラン」を発表。

25日 文科省、学校選択制の実施状況を発表。愛知では小中学校それぞれ5つの自治体が実施。

27日 3月いっぱい廃止される名古屋市北青年の家で利用者によるお別れ会「北青旅立ち祭—ありがとうそして再見!」が開かれた。

29日 02年、緑区の保育園の屋上駐車場から車が転落して園児が死亡した事故で、園児の両親が社会福祉法人と理事長、事故を起こした運転者らを相手取り起こしていた訴訟で、名古屋地裁は園の責任を認め、5900万円の支払いを命令。

29日 名古屋市教委、教職員の定期人事異動を発表。養護教諭の教頭への起用を東海地方の公立小中学校では初めて実施。

29日 県教委、教職員の定期人事異動を発表。指導力不足教員として研修を受けている9人の教諭のうち、1名は職場復帰、4人は研修を継続、4人は県教委の勧めで退職。

30日 健康増進法の施行後も名古屋市が施設の禁煙措置を怠ったため苦痛を被ったとして、同市立中学の教諭が慰謝料の支払いを求めた訴訟で、名古屋地裁は受忍限度内として請求を棄却。

31日 名古屋市教委、教育長に岡田大市長室長を選任。

■4月

2日 県立聾学校の男性教諭が修学旅行中に中学部の女子生徒の体を触るわいせつ行為をしたとして懲戒処分を受けていたことがわかった。

5日 「外国人の子どもの教育と人権ネットワーク」は、県内全市を対象とした「外国人の子どもの就学状況実態調査」の結果を発表。外国人登録のない子どもについて、半数の市が市立小中学校への就学を認める姿勢であることがわかった。

7日 県教委、「県立高校再編整備実施計画」(第1期2次分)に基づき、06年度に常滑北、常滑の両校を統合して、新たに開校する高校の基本構想を発表。

7日 文科省、公立の小中高校に在籍する日本語の指導が必要な外国人児童生徒は、04年9月時点で、

1万9678人で、県別では愛知が最多の3057人。

7日 守山区の小学校の教諭が浜松市内の女子中学生にみだらな行為をしたとして逮捕された。

12日 県教委、市町村に各学校が作る付近の危険箇所マップに防空壕の情報も盛り込むように指示。鹿児島で起きた防空壕内での中学生死亡事件を受けたもの。

13日 尾張地方の18市の教育長でつくる「尾張部都市教育長会」が、これまで主に情報交換するだけだった「定例会議」を、各市が抱える教育問題について話し合い、その結果を県に提案する場に改める方針を決めた。(中日)

20日 「県公立高等学校入学者選抜における群及びグループのあり方に関する懇談会」が、群及びグループの組み替えや、「1・2群共通校」の導入などを求める報告書をまとめた。

20日 同僚の女性教員宅に侵入し強姦致傷などの罪に問われた元稲沢市立中学教員に名古屋地裁一宮支部は懲役7年の実刑判決。

23日 千種区の千種台中学校で、休部になっている「ジャズオーケストラ部」を復活させようと地域の住民が署名活動などを行っている。(中日)

28日 春日井市立小学校で、男性教諭が首をつって自殺。指導方法について悩んでいたという。

■5月

9日 県教委、来年度の教員の採用について発表。講師経験者を対象とした特別選考を新たに導入する。

10日 岡崎市のマンションから同市内の県立高校の1年の女子生徒が飛び降り自殺。

17日 東海市の鈴木市長は、市立中学校の校区枠を撤廃し、希望校を選択できる制度を4年後をめどに導入することを明らかにした。

18日 守山署、4歳の長男を暴行した義父を逮捕。幼児はその後死亡。

19日 名古屋市、守山区の幼児虐待死事件をうけ、虐待の危険性の判断基準の再検討を進めることを明らかにした。

19日 県弁護士会の有志が県内に「子どもの自立支援シェルター」設立を計画。(毎日)

20日 県社会福祉審議会、「愛知県心身障害者コロニーの今後のあり方について」答申。

21日 名大が出した文科省へのCOEプログラムの

申請書の一部に誤った研究業績が記載されていたことが明らかになった。

28日 一宮署、スーパー銭湯の脱衣所で女兒を盗撮したとして中学教諭を逮捕。

30日 東海市、市内18の小中学校に、職員室と東海署を直結した緊急通報装置を設置する補正予算を発表。

■6月

1日 一宮市立小学校の名簿などがインターネット上に流出していることがわかった。ファイル交換ソフト・ウィニーのウイルスに感染したためとみられる。

8日 県警少年課は、児童買春容疑等で元小学校教頭を逮捕。

10日 県教委、07年度からの高校入試の群とグループ分け、通学区域の調整区域案を発表。59校が変更対象。

10日 小学校の教科書に盛り込まれた「発展的な学習内容」(発展)について、一宮市教委が全教科で「必修」とするよう市内の各小学校に求めていることがわかった。(中日)

11日 海陽中等教育学校が、入学試験に先立ち、7月から「奨学生資格」の審査を始めることがわかった。

(中日) → 24日 県私学協会、青田買いにつながるとして審査の中止を申し入れた。

16日 愛教大、06年度の教員養成課程の入学定員を05年度より133人増やすと発表。

24日 港区の主婦らによる子育て支援サークル「いるかネット」が育児支援の無料情報ガイドブックを発行した。(中日)

25日 瀬戸寮業高校の男性教諭4人が、愛知万博見学中に飲酒したことがわかった。

■7月

1日 県所管の9つの児童相談所が、04年度に処理した虐待件数は748件、面接など延べ指導回数は3万7169回にのぼったことが県のまとめでわかった。(朝日)

1日 北署、教師を殴った疑いで北区の中学2年の少年を逮捕。

5日 名古屋市、「名古屋の将来を語る懇談会」の委員13人を発表。座長は松尾稔・名大前総長。

5日 春日井署、妻の実子の長男の脚をけて骨折させたとして春日井市の大工を逮捕。

8日 文科省、全国の公立小中学校の耐震化率を公表。愛知県は61.1%で全国11位。

8日 県が海陽中等教育学校の奨学制度について計画書と食い違いがあるとして問い合わせをしていることがわかった。(毎日)

8日 子育ての傾向や今の心理状態を母親が自分で気軽に診断できる「子育て自己診断シート」を東海市が作成。(中日)

12日 緑署、5歳の2男を切りつけ重傷を負わせた母親を逮捕。

14日 「県公立高校入学者選抜方法協議会議」は全日制高校の推薦枠に明確な上限枠を設定することなどを求める報告を行った。

19日 文科省がJR東海に現職キャリア官僚を派遣し、実際には「海陽中等教育学校」の開校準備の実務に当たらせていたことがわかった。官民人事交流法に触れる疑いもあるという。(毎日)

19日 愛知高教組、県立高校2校舎(分校)の募集停止の撤回を求める要望書を県教委に提出。

20日 県教委、新城東高本郷校舎、田口校稲武校舎の生徒募集を来春から停止すると決定。

21日 県弁護士会、少年法改正案に反対する会長声明を発表。

24日 県警、上半期の少年非行の概要をまとめた。刑法犯少年の検挙・補導数は3094人、逮捕数は421人で、前年同期より減少。

26日 県各聾学校同窓会連絡会は、盲・聾・養護学校の統合に反対し、聾学校の存続を求める要望書を県教委に提出。

27日 県、学校基本調査結果速報を発表。県内の不登校の児童生徒が、小中学校ともに3年ぶりに増加。

■8月

2日 「次世代育成支援対策推進法」に基づき、自治体に3月末までの策定が義務づけられていた行動計画を、東海3県で一宮市だけが策定していないことがわかった。合併した旧木曾川町が策定していなかったことによる。(中日)

2日 公立小中高校などの普通教室への校内LANの整備率が、愛知県は37.7%で全国33位だった

ことが文科省の調査でわかった。

5日 「愛知『障害児・者』の高校進学を実現する会」が県教委に進路指導や受験での配慮を求める要望書を提出。

6日 事実でない不倫などを理由に解雇されたのは不当として、名古屋経済大学短期大学部の女性助教授が地位確認と給与の支払いを求めていた訴訟で、名古屋地裁は解雇は無効として賃金等の支払いを命ずる判決。

9日 文科省、全国の公立学校の指導力不足教員等の調査を公表。04年度に指導力不足教員として認定されたのは愛知県は13人。うち04年度の新規認定は9人。名古屋市はそれぞれ5人と3人。条件付採用で正式採用とならなかったのは愛知が15人、名古屋が6人。

29日 一宮署、教師に暴行した一宮市の中学3年の男子生徒を逮捕。

31日 県教委、麻薬を所持していた師勝町の小学校教諭を懲戒免職処分。

■9月

2日 名古屋市立学校の校長・教頭の昇任者数などの文書について、市教委が一部不開示決定をしたことに対して、市情報公開審査会は全面開示すべきと答申。

7日 県教委、07年度からの公立高校の入学者選抜の群・グループ分けを決定。

7日 南署、教師に暴行した南区の中学3年の男子生徒を逮捕。

7日 犬山市立犬山北小学校の学校ギャラリーが同市中心部の空き店舗を利用してオープン。

9日 全国市民オンブズマン連絡会議は情報公開度の過去9年間の平均点とランキングを発表。愛知県は全国で26位、名古屋市は政令市で9位。

12日 日本私立中学高校連合会が、海陽中等教育学校の奨学生資格審査が「入学試験の前倒し」などとして中止を求めていた問題で、同連合会は「審査は今回限りにする」などとした学校側の見直し案を了承。→9月17日、県私学協会も了承。

13日 名古屋市内の中学1年の男子生徒と両親が、集団暴行を受けたとして、同じ学校の生徒と保護者を相手に損害賠償を求める訴訟を起こしていることがわかった。(中日)

15日 名古屋市、10月から、会員組織で子育てを支え合う「のびのび子育てサポート事業」の支部を同市北、西、南、名東の各区に開設することを明らかにした。

16日 名古屋・中署は中区の中学3年の男子生徒を校長に暴行したとして逮捕。

16日 春日井市の小学校教諭が、無効とされた戒告処分の期間の昇給分の支払いを求めた訴訟で、名古屋地裁は県に支払いを命じた。

26日 「なごやっ子学びの在り方懇談会」の初会合が開かれた。

26日 名古屋市、小5、中2を対象に行った学習状況調査の結果を発表。

26日 県立鶴城丘高校の男性教諭が、担任する3年生の男子生徒の顔を平手打ちし、鼓膜の一部を破っていたことがわかった。

28日 飛島村、小中一貫教育を骨子とする「小さくてもキラリと光る飛島村教育特区」を申請。

29日 文科省、アスベストが飛散する恐れのある公立学校数について発表。愛知県の調査の進捗率は11.9%。

29日 東海市の児童養護施設「暁学園」で98年、少年4人に暴行され後遺症が残り、県と法人を相手取り少年と家族が損害賠償を求めていた事件で、名古屋高裁は県のみではなく施設の責任も認め、県と施設は連帯して賠償金を支払うよう命令。

■10月

2日 名古屋市が、中村区内に小中一貫校の新設を検討していることがわかった。(中日)

3日 「海陽中等教育学校」の設立準備財団が県に学校の設置認可を申請。

10日 元家裁調査官らが家庭問題の解決を探る「名古屋ファミリー相談室」をオープンさせる。(中日)

11日 名古屋市立北陵中学校に男が侵入。職員が刺股(さすまた)で取り押さえた。

12日 犬山市は、少人数学級のための教室整備費の国庫による半額負担を求める意見書を提出へ。(中日)

→11月21日、文科省、少人数学級の教室を「新世代型学習空間」と判断し、半額補助を実施へ。(中日)

13日 県内12の学習塾でつくる「愛知県進学研究会」が、公立高校出願前での内申点の開示を求め、保

護者ら5000人の署名を集め県教委を訪れた。県教委は「各中学校や市町村教委の問題だ」として受け取りを拒んだ。

14日 県、「子育て支援課」を来年度に新設する方針を固めた。(朝日)

14日 県教委、中3生の第1回進路希望状況調査の結果を発表。進学希望率は95.7%。愛教労は、来春の高校の募集計画は調査結果を前提に策定するよう申し入れ。

14日 養護教員1人で毎日30人以上の来室者に対応している学校があることが県教員組合の女性部が実施したアンケートでわかった。(朝日)

14日 94年に起きた連続リンチ殺人事件で、名古屋高裁は当時の少年3人に死刑判決。

17日 豊田署、11ヶ月の女兒の腹を殴ったとして22歳の父親を逮捕。

24日 名古屋市周辺の劇団俳優などが「子どもの文化キャラバン隊」を結成した。(毎日)

25日 名古屋市教委、04年度の体力、運動能力調査結果をまとめた。全種目で全国平均を大きく下回った。

25日 名古屋市が小学校に併設された7カ所の市立幼稚園の廃園を検討していることが明らかになった。

28日 大垣共立銀行系のシンクタンク共立総合研究所は「学歴志向の低さが名古屋を強くする」という調査報告「名古屋圏の教育風土を探る」を発表。

29日 名古屋市、児童虐待で措置基準を定めることを決めた。(毎日)

■11月

1日 名古屋市内の県立高校で、体育祭の打ち上げの場で飲酒し、90人の生徒が自宅謹慎となっていたことがわかった。(中日)

8日 名古屋市内の主婦グループ「MIC」が「名古屋エンジョイ子育てガイド05-06年版」を発行。(中日)

9日 愛知高教組、県立高校生の就職状況調査をまとめた。内定率は昨年より改善。(朝日)

10日 愛教大、付属高校の生徒約20人を特別推薦枠で入学させる「高大連携選抜入試」を08年度から実施すると発表。

12日 中川署、生後3ヶ月の長女を虐待したとして

18歳の母親を逮捕。

13日 「愛知『障害児・者』の高校進学を実現する会」が「学校の中のノーマライゼーション」と題した集会を開く。

22日 長久手町で、新設小学校予定地の雑木林について保全か伐採か議論が起きている問題で、同町教委は検討委の結論を待たず伐採を始めた。

22日 「名古屋の将来を語る懇談会」が報告書案をまとめた。

23日 一宮市、来年度からこれまで無料だった放課後児童保育サービス（学童保育）を有料化する。新たな施設充実の財源としたいとしている。（毎日）

28日 名古屋市議会本会議で、来年4月に新設する「次世代育成支援局」（仮称）の役割や事業について質問が集中。市は幼保一元化した施設を検討することを明らかにした。

29日 文科省等は、アスベストが飛散する恐れのある学校などの数を発表。愛知の公立学校の調査進捗率は35.1%。飛散可能性のある公立学校数は20。

30日 県人事委員会、来年度以降の県職員給与の構造改革について、水準引き下げ、実績反映を求める勧告を行った。

■ 12月

1日 東海中・高で私学助成拡充運動をめぐる意見の対立が原因の一つで労使紛争が起きていることがわかった。（中日）

5日 県教育長、講師経験者の特別選考結果について、436人が受験し、226人が合格したことを明らかにした。

6日 南知多町のNPO法人「南知多ふるさと創生の会」が06年4月から1年間、「山海留学」を実施する。（中日）

7日 尾張旭市の5歳の男児が母親から暴行を受けて死亡。

11日 愛知大学教授がセクハラで論旨免職。（毎日）

14日 文科省、04年度の公立学校の教員の処分状況を発表。懲戒処分を受けたのは、県で41人、名古屋市で17人。

16日 名古屋市は、虐待を受けて児童相談所に一時保護された子どもが、今年度上半期は前年同期より6割増えたことを明らかにした。積極的な保護方針を打

ち出すなどしたためという。

16日 弱視を理由に事務職への転換や退職を迫るなど差別的な扱いを受けたとして、高校教諭が学校法人を訴えていた訴訟で、名古屋地裁は原告の主張を認め、高校側に賠償命令。

20日 名古屋市内の市立中学で、校内暴力のため教師が内側から鍵がかかる校長室で業務を行っていたことがわかった。（読売）

21日 名古屋市、06年度に新設する「次世代育成支援局」（仮称）で取り組む新規事業として、「子ども条例」の制定や「次世代育成支援センター」の設置などに取り組む方針を明らかにした。

22日 常滑北高校と常滑高校の統合後の学校の構想が明らかにされた。

22日 名古屋市、トワイライトスクールの開設時間を午後7時まで延長するとともに、「親学ふれあいサロン」を新たに実施する方針を発表。

22日 県、公立大学法人の理事長予定者にトヨタホーム会長、トヨタ自動車相談役の清水哲太氏が決まったと発表。

23日 ソニー教育財団の「子ども科学教育プログラム」の本年度の最優秀プロジェクト校2校のうちに刈谷東中学校が選ばれた。（中日）

* 本動向作成にあたっては、中日新聞、朝日新聞、毎日新聞の教育関係記事を基本資料とした。項目により発生日を確定できなかったものは新聞掲載日日で示し、掲載紙名を括弧内に示した。

（あいち民研 研究部長・名古屋造形芸術大学短期大学部）

【あいちの子育て・教育・文化動向2006】

大橋 基博 編

◆1月

8日 名古屋市、新年度から、日曜、祝日も子どもを預かる「休日保育」を始める方針を固めた。(中日)

11日 名古屋市は2006年度に、小学2年生の30人学級体制を、05年度の16校から136校程度にまで拡大する方針を固めた。

(中日)

11日 「名古屋の将来を語る懇談会」(座長松尾稔名大名誉教授)が報告書を松原市長に提出。

12日 一宮市の北部中学校で04年熱中症で生徒が死亡した事故で、県警は業務上過失致死の疑いで同校の校長と当時の顧問らを書類送検。

12日 豊田市教委と愛教大は、学校教育や生涯教育に関する研究を連携して進めていくことについて覚書を交わした。

13日 名古屋市立大学法人評価委員会は、同大の地方独立行政法人移行(06年4月)後、6年間の中期目標案をまとめた。

(毎日)

13日 名古屋市教委、個人情報取り扱いについて考え方をまとめ、各学校に示すことになった。(毎日)

16日 県、IT教育推進の6カ年計画を制定。

18日 名古屋市、市議会財政教育委員会で市教育館の改修計画案を明らかにする。

19日 愛教大と中部電力は、教員養成課程の実習授業を連携して行うと発表。

21日 海陽中等教育学校の入試が名古屋

と福岡であり、約330人が受験。

25日 東海学園高校で、男性監督が部員に暴力を繰り返していたことが分かり、同校は監督を解任。

27日 県教委は06年度から「子ども交流・体験活動推進事業」と「父親の家庭教育参加促進事業」を始める。(朝日)

27日 海陽中等学校の奨学生制度をめぐる、奨学金が説明より減額されたとして合格者の親の一部から学校側に批判が寄せられていることが分かった。(朝日)

31日 名古屋市、少子化問題に総合的に対応するため、4月に新設する新局の名称を「子ども青少年局」とする方針を固めた。(中日)

◆2月

1日 県産業教育審議会、「新しい時代に対応したキャリア教育の在り方について」答申案をまとめる。→2月8日、県教育委員長に答申。

1日 県教委が教員の指導力を調査した結果、「支援が必要」とされた教員が、名古屋市を除く県内の公立小中高校などに180人いることが分かった。(中日)

2日 名古屋市学校長連絡会が各区ごとに開催され、個人情報の扱いについて質疑を行った。

4日 保育園に預けた子どもが熱を出したり、夜間に急な仕事ができたりした緊急時に子どもを一時預かるサービスを「市民フォーラム21・NPOセンター」が「あいち子どもケア たすかる」とし

て始めた。(中日)

4日 岡田名古屋市教育長は、小学2年生の30人学級について、06年度、全校の8割強にあたる220校程度に増やす方針を明らかにした。(中日)

6日 名古屋市立則武保育園の廃止、民営化問題について松原市長は計画変更の意思がないことを明らかにした。

6日 1月31日、一宮市の小学校で男性教諭が女子の着替えを盗撮したとして、保護者が一宮署に被害届を出す。→3月8日、盗撮した教諭に懲戒免職処分。

11日 名古屋市天白区市立植田小学校に、13日に予定されていた特別授業の講師を名指しし、この講師が来校したら学校を爆破する旨の脅迫状が届いていたことが分かった。(中日)

11日 名古屋市瑞穂区のたんぽぽ保育園が、日照を奪わないでとマンション建築計画の見直しを求める集会を開く。

15日 名古屋市緑区の私立めぐみ保育園でワゴン車が転落し、園児が死亡した事件で、名古屋高裁は、設置法人と運転していた男性のみならず、理事長と園長個人にも責任を認める判決を出した。

15日 名古屋市は2006年度から、就学援助制度の所得基準を引き下げる。これにより約1500人の小中学生が援助を受けられなくなる見込み。(中日)

17日 県は、県立学校60施設で、アスベストの含有率が1%を超える吹き付け材の使用が確認されたと発表。県教委も、市町村立学校や公立施設で38施設が飛散の恐れがあると発表。

18日 名古屋市、4月から乳幼児の一時保育の対象を広げ、育児疲れ解消も加えることに。

21日 県、県教育職員互助会への補助金

を3割近く削減する方針を固めた。(朝日)

23日 犬山市教委、2007年度から実施される「全国学力テスト」に参加しない方針を固めた。また06年度から実施される教職員評価制度も拒否する方針。(中日)

23日 名古屋市、次世代育成行動計画を推進していく上での参考にするために「子どもに関する市民意識」調査を行い、その結果をまとめた。(朝日)

24日 犬山市、「全国一律に学力調査を実施して子どもの学力向上を図ろうとする文科省の施策は、これまで積み重ねてきた犬山の教育と大きく異なり、実施にあたって慎重な対応が求められる」との内容を含む「犬山の教育の重要施策2006」をまとめる。(毎日)

25日 名古屋市瑞穂区の市立中学校で、2月17日に男性教諭が体育の授業中に生徒に体罰を加え、けがを負わせていたことが分かった。

26日 「あいち・子どもNPOセンター」は「あいち子育て・子育てデータブック」を作成し、これをもとに「子どもの豊かな育ちを支えるネットワークシンポジウム」を開く。

28日 尾張旭市の中学校で、05年11月、男性教諭が生徒たちの会話を録音しようとしたことにICレコーダーを忍ばせていたことが分かった。

28日 神田知事は、外国人学校を各種学校に認可しやすくするため認可基準を緩和する方針を明らかにした。

◆3月

1日 豊川のCATVが、4月から、小学校区ごとに個別の映像や情報を提供する全国初の「校區別放送」を始める。(中日)

1日 県教委、4月に東京と大阪で教員志願者対象の説明会を開くことを決めた。

(朝日)

6日 指導要録の「所見」を県教委が非開示したことに対する異議申し立てで、県個人情報保護審議会は、卒業から10年たっても非開示が妥当と判断。

7日 名古屋市南区の中学3年の女子生徒3人が、女性教諭への傷害の疑いで逮捕される。

7日 名古屋市議会で岡田教育長は、市内の小中学校で保健室などで過ごす「別室登校」状態にある児童生徒が、1月末現在、小学校で120人、中学校190人と報告。

8日 飛島村は、子どもの誕生から中学入学まで、3回にわたって計30万円の育児奨励・就学祝い金を支給する子育て支援策を4月からスタートさせる。(朝日)

8日 名古屋市教委、市議会本会議で「全国学力テスト」について「学力の把握や指導方法にどう役立つのかなど、慎重に検討していきたい」とし、市民や学識経験者らでつくる懇談会などで協議し、結論を出す方針を明らかにした。

11日 名古屋市は、小学校に大学生のボランティアを派遣する「ふれあいフレンド事業」に参加する大学生に対し、市の教員採用試験の一部（総合教養試験）を免除する。(朝日)

16日 犬山市立犬山北小学校が4月から1年生に限り、1年を一つの学期とする「全学期制」を導入する。(中日)

16日 名古屋市教委、市立北高校の男性教諭が個人情報を含む書類がはいったかばんが車上狙いに遭い、紛失したと発表。

16日 県は運営難が続く名古屋ボストン美術館を存続させるため、名古屋市の方

針に合わせ、財政支援をしていく考えを初めて示した。

17日 名古屋市市中川区の市立中学校で、男性教諭が男子生徒に体罰を加え、足の指の骨を折るけがを負わせていたことが分かった。(中日)

17日 豊明市の豊明中学校で3年生の卒業文集に生徒同士が投票したランキング結果が掲載され、不適切と見られる項目が多数掲載され、回収されていたことが分かった。(中日)

17日 岡崎市の竜南中学校で、19歳の男子卒業生が金属バットを振り回し窓ガラスなどを破壊し、逮捕された。

17日 「県立の大学改革推進会議」は大学改革基本計画案をまとめた。

23日 「命を大切にす教育」研究会、「報告書(案)」をとりまとめる。

24日 県議会、「教育基本法の改正についての意見書」を採択。

29日 県教委、「指導力不足教員」として、新年度から新たに7人を研修認定したと発表。

31日 県教委、3月に実施した高校入試で、県立豊丘高校で、得点入力ミスで合格者を不合格としていたと発表。受験生が得点を開示請求して分かった。

31日 県高等学校教職員組合、憲法と教育基本法改正に反対する署名を衆参両院議長に提出。

―― 県、「新しい政策の指針」を策定。

◆4月

18日 05年度の外国人児童生徒の就学について、県内の市の3分の2にあたる22市が、外国人登録をしていなくても就学希望すれば認めていることが「外国人の子ども教育と人権ネットワーク」の調査

で分かった。

19日 県内の公立小中学校や高校で、教職員が通勤に使うマイカーを校内に駐車する際に、名古屋市など計4市町が駐車料金を徴収していることが毎日新聞の調査で分かった。(毎日)

19日 県が国に申請していた構造改革特区「あいちIT人材育成特区」が認められた。(中日)

25日 県は、県内在住の外国人の児童生徒に対し、放課後などを使って日本語や学校の勉強を教える「アフタースクール事業」を行うことを決めた。(中日)

27日 「子どもの虐待防止ネットワーク・あいち」は家族に虐待を受けた子どもや母親らを受け入れる一時避難所(シェルター)を5月をめぐりに設ける。(日経)

27日 県教委、07年度に瑞陵高校に「コスモサイエンスコース」を新設することを決めた。(中日)

29日 「戸塚ヨットスクール事件」で服役していた戸塚校長が刑期を終え出所。

◆5月

1日 松原名古屋市長、定例会見で「全国学力テスト」について「参加するにも深い議論が必要」と述べた。

2日 「外国人学校」を支えようと「母国語教育支援ネット」が結成され、スクールバスなどの購入費を寄付する活動を行っている。(朝日)

5日 「ぞうれっしゃのなかまたちの会」が「ぞうれっしゃ全国子ども議会」を東山動物園会館で開く。

8日 「アイ・メンタルスクール」の寮で男子が死亡した事件で、県警は代表の杉浦昌子容疑者らを逮捕監禁致死容疑で逮捕。

8日 豊川市で乳児が自宅浴槽に沈められ死亡し、豊川署は両親を傷害致死の疑いで逮捕。

8日 瀬戸市立幡山中中学校で3年生の女子生徒が飛び降り自殺。

9日 県警、碧南市内の16歳の少年を中学時代の同級生から現金を恐喝したとして逮捕。被害額は約500万円にのぼると見られる。

16日 愛教大の教職員有志が教育基本法の改正案に反対し、廃案を求める緊急アピールを発表。

17日 南山学園が附属小学校開設を検討していることが分かった。(中日)

17日 県内の大学関係者が「教育基本法改悪阻止のための緊急アピール」を発表。

18日 県教委、幡豆郡の中学校の男性教諭が1年生の女子生徒に暴力を加えけがをさせたとして減給10分の1の懲戒処分にしたと発表。

20日 犬山市、小中学校に常勤の教員を市費で配置する方針を決めた。(中日)

26日 江南市が、市立小中学校の教職員から駐車料金を徴収し始めたことに対して、同市内の小学校事務職員が駐車料金の徴収を定めた要綱の無効確認などを求めて名古屋地裁に民事訴訟を起こしていたことが分かった。(朝日)

28日 豊明市の会社員の生後2ヶ月の長男が両親がパチンコをしている間パチンコ店の駐車場の車のなかに放置され死亡。

28日 県内の教育長、校長やOBなどが集まる「21世紀型学校教育を拓く会」の設立総会が開かれた。

29日 西尾市教委、市立中学校の元講師の自宅パソコンがウイルス感染し、ファイル交換ソフトを通じて、生徒の授業態

度の評価などが流出したと発表。

29日 第1回あいちの文化芸術振興に関する有識者懇談会が開かれた。

31日 田原市の1歳7ヶ月の男児が虐待されて死亡。→8月12日、実母と同居していた男を傷害致死の疑いで逮捕。

◆6月

2日 文科省が発表した公立小中学校の耐震改修状況で、県内の小中学校の耐震化率は67.2%と全国平均を12.5ポイント上回った。

4日 中京女子大は、07年度から大学名は変えずに人文学部で男子学生を受け入れることを決めた。(中日)

6日 中部経済連合会、「外国人児童生徒の教育保障の構築に向けて」を取りまとめる。(日経)

8日 県内の少なくとも35校の小学校で、愛国心の評価を通知表に盛り込んでいることが分かった。(朝日)

9日 教基法改正問題で、犬山市の石田市長と瀬見井教育長は、「愛国心」の明記などへ否定的な見解を市議会で示した。

14日 春日井市立小学校の男性教諭が車上狙いに遭い、緊急連絡表などを盗まれていたことが分かった。

14日 豊川市の中野市長は小中学校の運営に校区住民が参画する「学校運営協議会」制度について、08年度から市内全26小中学校に導入する方針を明らかにした。

15日 「アイ・メンタルスクール」での逮捕監禁致死事件を受け、名古屋市は引きこもり支援団体連絡会議を開催。

15日 共産党県委員会、通知表の「愛国心」評価項目の実態調査と、削除・是正

を県教委に要望。

16日 名古屋市天白区の市立久方中学校で03年に起きた体罰事件で、市は損害賠償として、生徒に約180万円を支払うことを決めた。(中日)

18日 県警、西尾市立中学校の男性教諭を教え子にみだらな行為をしたとして逮捕。→7月7日、児童ポルノ製造などの疑いで再逮捕。

19日 県教委、県立学校で個人情報が出た際の公表内容などについて基準を策定した。

20日 「アイ・メンタルスクール」は県にNPO法人の解散届を提出し、受理された。

27日 名古屋市教委、07年度からの小学2年生の30人学級完全実施に向け、市費で常勤講師を配置する方針を明らかにした。

28日 松原名古屋市長、「子ども条例」を07年度中に制定する考えを明らかにした。

29日 県内の児童相談所に寄せられた児童虐待の相談件数が、前年度より59件増の805件になったことが県の調べで分かった。

29日 県教委、県内の小学校のうち60校が通知表に「国を愛する心情」の評価項目を盛り込んでいることを明らかにした。

30日 名古屋地裁、尾張旭市で05年12月に起きた5歳児の虐待死事件で、母親に懲役7年の判決。

30日 生後16日の乳児を虐待したとして岡崎市内の21歳の母親を逮捕。

30日 名古屋市立高校教員組合、市立高校卒業生労働実態調査2「どうしてる? はたらく卒業生」を発行。

◆ 7月

- 1日 NPO法人子どもセンター「パオ」(多田元代表)の設立記念イベント「とり戻そう、子どもたちの笑顔を」が開催された。
- 2日 「豊かな教育を創造する県民会議」がシンポジウム「今、子どもたちにとって必要な教育とは」を開く。
- 3日 県教委、07年春の全日制高校入試の各高校の合格者の決定方法を発表。普通科は過半数の62校が学力検査の点数を重視する。
- 4日 県立惟信高校の男性教諭が車上狙いに遭い、140人分の答案などが盗まれた。
- 5日 県公立高校入学者選抜方法協議会が開催され、英語の学力検査について、08年度入試から聞き取り検査と筆記試験を別の時間帯に実施することが望ましいとし、県教委に報告。
- 6日 県、民間の支援団体や行政機関が情報交換する「ひきこもり支援関係団体連絡会」を開催。
- 11日 犬山市教委は、小学3年から6年生向けに地方発の理科の「準教科書」作りから乗り出す。文科省の「新教育システム開発プログラム」の事業に採択された。
(中日)
- 13日 名古屋市、05年度に市児童相談所に寄せられた相談実績をまとめた。受付件数は前年度並みだったものの、児童虐待に関する相談は、7.7%増の603件と過去最高。
- 16日 豊橋市の小学校教諭を、元妻の母を殺害した疑いで逮捕。
- 27日 南山学園、08年4月に開校する小学校の設置計画を発表。
- 28日 県内の小学校で05年度の不登校に

よる長期欠席者は1537人で01年度に次いで過去2番目に多いことが分かった。

◆ 8月

- 23日 豊明市の生後2ヶ月の女児が母に首を絞められ死亡。
- 23日 名古屋市、「子ども条例」に子どもの視点を反映させるため、「なごや子ども集会」を開く。
- 25日 緑署、6歳と3歳の男児を虐待したとして母親と、交際相手の男を逮捕。
- 27日 「東海ひきこもり問題研究会」が結成され、初会合が開かれた。
- 30日 豊明市の小学5年の長男と2年の長女に暴行したとして、義父が傷害の疑いで逮捕される。長男が警察に電話して暴行が発覚。

◆ 9月

- 3日 北名古屋市の16歳の少年が、アイロンで父を殴り、殺人未遂の疑いで逮捕された。
- 4日 春日井市、02年に市立小学校の男性教諭が、担任する5年生の男児児童に「いきすぎた指導」をしたとして、児童の母親に10万円の損害賠償を支払ったことを明らかにした。
- 6日 名東署、名古屋市名東区の中学3年の男子児童を母親を包丁で刺したとして逮捕。
- 6日 名古屋大学環境学研究科は、教員に女性を優先的に採用する「運用ルール」を決めた。
- 8日 南山学園に05年度、180億円相当の寄付があったことが分かった。(中日)
- 8日 名古屋高裁、名城大セクハラ賠償訴訟控訴審で、元学生がプライバシーを侵害されたことを認め大学側に80万円の

支払いを命じた。

13日 文科省が公表した05年度の児童・生徒の暴力行為の調査で、愛知県は小学生の暴力が前年度より49件増えて70件に。

14日 県教委、07年度公立高校の定時制課程の入試を、前後期制で入学検査（作文、面接）を行うことにした。学力検査は学校が選択する。

19日 名古屋市教委、開設時間を延長したトワイライトスクールの午後5時以降の登録者数が381人と4月の実績の2倍にまで増えたことを明らかにした。

20日 「憲法と教育基本法の理念を実現する愛知の会」は「憲法と教育基本法の改悪に反対する2006あいち県民アピール」を発表。

21日 「県立大学・学部夜間教育存続を求める会」が県議会議長宛の請願書を提出。

22日 文科省、全国の公立学校の指導力不足教員に関する調査結果を発表。05年度の認定者は愛知県15人（11名が新規認定）、名古屋市4人（2人が新規認定）。

24日 同朋高校体育館で「平成中村座」の公演が始まる。

28日 トヨタグループが20数億円を拠出して、名古屋大学の豊田講堂を全面改修することが分かった。

30日 県内で8月末までに起きた児童虐待の被害は63件、75人で、前年同期に比べ約3割増えていることが県警のまとめで分かった。（朝日）

29日 県教職員労働組合協議会（愛教労）、『平成18年度小・中教育課程フォーラム』における『教育基本法改定賛成伝達』に抗議するとともに関係者の処分を要求する申し入れ」を県教育長に行う。

◆10月

4日 県教委は、県議会文教委員会で、県内の小中学校の全学年に30人学級を導入した場合、5600人余の教員を増員する必要がある、その人件費は年間446億円に上るとの試算を明らかにした。

4日 春日井市の県立児童自立支援施設「愛知学園」で9月下旬、入所中の13歳から14歳の少女が集団で女性職員に殴るけるなどの暴行を加えていたことが分かった。（中日）→10月13日、県警、少女3人を傷害容疑で逮捕。

6日 県教委、年度末の人事異動から、公募で必要な教員を集める制度と希望降任制度を実施すると発表。

9日 文科省の体力・運動能力調査で、東海3県と名古屋市でも運動能力の低下傾向が目立った。

17日 県立岡崎東高校の事務長がPTA会計などから760万円余を着服していたことが分かり、県教委は事務長を懲戒免職に。

19日 女子学生へのセクハラで6ヶ月間の停職処分を受けた名大教授が、処分の取り消しを求めた訴訟の控訴審で、名古屋高裁は大学に懲戒処分を取り消すよう命じた。

20日 名古屋市、中村区に新設する小中一貫校に市内全域から帰国子女を受け入れ、9年間の一貫教育をする方針を固めた。（中日）

23日 南山大学の男性助教授が、教授会によって講義の担当を外され、学問の自由を侵害されたとして南山学園を訴えていた訴訟の上告審で、最高裁は学園に100万円の支払いを命じた2審判決を支持、学園側の上告を棄却。

24日 私立杜若高校の野球部顧問の男性教諭が、担任するクラスの男子生徒に暴行しけがを負わせていたことが分かった。(毎日) →11月22日、書類送検。

25日 名古屋市立大学、07年度から優秀な学生に1人10万円の奨学金を年に100人程度授与することを決めた。(中日)

25日 「なごやっ子学びの在り方懇談会」、報告書「なごやっ子学びの在り方について」をまとめ教育長に報告。

27日 県教委は高校の必修科目未履修問題で、県立高校7校で未履修が確認されたと公表し、伊藤教育長が陳謝した。

31日 県教委、高校の未履修問題で県立学校を訪問、調査することを明らかにした。

◆11月

2日 名古屋市北区の県営住宅で中学講師の女性が倒れているのが見つかった。飛び降り自殺を図った可能性が高い。

3日 県知事選に立候補を予定している石田犬山市長は、若手教員の採用やOBの再雇用によって年150億円で30人程度の少人数学級ができると表明。

5日 戸塚ヨットスクールの訓練生の男性(25歳)が10月9日にスクール側の知多湾で遺体で見つかったことが分かった。

10日 県教委、県立高校再編整備の第2期実施計画を発表。

11日 「憲法と教育基本法の改悪に反対する2006あいち県民アピール」実行委員会、中日新聞に1頁全面を使った意見広告を出す。

13日 「愛知学園のあり方に関する検討委員会」第1回会合が開かれる。

13日 高校の未履修問題で、県立高校26

校で世界史や日本史などが未履修となっている疑いがあることが県教委の調査で分かった。

14日 小牧市立中学校で10月初め2年生の学年主任の男性教諭が男子生徒に体罰を加え全治1週間のけがを負わせていたことがわかった。(中日)

16日 南署は、南区の高校2年の少年を中学時代の同級生から恐喝した疑いで逮捕。

18日 「教育基本法の改悪をとめよう! 11.18あいち県民集会」が名古屋港湾会館で開かれる。

19日 瀬戸市教委、「いじめ根絶に向けて」と題したアピールを発表。

21日 県立豊橋南高校で社会科の男性非常勤講師が必要な教員免許を持っていないのに倫理の授業を行っていたことが明らかになった。

22日 視覚障害を理由に教諭から事務職への配転など差別的な扱いをしたとして愛知高校に勤務する職員が学校法人愛知学園を相手に損害賠償を求めた裁判で、名古屋高裁は原告の主張を認め、法人側の控訴を棄却。

24日 名古屋市公立保育園父母の会は、園舎の早期耐震補強工事を求める請願書を市議会議長宛に提出。

26日 名古屋市立中学の4分の1にあたる25校が「書写」の毛筆の授業を年間計画に入れていなかったことが分かった。

27日 県立大と県立看護大が統合して誕生する新・県立大に「日本文化学部」と「教育福祉学部」が新設されることが分かった。

29日 名古屋市の岡田教育長、「全国学力テスト」に参加の意向を表明。

30日 江南市の市立小学校の事務職員

が、通勤用の車から駐車料金を徴収することを定めた市要綱の無効確認を求めた行政訴訟で、名古屋地裁は要綱を適法として訴えを却下。

30日 県は県立大学の授業料減免制度を見直し、審査基準に学業成績を加える方針を明らかにした。

◆ 12月

5日 神田知事、小学校にもスクールカウンセラーを配置する考えを示す。

6日 名古屋市議会教育・子ども委員会が開かれ、中村区の3小中学校が統合してできる市内初の小中一貫校について議論。市教委、2010年度をめどに開校する考えを示す。

7日 寮生が死亡した事件で、名古屋地裁は、アイ・メンタルの元代表杉浦昌子被告に懲役4年の実刑判決。

7日 不登校・引きこもりの自立支援施設「八事寮」で体罰を受けたりテレビ番組で勝手に実名などを放映されたとして、福島県の男性が、同施設を運営する「塾教育学院」と実質的な経営者の長田百合子取締役役に損害賠償を求めた裁判で、名古屋地裁は「違法と評価する余地が十分に認められる」と指摘した上で、損害賠償の請求権の時効を理由に原告の請求を棄却。

13日 2月の県知事選を控え、県議会文教委員会で、30人学級や教育費問題について質問が相次いで出される。高校の必修科目未履修問題では、未履修が判明した25の県立高校では、来年2月末までに補習を終えるとの見通しを明らかにした。

18日 名古屋市、保育や子育て支援サー

ビスなどに使える「クーポン」を子育て中の家庭に支給する制度を2010年度までに導入する方針を明らかにする。

19日 愛知労働局、障害者の雇用状況を発表。法定雇用率が2.0%の教委では、県教委は1.16%、名古屋市教委が1.05%と雇用が進んでいないことが分かった。

19日 県私立学校審議会は、ブラジル人学校を経営する学校法人「カンティニーニョ学園」の設立と、同学園が経営する各種学校「カンティニーニョ」の設置を認可するよう答申。

19日 県弁護士会の第18回人権賞に、「東海『非行』と向き合う親たちの会」が選ばれ、授賞式が行われた。

21日 県警は、岡崎のホームレス連続襲撃事件で、主犯格の28歳の男を逮捕。

21日 県教委、中学3年生の第2回進路希望状況調査の結果を発表。進学希望率は95.2%で過去最高。

23日 瀬戸市の市立小学校の校長がセクハラ行為をしていたことが分かった。校長は12月初めに退職届を出し、学校を休んでいる。(中日)→県教委、校長を停職6ヶ月の処分。

— 名古屋市教委、「なごやっ子教育推進計画(仮称)(案)」を取りまとめる。

*本動向作成にあたっては、中日新聞、朝日新聞、毎日新聞などの教育関係記事を基本資料とした。項目により発生日日確定できなかったものは新聞掲載月日で示し、掲載紙名を括弧内に示した。

(あいち民研 研究部長・

名古屋造形芸術大学短期大学部)

【あいちの子育て・教育・文化動向 2007】

大橋 基博 編

◆1月

5日 一宮市の中学校で04年、生徒が部活動中に熱中症で死亡した事故で、当時の校長らが嫌疑不十分で不起訴処分となった。

5日 入寮者が死亡した更生支援施設「アイ・メンタルスクール」の寮を運営していた会社が税務調査を受け、2000万円の所得隠しを指摘されていたことが分かった。(中日)

9日 名古屋市は07年度から、育児放棄の家庭に家事の介助者を派遣する方針を固めた。(中日)

11日 県教委は07年度から小学校の高学年で、教科担任制を試行的に導入することを決めた。(中日)

12日 県教委、07年度から小学校にスクールカウンセラーを配置することを決めた。(中日)

19日 犬山市教委、定例会で全国学力テストに不参加と県教委に回答したと報告。

24日 文科省、小中学校の給食費の滞納調査の結果を発表。県の給食費滞納の子どもの割合は0.3%。

25日 尾張旭市教委は市内の小中学生全員を対象にいじめについての無記入アンケートを実施することを決めた。(中日)

25日 最高裁、民間児童養護施設「暁学園」に入所していた少年が、別の少年から暴行を受けた事件で、施設の責任は認めず、県のみを認め県に賠償命令。

27日 名古屋市教委、「名古屋市子ども読書活動推進計画案」を発表。(中日)

◆2月

1日 県教委、「いじめホットライン24」を開設。

4日 県知事選で現職の神田真秋候補が当選。

6日 大府市、中学生以下の医療費自己負担分を全額助成する方針を決めた。(中日)

7日 県教委、窃盗の小学校教諭を懲戒免職とするなど6件の懲戒処分を発表。

9日 犬山市議16人が、全国学力テストに参加するよう申し入れる文書を教育委員長らに提出。

14日 県警や県、小売り関連の民間団体などが「県万引防止対策協議会」を設立し、初会合が開催された。

16日 いじめが原因で自殺した大河内清輝君の父親祥晴さんが4月から西尾市教委のいじめ相談員として採用されることが分かった。(中日)

16日 全国学力テストに不参加を決めた犬山市教委は、保護者を対象とした説明会を始めた。

20日 県予算案発表。

20日 一宮市の男性が、テレビ電話での悩み相談に応じるインターネットサイト「相談どっとコム」を立ち上げた。(中日)

20日 県立一宮商業高校の校長が女性教諭からセクハラ被害を訴えられ、1月末に依願退職していたことが分かった。

20日 県教委、教職員の懲戒処分の基準を一部改正。

21日 尾張旭市教委は、市内の全小中学

生を対象にしたいじめ実態調査の結果を
発表。現学年でいじめを受けたのは、児
童が34.1%、生徒が12.1%。

22日 県立児童自立支援施設「愛知学園」
で県警に逮捕された入所中の少年が連行
される様子を他の入所者に見せていたこ
とが分かった。

◆ 3月

1日 県教委、「いじめ問題Q&A 小さなサ
インが見えますか」を県のホームページ
に開設。

2日 田原市の新設保育園にセンター方式
の給食を採用するのは違法として市民グ
ループが市を相手に違法確認を求める訴
訟を起こした。

6日 県の伊藤教育長、35人学級を08年度
から小学2年、09年度から中学1年で実施
する考えを示した。

7日 私立東海中学の教諭が窃盗の疑いで
逮捕された。

21日 犬山市教委、学力テスト不参加を
最終的に決定。

22日 県、「父子手帳お父さんの子育てメ
モリー」を作成。08年度から新生児の父
親に配布。

23日 名古屋市立大学の教授らから「働
きながら学べる」と言われて入学したが、
実際は不可能だったとして会社員の男性
が入学金の返還を求めた訴訟で、名古屋
地裁は全額の返還を命じた。

23日 名古屋大学、セクハラで男性助教
授を15日間の出勤停止処分にしたと発表。

27日 県、「あいち子育て・子育てポータ
ルサイト」の運用を開始。

27日 「愛知学園のあり方に関する検討
委員会」が最終報告を発表。専門の心理
職員の複数配置や、個別支援の強化を求

めた。

29日 文科省、公立学校施設の耐震改修
状況調査の結果を発表。県の小中学校の
耐震化率は71.3%、高校は55.0%。

30日 刈谷市の生後2ヶ月の男児が父親
に熱湯をかけられ死亡した事件で、父親
が逮捕された。

◆ 4月

1日 県公立大学法人が設立。県立の3大
学を設置運営。

3日 全国の県立高校の授業料の減免者数
の調査で、県の割合は8.0%。(毎日)

3日 神田県知事が、障害者を「弱い、悪
い遺伝子を持った人」と表現した問題で、
知事が謝罪し、発言を撤回。

12日 名城大学と春日井市は、農業指導
者の育成で連携する。(日経)

16日 名古屋市、市民会館の命名権を梅
村学園に売却する方針を明らかにした。

17日 県教委、「あいちの教育に関するア
クションプラン」を策定。

18日 名古屋市教委、「なごやっ子教育推
進計画」を策定。(中日)

18日 「アイメンタルスクール」に入寮
した男性が死亡した事件で、男性の両親
が元代表らを相手取り、損害賠償を求め
る訴訟を起こした。(朝日)

20日 県教委、08年度の教員選考試験の
案内を発表。35人学級を小学校2年生まで
拡充するため小学校教諭は前年度比170人
多く採用する予定。

24日 全国学力・学習状況調査(全国学
力テスト)が行われた。県では犬山市の
公立小中学校が不参加。

26日 名古屋大学は県立岡崎高校とスー
パーサイエンス教育交流に関する協定を
締結。

◆5月

4日 「戦争と平和の資料館ピースあいち」が開館。

4日 文科省の調査で、学校図書館の蔵書目標を達成しているのは、愛知では小学校49.7%、中学校54.6%。

5日 読売新聞が全国の主要都市の認可保育園の保育料の滞納額を調査したところ、名古屋市の滞納額は1,505万円、滞納率は0.24%。

8日 犬山市立犬山北小学校が築40年以上の校舎を改造して「セミオープンスペース」にした。(中日)

12日 県内で初となる私立の男女共学小学校「南山大学附属小学校」の説明会が開催された。

12日 志願者を前年より2割以上減らした愛知教育大学は、高校に教授らを派遣して実態調査を始めた。(毎日)

16日 名古屋市守山区の保育園と熱田区の知的障害児通園施設の父母らが、施設の日照を確保するための業者への指導や市条例の改正などを求める署名と要望書を市に提出。

18日 県教委、安城農林高校の実習助手を農業実習の鶏卵売上金を横領したとして懲戒免職にした。

19日 名古屋市教委、教員募集用のDVD「やっぱりなごやで教えたい！」を制作。(中日)

21日 県経営者協会と連合愛知は、高校生の職業観や勤労観の育成のために共同で取り組む具体策の共同提言をまとめ県に提出。

◆6月

8日 文科省、公立小中学校の耐震性に関

する調査結果を発表。耐震化をすませた学校の割合、県は75.2%

15日 名古屋市民会館が「中京大学文化市民会館」となることについて市民団体が名称変更反対する申し入れ書を市長や同市議長らに提出した。

15日 行き場のない子どもたちを守ろうと活動するNPO法人子どもセンター「パオ」が、シェルター(一時避難所)を開所した。

22日 長久手町が公募で決めた新設小学校の校名を定める条例案が議会の委員会で否決された。→29日に町議会でも否決。

22日 名古屋市議会で松原市長は、小規模小学校の学校規模の適正化を進めることが必要と述べた。

25日 名古屋市教委、市議会で、学校に対して保護者から寄せられる理不尽な要求が、2005年度の約200件から06年度は約390件と倍増していることを明らかにした。

27日 県教委、文教委員会で、今年度の採用試験で知的障害者の特別選考枠(1人)を初めて設ける方針を明らかにした。

◆7月

4日 田原市が4月に開園した保育園の給食にセンター方式を採用したのは違法として、市民グループが起こした訴訟の口頭弁論が名古屋地裁で行われた。

4日 名古屋市は、子どもの医療費助成を08年1月から大幅に拡大する方針を固めた。(中日)

4日 県公立高校入学者選抜方法協議会議、09年度入試からA、Bグループの実施期日を入れ替えることが望ましいと報告。

10日 名古屋市、親学推進協力企業を募る。(中日)

13日 名古屋市児童相談所が06年度に対応した相談件数は5477件で、児童虐待は850件と過去最高。(中日)

13日 コンピュータ総合学園HAL名古屋校の職員が、情報処理技術者試験の認定講座の修了試験の問題を受講生に漏らしていたことが分かった。(朝日)

24日 東海市教委、小中学校での優れた授業を対象にした全国公募のコンクール「授業実践グランプリ」を企画。(中日)

26日 名古屋市子ども条例検討会、同条例の基本方針をまとめた。

27日 県教委、県立高校の教員492人が、生徒の個人情報記録した電子データや書類を自宅に保管していたと発表。

◆8月

7日 県と名古屋市の児童福祉施設で、保護者の負担金の3割以上が徴収できていないことがわかった。(中日)

9日 文科省、06年度の学校基本調査を発表。県の小中学校の不登校者数は7858人。

10日 大学予備校の明聖アカデミーが自己破産手続きに入ることを決めた。

10日 名古屋市、職場で親学に取り組む企業15社を「推進協力企業」として登録。

14日 「あいち・平和のための戦争展」が始まる。

20日 県高等学校教職員組合、「2007愛知の高校教育白書」を刊行。

24日 県、自閉症や学習障害(LD)といった発達障害者を対象にした職業訓練を開始することを明らかにした。

24日 県、宝陵高校に養護学校の高等部を併設すると発表。

27日 長久手町長、小学生の医療費の無料化と、第3子からの出産祝い金20万円の支給などを1月から実施することを明らか

にした。

31日 県教委、生徒からの集金を盗んだ清須市の中学校教諭を懲戒免職。

11日 名古屋市内の私立高校の部顧問がセクハラを行い、退職していたことがわかった。(中日)

◆9月

3日 大府市、保育料の第3子以降の無料化を認可外保育所にまで拡大する方針を明らかにした。

5日 県教委、最近の懲戒処分事例などを掲載した教職員の不祥事防止啓発資料「あなたは大丈夫ですか？」を発行。

7日 豊田市、09年度から公立幼稚園、保育園の名称を「こども園」に一本化する。(朝日)

12日 文科省、公立学校教職員の人事状況を発表。06年度に指導が不適切な教員と認定されたのは、県は15人、うち4人が新規、名古屋市は4人、うち3人が新規認定。

12日 名古屋市立大学、学内に24時間対応の保育所を設置することがわかった。(中日)

14日 犬山市議会、学力テスト不参加、教職員評価制度導入見送りなどを決めた教委の審議内容を監査する動議を全会一致で可決。

20日 一宮市の高校3年の女子生徒が、中学時代にいじめを受けていたのに学校が対応をしなかったとして同市を相手取り損害賠償を求める訴訟を起こすことになる。(中日)

20日 私立同朋高校の生徒がイラクの子どもを支援する募金活動を行う。(朝日)

21日 「憲法の理念を生かし、子どもと教育を守る愛知の会」、愛教労は記者会見

を行い、全国学力テストに関して県内各教委を調査した結果を発表。

21日 春日井市内の女兒の保護者が、小学校の定期健康診断で聴力低下がわかりながら、保護者に連絡がなかったため治療の機会を逸して聴力を失ったとして同市に損害賠償を求める訴訟を起こした。

(中日)

21日 名古屋市内の小中学生で、06年度いじめが原因で不登校になったのがわずか59人だったということが市教委の調査でわかった。市議会ではデータが実態を反映していないと疑問が出された。(中日)

25日 県議会で伊藤教育長は全国学力テストに関して「国の実施要領の通り、学校間の序列化や過度な競争を招かないよう、市町村や学校名の公表は行わない」と述べた。

26日 部活動の練習中に熱中症で倒れ死亡した生徒の保護者が起こした損害賠償訴訟で名古屋地裁一宮支部は、一宮市に4500万円の支払いを命じた。

26日 「長田塾」の施設で体罰を受け、テレビ放映でプライバシーが侵害されたとして塾と長田百合子取締役を相手に損害賠償を求めた訴訟の控訴審で、名古屋高裁は100万円の支払いを命じた。

28日 一緒に暮らす幼児を虐待で死亡させたとして一宮市の無職男性が逮捕された。

◆10月

3日 名古屋市議会、中高層建築物紛争予防条例を改正。日照を配慮すべき教育施設の範囲を児童福祉施設等にも拡大。

5日 県教委、「2007あいち教育キャンペーン」を実施。

9日 北名古屋市の中学2年の男子生徒2

人、教師に暴行し逮捕された。

10日 設楽、東栄町と豊根村の教委は、教育事務所の統合に反対し、現状維持を求める要望書を県教育長に提出。

12日 名古屋市立の小中学校で06年度、1122人がいじめを受けていたことが市議会教育子ども委員会で示された。

15日 県教委の第1回教員表彰式が行われ、100人が表彰された。

16日 元東海中学の教諭が少女に淫行の疑いで逮捕された。

16日 南知多町立山海小学校の統廃合を巡って、地元住民代表が町長に学校存続を陳情。

16日 塾の名進研が名古屋市内に小学校の開設を検討していることが明らかになった。

16日 県、08年度から子ども医療費無料化の補助制度を拡大する方針を固めた。

(中日)

23日 一宮市教委、08年度から隣接校選択制を採用することを決めた。(読売)

24日 県教委、全国学力テストの結果を公表。

25日 県教委が工業高校や特別支援学校の一部の専門教科の教員を一般公募せず、校長推薦の特別選考で採用していたことがわかった。(中日)

26日 高浜市で「地方自治と子ども施策・自治体シンポジウム」が始まった。

28日 一宮市立小学校の男性教諭が体罰や暴言を繰り返し、学級担任を外され、児童を直接指導することをやめさせる措置がとられていたことがわかった。

◆11月

1日 中学受験塾大手の日能研が08年から東海地区に進出することを決めた。(朝日)

4日 08年に開校する南山大学附属小学校の説明会が開かれ、約1500人が参加。

6日 県少子化対策推進会議、「あいち子育て応援宣言」を採択。

14日 県立高校の教諭が、夏期休暇中の自宅研修を研修と認められず、有給休暇扱いとされたのは違法として校長と県を提訴。

14日 名古屋市、市内の3カ所の市立保育園を民営化する方針を固めた。(中日)

15日 文科省、06年度の児童生徒の問題行動の状況を発表。いじめの認知件数は、県は10571件。

15日 県、県立高校再編整備実施計画(第2期2次分)を発表。愛知工業と東山工業を統合し総合技術高校を新設。

21日 名古屋市子ども条例(仮称)検討会が提言をまとめた。

21日 岡崎市の県立農業大学校岡崎キャンパスで、06年12月入試問題の冊子が盗難に遭っていたことがわかった。

21日 豊田市、08年度から小学3年で35人学級を実施することを発表。

24日 東海市、08年度から市立中学の2年生を対象とした臨海学習を沖縄で実施する。(中日)

26日 江南市が市立保育園の一部で指定管理者制度の導入をめざしている問題で、制度導入の中止を求める要望書が市長宛に提出された。

◆12月

4日 女性教諭の勤務条件について、勤務先の県立高校の校長に交渉を申し入れたのに拒否されたことで、「がっこうコミュニティユニオン・あいち」が県を相手に損害賠償を求めた訴訟で、名古屋地裁は県に5万円の支払いを命じた。

5日 小牧市、中学卒業まで医療費の私費負担をなくす条例改正案を提出。(毎日)

6日 一色町、08年4月以降、中学卒業時から18歳までを対象に入院医療費の本人負担を1割とする。

7日 伊藤県教育長、県議会で教職員評価制度について、評価を人事や給与に反映させることに意欲を示した。

10日 名古屋市、トワイライトスクールと学童保育を一体化した「放課後児童クラブ」の事業を08年度中に始める方針を明らかにした。

12日 県教委、業務上横領の疑いで高校の元事務長を告発。

14日 名古屋市の公立保育園に通う父母らが、保育園の民営化に反対する集会を開いた。

18日 中日新聞社の調査で、県立高校の授業料減免率は、全日制7.9%、定時制14.2%だったことがわかった。(中日)

22日 県内の私立高校のレスリング部で集団暴行があり、4人が処分されていたことがわかった。(中日)

22日 私立高校の女子ソフトボール部の部員が監督と保護者らとともに飲酒したことがわかった。

26日 交通事故で両腕を失った男性が県の教員採用試験に合格し、正規教員となる。(中日)

*本動向作成にあたっては、中日新聞、朝日新聞、毎日新聞などの教育関係記事を基本資料とした(いずれも名古屋版)。項目により発生日が確定できなかったものは新聞掲載月日で示し、掲載紙名を括弧内に記した。

(あいち民研研究部長、名古屋造形芸術大学短期大学部)

【あいちの子育て・教育・文化動向 2008】

大橋 基博 編

◆1月

1日 春日井市教育委員会は、学校規模の適正化に取り組むため、学識経験者や市民から意見を募る検討組織を設置する方針を固めた。(読売)

11日 田中犬山市長、教育委員の増員を検討していることを明らかにした。

17日 岡崎市内の公立中学校で、2年生の男子生徒が、先輩や同級生ら3人からいじめを受け、やけどを負っていたことが分かった。(中日)

18日 豊川市のJR線で、近くの中学3年の女子生徒が電車にはねられ死亡。生徒は自宅に遺書めいたメモを残していた。

25日 田中犬山市長、教育委員会で、教育長と教育委員長の辞職を求めた。

29日 犬山市教育委員会、全国学力テストに不参加決定をする手続きに問題があったとする監査報告に対して、問題があるとは考えていないとする通知を行う。

29日 名古屋市立大学医学研究科の博士論文学位審査をめぐる汚職事件を受けた同大の特別調査検討委員会が中間報告。04年度だけで金銭授受が対象者の3割あった。

30日 名古屋市、08年度から京大霊長類研究所と連携し、学習障害の児童らの支援方法を研究するモデル事業を始める。(中日)

31日 名古屋市の就学援助制度で、援助金を受け取りながら、本来の目的に使っていないケースがあることが市の包括外部監査

人の結果報告書で分かった。

◆2月

3日 長野県のスキー場で雪崩が発生し、愛知大学からスキー合宿に来ていた学生らが巻き込まれ2人が死亡。

4日 県教委、パンフレット「魅力と活力ある県立高等学校づくり」を作成。

4日 県人事委員会は、小中学校に08年度から設置される主幹教諭について新たな職務の級を設置するよう勧告。

18日 犬山市教育委員会、08年度の全国学力テストへの不参加を3対2で決定。

22日 名古屋市の小中学校での越境通学は281人いることが市教委の調査で分かった。部活動が理由は48人。

27日 犬山市の瀬見井教育長、09年以降の全国学力テストについて「もし参加するなら結果を公表する」と発言。

◆3月

1日 瀬戸市の小学校に防犯カメラが設置され、運用が始まった。(朝日)

4日 松原名古屋市長、トワイライトスクールと放課後児童クラブを09年4月に放課後子どもプランとして一体化させることを表明。

6日 県が08年度から始める、小学生を対象としたメタボリックシンドロームの検診について、県は県議会で、碧南市内の小学

校で事業を実施することを明らかにした。

6日 名古屋市内の小中学校に通う生活保護所帯の児童生徒に支給される教材代が、対象の95%に当たる1,900人に支払われていないことが分かった。大半の保護者は制度を知らされていなかった。

10日 県教委、07年度の全国学力テストの結果を活用するための『学力学習』状況充実プラン」を配布。

13日 県立岡崎西高校の入学試験で、理科の試験開始時間を誤り、本来より5分長い試験時間の会場があり、理科の再試験を行うことになった。

14日 県教委、08年度から学校事務の共同処理の実践研究を6市町で始める考えを示す。

18日 県、07年度人権に関する県民意識調査結果発表。

19日 県ひきこもり対策検討会議、「愛知県ひきこもり対策の推進について」をまとめる。

21日 県、2010年の開催を目指す「あいち国際芸術祭」（仮称）の基本構想を発表。

22日 県内初の男女共学私立小学校として開校する南山小学校の開校式が行われた。

24日 名古屋市教委、学区外の生徒を勧誘して通学させたとして守山区の中学校男子バレーボール部元顧問の男性教諭を戒告の懲戒処分にした。

27日 高校生の職業観や勤労意識を育てようと県経営者協会と連合愛知などは、新年度から、一線で活躍する社会人を講師として高校に派遣する出前講座を始める。（中日）

31日 朝日新聞社、全国学力テストについて、東海3県の市町村教育長にアンケート。

回答した教育長のうち4割以上が抽出調査にすべきと回答。

◆ 4月

4日 県は、虐待を受けた子どもと虐待した親らが再び結び付きをもってもらう「家族の再結合」の取り組みを本格的に始める。（中日）

8日 田中犬山市長、教育委員を1人増員する条例案と新委員の選任同意案を提出。9日に可決。

9日 県内の小中学校で、常勤・非常勤講師が足りないという事態が生じていることが分かった。中日新聞のまとめで、少なくとも一宮など5市で計22人が不足。（中日）

11日 県教委の調査で、学校評価制度について、約7割の保護者が教師の指導や生徒の様子がよく分からず、学校からの情報不足を感じていることが分かった。（中日）

18日 毎日新聞の調査で、06年度の県立高校の授業料の滞納額は497万5千円あったことが分かった。全国の滞納額の合計は4億6千万円。（毎日）

21日 文科省、07年度の公立小中学校の学校図書購入状況調査をまとめた。県の図書購入予算は12億1千万円で、基準財政需要額の114.2%。「学校図書館の現状に関する調査」では、県の蔵書整備率は学校図書館図書標準と比べると、公立小学校では51.2%（全国平均42.0%）、公立中学校では56.9%（全国平均37.2%）。

24日 県教委、09年度から中学1年で35人学級を導入する計画を発表。

26日 県、08年度から、職員の勤務成績を昇給に反映させる「査定昇給制度」を本格的に導入した。（中日）

◆5月

- 1日 名古屋市教委が開設する「なごや教師養成塾」の募集が開始。
- 1日 名古屋市、市議会教育子ども委員会で「放課後子どもプラン」の基本的な考え方を示した。
- 3日 豊田市で、愛教大付属高校1年の女子生徒が殺されているのが発見された。
- 7日 県と県教委は、登下校時の安全確保で万全を期すよう求める文書を県内すべての幼稚園、小中学校、高校、特別支援学校などに送った。
- 13日 県は小学生向けの環境学習の副読本「わたしたちと環境」を作成し、名古屋市を除く県内の全小中学校の4年生に配布した。
- 13日 ブラジルの駐日大使が県知事と面会し、県内のブラジル人の子どものため、本国から教員を派遣することを提案した。
- 15日 県から補助金を受けている学校法人愛知産業大学が、自民県議側に政治献金を行っていたことが分かった。(朝日)
- 19日 一宮市立中学校で04年、部活動中に生徒が熱中症で死亡した事件をめぐる訴訟で、一宮市が両親に和解金を支払うことで合意したことが分かった。(中日)
- 21日 名古屋市内のフィギュアスケートのコーチが教え子の女子中学生に暴行したとして告訴されていたことが分かった。(中日)→6月4日、強姦致傷容疑で逮捕。
- 23日 名古屋市立見付小学校で、6年生の理科の実験中に、実験ミスから塩化水素が発生し、児童8人が病院に運ばれた。
- 24日 中京大学の家田重晴教授の調査で、県内61市町村教委のうち、小中学校の敷地内全面禁煙に踏み切っているのは22にとど

まっていることが分かった。

- 27日 県立名古屋高等技術専門校副校長が、電車内で盗撮したとして逮捕された。
- 28日 中部経済産業局は、中央出版(名古屋市)の学習教材を訪問販売する会社(同市)の本社を、特定商取引法違反(勧誘目的の不明示など)の可能性があると立ち入り検査を開始。

◆6月

- 7日 名大祭の模擬店で食中毒発生。
- 12日 愛教大、付属学校に防犯カメラを設置すると発表。
- 13日 東海市が市内の全中学2年生を対象に、全額市費負担で実施する沖縄体験学習の第1陣が出発。
- 16日 春日井市立小学校の女性教諭が、保護者に繰り返し栄養補助食品を勧め、購入させていたことが分かった。
- 20日 文科省、08年4月現在の公立学校施設の耐震改修状況調査の結果を公表。県の公立小中学校の耐震診断実施率は98.9%(全国93.8%)、耐震化率は81.7%(全国62.3%)。
- 24日 県教委、愛知スーパーハイスクール研究校の指定校16校を発表。
- 24日 犬山市教育委員会、全国体力テストへの不参加を決定。
- 24日 04年に一宮市の中学生が部活動中に熱中症で死亡したことをめぐる損害賠償訴訟で、一宮市と遺族の間で和解が成立。
- 25日 名古屋市議会で、市教委は、インターネット上の掲示板「学校裏サイト」が、07年度中の小中学校の調査で108件見つかったことを明らかにした。
- 29日 名古屋市立中学校で、男性教諭が女子生徒にキスしたとして停職6ヶ月の懲戒

処分を受けていたことが分かった。教諭は退職した。(中日)

◆7月

3日 名古屋市を除く県内の児童・障害者相談センター及び児童相談センターの07年度の相談実績がまとめられた。虐待相談は前年度に比べ14件増の835件。

8日 給与の現金支給のために、県立学校がタクシーで金融機関から現金を運んでいることが分かった。(中日) 県教委は、対象の教職員に口座振り込みへの切り替えを求めるよう校長会で要請。

8日 名古屋市立大学大学院医学研究科の学位審査をめぐる汚職事件で、収賄罪に問われた元教授に有罪判決。

11日 県教委、県立高校再編整備実施計画(第2期2次分)に基づく統合後の新しい学校の基本構想、学科改編等について発表。

11日 県教委、08年度「学校安全緊急情報共有化広域ネットワーク」活用訓練結果及び「ネットワーク」運用ガイドラインを発表。

11日 文科省、「学校施設等における吹き付けアスベスト等の使用実態調査等の結果について」発表。使用状況を確認していない学校は愛知県が712校で、全国最多。

12日 名古屋市の公立小中学校で越境通学をしているものが6月1日現在で231人いることが分かった。

18日 豊田市立末野原中学校で、体育館で打ち合わせなどを行っていた3年生が熱中症になり12人が病院に搬送。

18日 名古屋市中川区の中学2年の男子生徒がマンションから転落し死亡。自殺の可能性も。

23日 名古屋市教委、19日に実施した教員採用試験の理科の問題文の一部に誤りがあったと発表。

25日 県、学校基本調査の速報を発表。不登校の児童・生徒が小中学校ともに増加。中学校では生徒総数に占める不登校の割合が3%で過去最高。

25日 一宮市の中学生が部活動中に熱中症で死亡した事故で、一宮検察審査会が不起訴は不当と議決した当時の校長らに対し、名古屋地検は再び不起訴処分とした。

26日 県内で青少年の健全育成に取り組んでいるさまざまな団体のネットワークづくりを目指したイベント「地域ネットワークで守ろう！子どもたちの笑顔」が知多市で開かれた。

29日 知立市の知立中学校で、卒業生の少年が元担任教諭をナイフで刺す。少年は殺人未遂で逮捕。

30日 名古屋市、09年4月からモデル事業を始める「放課後子どもプラン」に対して25,706件の意見が寄せられたと発表。5,000件は反対意見。

◆8月

1日 文科省、07年度の「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受入れ状況等に関する調査」結果を発表。都道府県別では愛知県が5,030人で最多。

7日 文科省、学校基本調査速報を発表。県の不登校児童生徒総数は8,098人。

7日 南知多町臨時議会は、山海小学校を廃校とする町立学校設置条例改正案を可決。

15日 県教委、7月に実施した教員採用試験の1次試験で採点ミスがあり、45人を追

加合格にしたと発表。読み取り機械の不具合が原因。

18日 春日井市は、10月から小中学校の給食費を1食あたり30円値上げする。

21日 県内で私立小学校新設を計画する学校法人「名進研学園」が、用地取得のめどが立たず、10年度の開校を延期していたことが分かった。

25日 豊田市教委、市教委の事務の管理執行状況を点検・評価した報告書を市議会議長に提出。

26日 東海市、学校給食の材料費高騰分を市が負担すると発表。

◆9月

3日 豊田市、09年度、児童が少ない学校を対象に、学区外からの通学を認める「小規模特認校」制度を市内の2小学校でモデル的に始める。(朝日)

3日 人口増を背景に名古屋市緑区の清水山地区の子どもたちが09年度から、二つの小学校のどちらに通うか選べるようになる。(中日)

4日 名古屋市昭和区の市立広路小学校の音楽室で、天井の石膏製のボードが落下し2人がけが。豪雨による雨漏りのためとみられる。

5日 名古屋市学校教育研究協議会の第1回会合が開催された。11期目になる08年度は「多文化共生へのあり方」「小中学校の学校規模のあり方」について協議する。

6日 名古屋市教委が開講する「なごや教師塾」の入塾式が行われた。

9日 名古屋市、短歌会館や武豊野外活動センターなど市営の4施設を廃止、売却することを明らかにした。

9日 7月に買春で逮捕された美浜町立中学校の元教諭が、7年前に女兒に性的暴行を加えていたとして再逮捕。

12日 私立黄柳野高校で集団リンチがあり、けがをした生徒が近く被害届を出す。

(中日)

13日 8月末の豪雨で、名古屋市内の小・中・高校や幼稚園などの半数以上に相当する計242校で雨漏りがあり、小中学校6校で天井パネルが落下したことが分かった。(朝日)

16日 豊田市の私立杜若高校の運動部寮から男子野球部員が飛び降り、重体に。同校野球部は秋季大会出場辞退。

17日 豊田市の広場で、小学1年の女子児童が、ヘルメットが雲梯の持ち手の鉄棒の間に引っかかり、宙づりになり重体。

19日 豊田市、「とよた子どもの権利相談室」を10月1日に開設すると発表。

19日 県教委、小中学校や高校で出された給食のオムレツの材料に事故米が含まれていたと発表。

19日 犬山市議会、中嶋名大教授の後任教育委員として大島克己氏の選任を承認。

26日 名古屋市教委、フランスで開発された聴覚訓練器「電子耳装置」を用いた外国語の学習法を、09年4月から小学校の英語授業に活用することを明らかにした。(中日)

29日 名古屋市教委、09年度から市立保育園を順次、民営化する方針を市議会で明らかにした。小学校区に1園程度は市立保育園を残す方針。

◆10月

2日 県教委、09年春実施の公立高校全日

2008

制課程の一般入試で点字での受験を認めることを決めた。(中日)

2日 東郷町の東郷小学校で、耐震工事中の廊下天井からコンクリート液がこぼれ落ち、下にいた児童5人を直撃する事故が起きた。

3日 知多市立旭北小学校で、翌春の就学相談に訪れた同市の発達障害の自閉症の子どもと母親に、校長が「この子はうちの学校は無理」と事実上、門前払いしていたことが分かった。(中日)

5日 一宮市教委、北部給食センターの業務を09年度から民間委託することを決め、業者の募集を開始。(朝日)

6日 高校に侵入してUSBメモリーなどを盗んだとして、県警が名古屋市内の県立高校3年の男子生徒6人を逮捕していたことが分かった。

7日 スウェーデン王立アカデミー、08年のノーベル物理学賞を、南部陽一郎氏と名古屋大学出身の益川敏英、小林誠氏に贈ると発表。

7日 愛知保育団体連絡協議会は「なごや保育・子育て政策」を策定し、松原市長あてに提言した。市立保育園の民営化方針の撤回を求めている。

15日 県個人情報保護審議会、県教委が教員の転任に関わる「転出希望者調査書」を不開示とした決定について、一部を開示するよう県教委に答申。

17日 文科省、公立学校教職員の人事行政の状況調査について発表。指導が不適切な教員と認定された総数は、県が7人、名古屋市が3人、希望降任したものは県が3人、名古屋市は制度なし、条件付き採用で正式採用とならなかったものは、県が10人、名

古屋市が2人。

21日 県教委、教員採用担当の職員が愛知、岐阜の大学で、「出前採用説明会」を始める。(朝日)

◆11月

8日 岩倉市で06年8月、中学時代のいじめに起因する神経症と診断されて治療中だった高校2年生の少女が自殺していたことが分かった。(毎日)

10日 春日井市情報公開審査会、07年度の全国学力テストの学校別の成績を開示するよう答申。

12日 名古屋市立保育園父母の会は、障害児保育の充実を求める請願書を市議会に提出。

13日 県教委の今井教育長と、名古屋市教委の佐合教育長が、共同で政令指定都市の県費負担教職員制度の見直しについて、鳩山総務相、塩谷文科相に要望。

15日 あいち・子どもNPOセンターは、インターネットを利用し、子育て情報などを交換できる地域SNSを開設。(朝日)

19日 新城市の黄柳野高校で9月にあった集団暴行事件で、新城署は傷害容疑で生徒5人を書類送検。(中日)

20日 文科省、問題行動白書を発表。07年度の県内のいじめ認知件数は、10,951件で全国最多。

25日 半田署は、児童の殺害予告脅迫状を小学校に送ったとして36歳の容疑者を威力業務妨害の疑いで逮捕。

26日 憲法と教育を守る愛知の会、「教育格差告発ホットライン」を開設。

28日 名古屋市議会の教育子ども委員会は、「放課後子どもプラン」を議論。運営

指導者を教職経験者に限定していることに批判が続出。

29日 県警少年課は、新城市の黄柳野高校で、生徒寮に喫煙場所が設けられている疑いがあるとして同校を家宅捜査。

◆12月

1日 大分県の教員採用汚職事件を受け、規制改革会議が設けた「教育目安箱」に238件の投書が寄せられた。県別では愛知県が16件で最多。

4日 進学塾の名進研は、09年3月から小学3年生を対象にしたコースを開設する。(日経)

8日 豊橋市、国保税滞納で、子どもが無保険状態になる問題で、短期保険証の交付対象を現行の小学3年生以下から、18歳未満(高校生は卒業するまで)にまで拡大することを決めた。

15日 県の不正経理問題に関する07年度の全庁調査結果で、県立高校の9割が不正に物品を購入していたことが分かった。

16日 名古屋市教育委員会、09年度から小中学校の給食費を値上げすることを明らかにした。

18日 犬山市議会、小規模校の全国学力テスト結果などを非開示にできる情報公開条例改正案を可決。

18日 名古屋市医師会に委託してスタートした「子どもあんしん電話相談」が、07年度の場合、総着信数10,300件のうち、3分の1しか相談に乗れなかったことが分かった。(中日)

18日 一色町教育委員会、町立小学校の男性教諭が覚醒剤取締法容疑で、逮捕・起訴

されていたと発表。

18日 県内61市町村のうち43市町村が、08年度に入り公立小中学校の給食費の値上げをしたり、検討していることが県教委などの調べで明らかになった。(朝日)

19日 県教委、中学3年生を対象とした第2回進路希望状況調査結果を発表。高校等への進路希望率は95.5%で過去最高。就職希望率は1.4%。

19日 犬山市教育委員会の丹羽委員長、文科相に全国学力テストの実施方法について意見書を提出。

20日 県、職員の給与に一律10%が上乘せされている地域手当について、09年度から支給率を一律6.5%に見直す方針を固めた。

(中日)

22日 犬山市教育委員会、独断で意見書を文科相に提出したとして、丹羽委員長の解任動議を可決。

26日 名古屋市立千種台保育園の民営化問題に関して同園の「父母の会」が、同園の移転目的以外に移転用地の使用を禁ずる仮処分を名古屋地裁に申し立てた。

26日 田中犬山市長、教育委員会の事務処理に問題があるとして、瀬見井教育長に勧告。

*本動向作成にあたっては、中日新聞、朝日新聞、毎日新聞などの教育関係記事を基本資料とした(いずれも名古屋版)。項目により発生日日確定できなかったものは新聞掲載月日で示し、掲載紙名を括弧内に記した。

[あいち民研研究部長、名古屋造形大学]

【あいちの子育て・教育・文化動向 2009】

大橋 基博 編

2009年

◆1月

5日 名古屋市教委、教員免許更新講習を市独自で実施すると発表。

8日 県の経理適正化外部委員会が不正経理問題で県立高校3校の校長から聞き取り調査。

15日 県教委、新年度から県内すべての市町村立中学校の1年生で35人学級を導入する方針を示した。

13日 08年12月に犬山市教委が、丹羽俊夫教育委員長の解任を議決した問題で、丹羽氏は解任は無効と表明。

13日 河合塾グループが、教育出版とZ会とテストの専門会社を設立する。(日経)

20日 市立保育園の民営化問題で「公立保育園をなくさないで実行委員会」は、民営化の是非を問う「住民投票」の実施を求める署名活動を行うと発表。

21日 文科省、全国体力テストの結果を公表。小学男女と中学男子の県平均が全国平均を下回った。

21日 春日井市教委、07年度の全国学力テストの市平均値を開示することを決定。学校別は非開示とする。

25日 愛高教の設置した奨学金に対する申請が、初めて年間の給付枠を超えた。(中日)

27日 県産業教育審議会、「時代の変化に対応した専門高校のあり方」の答申案をま

とめた。→2月10日に答申。

27日 東海市、新年度から市立保育園の全園庭を芝生に変える方針を固めた。(中日)

27日 名古屋市教委、酒気帯び運転で追突事故を起こしたとして元小学校長で瑞穂生涯学習センターの男性嘱託職員を解雇。

28日 県、教職員や警察官も含めた県職員の09年度の給与削減案を決めた。一般職で給料、ボーナス4%減。

28日 犬山市教委、非公式会合で委員長に丹羽俊夫氏が当面とどまることで合意。

28日 豊橋市立看護専門学校の入試で、解答を記した問題用紙を配るミスがあった。

◆2月

3日 県、08年に実施した「子どもの生活実態調査」の結果を発表。「青少年の自立支援策に関する検討会」報告書作成の参考とするため。

4日 名古屋市の包括外部監査人は、小学校の給食費対応をめぐって教諭による立て替えやPTA会費からの流用など、不透明な会計処理が行われているとした07年度の監査結果を公表。

4日 田中犬山市長、瀬見井教育長に、教委の適正な運営を図るように勧告。

5日 県教委、公立学校教員採用試験で芸術とスポーツ、英語で高い技能を持つ志願者を優遇する新たな選考方法を導入すると発表。

6日 豊田市で、不況で生徒数が大幅に減ったブラジル人学校を支援する募金活動が始まる。

8日 民間団体が計画した名古屋市と中国南京市との交流イベントについて、名古屋市がいったん「後援」と決めながら、南京大虐殺の写真を展示することを理由に後援を取り消したことが分かった。(中日)

9日 田中犬山市長、瀬見井教育長が市の行事に欠席したことに対して、所管事業への参加を求める勧告。

10日 犬山市教委、全国学力テストへの参加問題について市立小中学校長会と意見交換。

13日 県、少子化に関する県民意識調査の結果を発表。子育ての負担な点は「子育てに出費がかさむ」が62%。

16日 名古屋おや子センター、電話相談「ママパパラインあいち」を開設。

19日 犬山市教委、全国学力テストに関してテレビ局が行ったアンケート結果を公表。必要と答えた保護者が多かった。

20日 県立高校の推薦入試の合格発表があり、ほぼ全盲の生徒2人が合格。

22日 名東署、5ヶ月の長女を虐待した疑いで18歳の少年を逮捕。

22日 瀬戸の小中学校に殺害予告の電話があった。

24日 男子中学生を集団で暴行したとして16歳の少年と中学3年の少年が逮捕される。携帯電話の動画が証拠。

27日 名古屋市立保育園民営化の是非を問う住民投票条例制定を目指す「公立保育園をなくさないで実行委員会」は有権者13万人余りの署名簿を選管に提出。

◆3月

2日 名古屋市の大学非常勤講師がペンネームで講義を行いたいと希望したら、非常勤講師の内定が取り消されたとして私立大学を提訴。

5日 愛知学泉大の学生がサークルのコンパで飲酒し、その後死亡。

6日 豊田市は、市内や周辺の8大学と相互に連携を深めるための協定を結ぶ。(朝日)

6日 県義務教育問題研究協議会、「学校と家庭でともに進める情報モラル教育の在り方—実態調査結果と考察—」をとりまとめる。

9日 春日井市立中学で、生徒の生活実態を把握するために実施したアンケートで、生徒に他人の不良行為を名指しで指摘させていたことが分かった。(中日)

10日 犬山市、市立羽黒小学校を住民も利用できる開放型とし、スポーツ、防災の拠点となるように改築する構想をまとめた。(毎日)

11日 県内9地域の教科書採択地区協議会が、算数と数学について40年間同じ会社の教科書を採択していたことが分かった。(中日)

10日 県警、私立黄柳野高校の校長を生徒に喫煙場所を提供した疑いで書類送検。

17日 県立高校4校で、授業料の滞納を理由に一部の生徒に卒業証書を渡していなかったことが分かった。(中日)

17日 県内の私立高校55校の授業料滞納者数が、2月末現在で679人に達していることが分かった。

18日 高浜市、前文と3項目からなる「高浜市乳児保育憲章」を制定。

19日 県、「男女共同参画意識に関する調

査」結果を発表。

19日 県教委、「あそび・非行型不登校傾向生徒の支援プログラム」を発表。

19日 名古屋市港区の1歳の女兒が変死。体には複数の外傷がある。

23日 犬山市教委、09年度の全国学力テストへの参加を決定。

23日 県青少年問題協議会「青少年の自立支援策に関する検討会報告書」を知事に提出。

25日 瀬戸市情報公開審査会、07年度、08年度の全国学力テストの市全体の正答率を開示するよう答申していたことが分かった。(中日)

26日 県義務教育問題研究協議会、「情報モラル教育推進の手引」を作成し、県のwebで公開。

28日 半田市の中学校で生徒が「先生を流産させる会」を結成し、悪質ないたずらをしていたことが分かった。(中日)

30日 県教委が、県教育職員互助会への補助金6800万円を予算計上していたことが分かった。

30日 県内の母子家庭の平均年収が217万8千円と、父子家庭485万2千円の半額以下であることが県と名古屋市の調査で明らかになった。

◆4月

1日 黄柳野高校の喫煙場所提供問題で、名古屋地検豊橋支部は校長らを起訴猶予としたと発表。

4日 豊川高校で、新1年生を対象に、少年が老婦人を殴り殺すストーリーに感想を求める宿題が出されていたことが分かった。(中日)

4日 犬山市教委が全国学力テストの答案をコピーし、独自採点を行うことが分かった。(中日)

5日 県幼児教育研究協議会、「協同的な活動を通して幼児期の『遊び・学び・育ち』を考える」をまとめた。(中日)

7日 名古屋市議会、市立保育園の民営化の是非を問う住民投票の実施を求める条例案を反対多数で否決。

8日 公立高校定時制の入試で、愛知県は135人の不合格者を出したことが分かった。(朝日)

15日 県、DVD「あいち技能マイスター～技能・伝統工芸・人づくりの匠たち～」を制作し、小中学校に配布。

◆5月

1日 県、食育絵本『しょくまるーメタボ軍をやっつけろ!』を作成し、小学校などへ配布。

11日 瀬戸市教委、全国学力テストの市全体の結果を開示すべきと情報公開審査会が答申したが、不開示を決定。

12日 河村名古屋市長、中学3年生まで医療費を無料にする意向を明らかにした。

18日 県教委、新型インフルエンザ患者が県内で見つかった場合、地域限定で休校にする方針を明らかにする。

20日 県青少年問題協議会、有識者による専門委員会の初会合を開いた。

20日 河村名古屋市長、放課後子どもプランの事業を外郭団体に一括で委託していることを批判。

20日 名古屋市、06年度に市児童相談所に対応した虐待の実態を分析し、結果をまとめた。(中日)

20日 犬山市教委、全国学力テストの自主採点に対する中間報告を明らかにした。

23日 県内の文化活動団体を支援する県の事業費補助制度に09年度から競争原理が導入されることになった。(朝日)

23日 06年に自殺した高校2年生の女子生徒の母親が自殺はいじめが原因として中学時代の同級生らに賠償を求めるあっせんを申し立てていたことが分かった。(中日、毎日)

28日 名古屋市のブラジル人学校の校長が、授業料未納を口実に生徒の家庭への強盗を共謀したとして逮捕された。

28日 春日井市の小学校の健康診断で女兒の聴力低下を見落としとして損害賠償が求められた訴訟で、名古屋地裁は請求を棄却。

29日 県の「情報モラル向上研究会議」の第1回会合開催。

◆6月

8日 勤務先の学習塾の屋上で大麻を栽培したとして塾の校長が逮捕される。

11日 犬山市教委の瀬見井教育長が、丹羽委員長から提出された辞表を破棄していたことが明らかになった。

11日 名古屋市学校教育研究協議会が開催され、外国人の児童生徒のための日本語教室の設置が提案された。

16日 公立学校施設耐震改修状況調査で、県内7自治体が耐震診断の結果公表をしていないことが分かった。愛知県の耐震化率は86.5%。

19日 県教委、小学校の英語活動のプロ6人を選定し、地域に派遣させる方針を明らかにした。選ばれたのは大学教授、文科省

調査官ら。(読売)

19日 県の知的障害養護学校課題研究調査検討会議、「知的障害養護学校の今後の方策についてⅡ」を報告。

20日 南山大学に爆発物を仕掛けたとの脅迫電話があった。

22日 田中犬山市長、瀬見井教育長に新型インフルエンザ対策本部会議に出席するよう勧告。

26日 私立名古屋高校の生徒が授業料が値上げされることに反対する集会を開く。

◆7月

1日 田中犬山市長、瀬見井教育長に辞職要請。

2日 田中犬山市長、市教委が編集した全国学力テスト関係の書籍の会計処理が不明朗として監査請求。

7日 名古屋市が高校生までの子を持つ親を対象に実施したアンケートで、路上の暗さなどを理由に子どもが犯罪に巻き込まれることを心配する親が5年前より増えていることが分かった。(中日)

9日 小牧市の私立誉高校が、無許可でスクールバスを有料で運行させた疑いで家宅捜索を受けた。

13日 名古屋市児童相談所が08年度に対応した児童虐待が前年度比13%減の740件となったことが分かった。(中日)

13日 交際していた女性を中傷するビラをまいたとして名古屋市立小学校の教頭が逮捕された。

14日 県公立高校入学者選抜方法協議会、新学習指導要領の移行措置の内容も入試の出題範囲に含めると答申。

15日 県情報公開審査会、県立高校の出席

簿について「学年、クラス名、担任名、教科名などは開示すべき」と答申。

15日 4ヶ月の乳児を敷き布団にたたきつけて死なせた母に、名古屋地裁は「背景に過酷な育児環境」があるとして執行猶予のついた判決を出した。

15日 刈谷市立かりがね小学校に殺人予告電話があった。

18日 愛知サマーセミナーが同朋学園名古屋キャンパスで開かれる。

18日 岡崎市立中学校の男性教諭が乾杯でビールをコップで3センチ飲んだ後乗用車を運転したとして教育長から口頭で嚴重注意を受けたことが分かった。(毎日)

18日 一宮市教委の元教育委員が、委員在任中に兼務が禁じられている他の委員を務めていたことが分かった。(中日)

19日 尾張地方の市立小学校が、特別支援学級の窓に金属製の柵を取り付けたところ、県教委から指導を受け、取り外していたことが分かった。(朝日)

22日 名古屋市教委が小中学校のプール用の薬品購入で書類と異なる薬品を購入していたことが分かった。

24日 名古屋市、放課後子どもプランを9月に全区に拡大する計画を断念することが分かった。(中日)

27日 河村名古屋市長、放課後子どもプランの委託先を民間から公募するよう指示。

27日 犬山市教委、全国学力テストの検証結果の中間報告を公開。

30日 ランドセルや中学校の制服などが買えない子どもたちのために、東浦町のボランティアグループが使わなくなった制服などを集めている。(読売)

31日 港署、4歳の長男を虐待したとして

父親を逮捕。長男は9月1日に死亡。 2009

◆8月

11日 06年に自殺した女子高生の母親が自殺の原因は中学時代のいじめにあるとして、市邨学園や同級生とその親を相手に損害賠償を求める訴訟を起こした。

21日 名古屋市名東区の中学3年の男子生徒が灯油をかぶり焼身自殺。2年の時に同級生にいじめられていた。

25日 県教委、10年度から県立高校3校で実施される学科改編やコース新設について発表。

25日 県、学校基本調査の結果を発表。大学進学率は59.1%、高校進学率は97.2%。

26日 名古屋市、123ある保育園のうち、20園を16年度までに順次民営化に着手する整備計画を明らかにした。

27日 県、2009年度の全国学力・学習状況調査の愛知県の結果を発表。

30日 江南市内の中学校の男性教諭が女子生徒につきまとい懲戒処分へ。(中日)

31日 名古屋市教委、元交際相手の女性を中傷するビラをまき逮捕、起訴された小学校教頭を懲戒免職とした。

◆9月

1日 河村名古屋市長、教育委員に明倫ゼミナールの理事長を登用する方針を決めた。

3日 田中犬山市長、教育委員を1人増員することを提案する方針を固めた。(中日)→14日、提案。

7日 名古屋市人事委員会、職員の給与を年間ベースで5.05%引き下げるように勧告。

8日 県、「愛知県子ども読書活動推進計画

(第2次)」を公表。

8日 県、県教委、愛知労働局、経済団体に対し来春新規中高卒業予定者の雇用の確保要請を行う。

8日 名古屋市教委、「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関する報告書」を公表。

14日 県教委、緑丘商業高で個人情報記録されたUSBメモリーが盗難被害にあったと発表。

15日 河村名古屋市長、市議会で、「南京大虐殺」について問われ、犠牲者の数が30万人ということについて「事実と違う」と発言。

20日 5月に亡くなった本山政雄元名古屋市長を偲ぶ市民の集いが開催された。

28日 犬山市教委、全国学力テストを抽出調査に切り替えるよう文科省に具申することを決定。→10月7日、提出。

29日 河村名古屋市長、塾の理事長を教育委員に任命する提案を見送る考えを示した。

30日 07年度に文科省から優良教員として表彰されていた名古屋市立中学校の教諭が痴漢行為で現行犯逮捕された。

◆10月

3日 憲法と教育を守る愛知の会が「教育格差・告発ホットライン」を開設。

9日 第3回県教育委員会教員表彰式を開催。

14日 県教委、新委員長に池田桂子氏を選任。

14日 名古屋市議会、塾の理事長を教育委員に任命する同意案を与党の民主党を含むほぼ全会一致で否決。

14日 岡崎署、強制わいせつの疑いで岡崎市立小学校の男性教諭を逮捕。

19日 美浜町の戸塚ヨットスクールの寮の3階屋上から入所中の女性が飛び降りて死亡。

20日 犬山市の瀬見井教育長が任期を残し辞任することを明らかにした。(中日、朝日) 丹羽、加藤委員も辞任する意向。

20日 外国語指導助手(ALT)の雇用について、県内の16市町村で偽装請負の疑いがあると外国人の労組が明らかにした。(朝日)

21日 名古屋市立高校教員組合の調査で、学校納入金を滞納する生徒が、昨年に比べて5倍以上に上がっていることが分かった。

22日 10年度の公立夜間定時制高校の最終的な不合格者が愛知県では157人に上がったことが分かった。(朝日)

28日 春日井市の市立小学校で、検診後の連絡を怠り女兒が聴力を失ったとして損害賠償を求められていた訴訟の控訴審で、和解が成立。

28日 田中犬山市長、教委が編集した本の会計処理問題で、瀬見井教育長に対して市民への説明責任を果たすように勧告。

◆11月

2日 県、小学校入学前の外国人の子どもに対する初期の日本語指導・学校生活指導を行うプレスクールの「実施マニュアル」を策定したと発表。

6日 県教委、2010年度県立高等学校生徒募集計画発表。

12日 名古屋市のなごや子ども・子育て支援協議会、「子どもに関する総合的な計画の策定に向けた方向性について」を答申。

13日 名古屋市の生活保護受給者が急増

し、市は補正予算で約100億円の生活保護費を追加した。

17日 県教委、08年度の「あいちの教育に関するアクションプラン」の点検・評価結果を発表。

17日 名古屋市、トワイライトスクールの運営を、10年度から民間に委託すると表明。

22日 日進市が小中学校併設校の建設計画を進めていることに、市民の中から計画見直しを求める声が上がっている。(毎日)

30日 文科省、08年度の「問題行動調査」結果を発表。県内の暴力行為の件数は、1688件、いじめは、9699件。

30日 犬山市教委、全国学力テストの結果の開示請求に対して、市全体の科目別の平均正答率を公開し、学校別は非公開としたと明らかにした。

◆12月

4日 発達障害の子どもを学校で適切にサポートできる人材を育てようと、名古屋市内の市民団体が養成講座を10年2月に始める。(中日)

6日 県内の4国立大学の学長らが民主党県

連に科学技術関連予算の復活を要請。

15日 「あいち定時制通信制父母の会」は、夜間定時制の募集定員増などを求めた署名を県教委に提出。

16日 県教委、09年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の県の結果を発表。

21日 犬山市教育長に奥村英俊氏が就任。

25日 名古屋市立小学校で授業中に骨折したのは市の過失だとして賠償を求めた訴訟で、名古屋地裁は市に110万円の支払いを命ずる判決。

28日 豊田市、過疎の小学校への学区外通学の特例を認める「小規模特認校」制度について10年度からの正式実施を見送ることを決めた。(朝日)

*本動向作成にあたっては、中日新聞、朝日新聞、毎日新聞などの教育関係記事を基本資料とした(いずれも名古屋版)。項目により発生日日が確定できなかったものは新聞掲載月日で示し、掲載紙名を括弧内に記した。

[あいち民研研究部長、名古屋造形大学]

【あいちの子育て・教育・文化動向2010】

大橋 基博 編

◆1月

- 1日 公立学校の教職員の1日の勤務時間が15分短縮され7時間45分になった。
- 6日 豊田市教委、市の教育推進大会で「とよたの『学校NO携帯』宣言」を行う。
- 7日 小牧市、日本語を全く話せない外国人の小中学生を集めた「特別学校」を4月に開校すると発表。
- 12日 半田市、2010年度から、2人目の子どもが保育園に通園の場合、1人分の保育料を無料化すると発表。
- 12日 犬山市、10月をめどに、通院に対する医療費自己負担分の助成を高校卒業時まで拡大することを明らかにした。
- 13日 西尾市の養護学校に通っている児童と両親が、地元の小学校の普通学級で学びたいとする要望書を同市教委と県教委に提出。
- 14日 県教委、2010年度から小学校のスクールカウンセラーを倍増し、144校に配置することを決めた。
- 15日 県が2015年度に開校を目指す総合技術高校(仮称)の専攻科に最先端の航空宇宙産業を学ぶコースの設置を検討していることが分かった。(中日)
- 22日 尾張旭市の市立中学で出火、校舎の天井などが焼けた。

22日 名古屋市教委、単学級小学校の統合に向けた検討組織を設置する方針を明らかにした。

24日 岡崎市の中学3年生が飛び降り自殺。

27日 県の教職員評価制度検討協議会が開催され、県教委は「本格実施」を2011年度からとする意向を示した。

29日 大同大学大同高校が、生徒に受験させたリスニング英語検定試験で、15人に加点し水増し合格させていたことが分かった。(中日)

◆2月

4日 県、2010年度から市町村と協力し、携帯メールを使った情報発信など子育て支援ネットワークづくりに乗り出すことが分かった。(中日)

5日 県は、2010年度から私立高校の授業料の補助制度を拡充し、年収340万円以下の世帯で無償化を実施する方針を固めた。(中日)

6日 名古屋市内の塾が、塾で集めた私立中学入試の願書を出し忘れたため、2人が受験できなくなっていることが分かった。

(中日)

9日 瀬戸市学校給食会は、小中学校の給

食費の未納者に対し、簡易裁判所に支払い督促の申し立てをする方針を決めた。(中日)

10日 河村名古屋市長は、教育委員にさんわの会長を登用する人事案を決めた。

13日 養護学校に通っている児童が地元の普通学校に転校できるように支援する集会在西尾市で開かれた。

15日 県、第5次行革大綱を発表。

15日 名古屋市学童保育連絡協議会は河村名古屋市長と会い、学童保育の環境改善に向けて協力を求めた。

18日 「あいち定時制・通信制父母の会」、県が定時制高校の生徒の夜食費補助を廃止することへの抗議声明文を出した。

19日 県立芸大の校舎・建物群は貴重な文化財だとして保存を求める署名が知事宛に提出された。

19日 県、2010年度予算案で夜間定時制高校に通う生徒の夜食費補助金を計上しなかった。(朝日)

22日 名古屋市立小中学校の元学校事務職員2人が裏金を作り私的流用したとして逮捕された。

23日 名古屋市のトワイライトスクールの事業応募で、受注したのは従来と同じ外郭団体「市教育スポーツ振興事業団」だったことが分かり、河村市長は経緯などの調査を指示した。

23日 愛知学院大学の硬式野球部のコーチが暴力を振るって職務停止処分を受けていたことが分かった。(中日)

24日 名古屋市が2011年度から保育料を一部値上げすることに反対する親たちが反対署名を市に提出し、記者会見を開いた。

25日 県の情報モラル向上研究会議、「子どもの安全を守るための提言」を発表。

26日 河村名古屋市長、次期教育長に伊藤彰・市会事務局長を登用することを決めた。

27日 豊田市足助町に「体育とスポーツの図書館」が開館。NPO法人が運営。

◆3月

1日 県教委、県立小牧南高校の教諭が、3年生の生徒の通知表と調査書の成績を誤って記載したと発表。

2日 私立愛知高校が卒業式で、女子生徒1人を学費滞納を理由に出席させなかった。

3日 春日井署、小学6年生の男子児童をいじめて恐喝したとして同級生の男子児童2人と別の小学校に通う児童を春日井児童相談センターに通告。

4日 「名古屋音楽クラブ」は県勤労会館を存続するよう求める要望書を河村名古屋市長に提出。

5日 県教委、県立学校長宛に「勤務時間の適正な管理及び長時間労働による健康障害防止について」を通知。

5日 県、「県私学振興事業団」について、廃止も視野に入れて検討することを盛り込んだ同財団の改革プランを公表。

5日 県、若者に向け、マンガで食育を呼

びかける「続・田部家の食育ものがたり
きちんと、食活！」を作成。

5日 県、県立農業大学の研究科を行政
改革の一環として廃止する方針を決めた。
(中日)

5日 名古屋市のトワイライトスクールの
事業者選定で、市長の支援者でもある市経
営アドバイザーの女性が、選定に口出しし
ていたことが分かった。(朝日)

8日 進学塾「名進研」の社長が脱税容疑
で告発されていたことが分かった。

11日 県は「学校給食におけるアレルギー
対応の手引き」を公表した。(中日)

12日 第1回県教育振興基本計画(仮称)
検討会議開催。

12日 県教委は、不審者や犯罪に関する
情報を民間業者から提供を受け、地域ぐる
みで子どもの安全を確保する取組を4月か
ら始める。(朝日)

13日 架空請求で名古屋市教委から教材
費を詐取したとして名古屋市立中学の元学
校事務職員と教材販売業者が逮捕された。

24日 県教委、「学力学習状況充実プラン
-愛知県版分析プログラムを用いた調査結
果の有効活用のために-」(増補版)を作
成。

24日 西尾市教委、普通学級への転入を
希望していた児童の受け入れを認めた。

25日 2008・2009年度県義務教育問題研究
協議会報告書「情報モラル教育推進の手引
き」を公表。

28日 女子大生にわいせつな行為をし、

けがをさせたとして名古屋市立小学校の教
諭が逮捕された。

29日 県、愛知の地域づくりの新たな羅
針盤となる「政策指針2010-2015」を公
表。

30日 名古屋市教委、裏金調査で不正な
経理処理に関与したことが分かった教職員
453人を処分。

30日 名古屋市立北陵中学の3年だった
女子生徒が飛び降り自殺した問題をめぐ
り、学校側が原因究明のための調査、報告
を怠ったとして両親が市に慰謝料を求めた
訴訟で名古屋地裁は両親の請求を棄却。

31日 県、「あいち子ども・若者育成計画
2010」を公表。

◆4月

6日 金城学院大学と尾張旭市教委は、発
達障害児らの支援協定を結んだ。(中日)

14日 県教委、不祥事防止の心構えを記
したチェックカードを教員に配布した。(中
日)

15日 河村名古屋市長が、県護国神社の
例祭に市長の立場で参拝する方針を決めた
ことを受け、共産党市議団は市長に参拝中
止を申し入れた。

16日 17日に予定されていた戦時中の慰
安婦問題の講演会が保守団体の抗議で中止
になったことが分かった。(朝日)

17日 県は、就職浪人の若者を対象に、
給料をもらいながら職場実習を受けられる

就業支援に乗り出すことを決めた。(中日)

17日 豊川市で15年間引きこもっていた男性が、家族を殺傷。

20日 抽出式になった全国学力テストが実施された。県の参加率は25.5%で全国最低。自主参加率は13%、名古屋市や豊田市は自主参加校はなかった。

22日 名古屋市立振甫中学で、1年生の学級編成を間違え、1ヶ月足らずでクラス替えすることが分かった。(朝日)

24日 県教委、2011年度採用の公立学校教員採用試験から、年齢制限を45歳未満から60歳未満までに拡大。(中日)

27日 江南市の市立中学に在学していた女子高校生が、在学中元教諭につきまといわれ精神的苦痛を受けたとして損害賠償を求める訴えを起こしたことが分かった。(中日) 9

◆5月

3日 「全国高校生サミット」が南山大学で開かれた。

6日 県、県審議会等委員への女性の登用率が4月1日現在で37.87%となったと発表。

6日 名古屋市が市内2カ所目の児童相談所を中川区に開設。

7日 名古屋市教委、教員の不祥事再発防止のための手引きを公表。

7日 名古屋市教委、小学校の統廃合を進めるための基本方針を発表。

7日 名古屋市職労、自治労名古屋市労組、賞与7%カットを受け入れる妥協通告。

13日 蒲郡市議会、議場に国旗を掲揚する条例案を可決。

17日 愛教大、2011年度からキャンパス内での全面禁煙実施を宣言。(毎日)

18日 名古屋市教委、教職員服務の手引き書「誇りを胸に」を作成。(中日)

19日 県立芸大、名古屋・栄にサテライトギャラリーを開設。

20日 名古屋市監査委員が公表した監査報告書で、市立学校のずさんな運営実態が明らかになった。

22日 人間環境大学岡崎学園中学校を運営する法人は、2011年度以降の生徒募集の停止を決めた。(毎日)

25日 名古屋市、「トワイライトスクール」の事業者選定をめぐる問題で、選定は適正・公正に行われたと結論づける報告書をまとめた。

28日 名古屋市、裏金をめぐる経理問題で3人を新たに懲戒免職にしたと発表。

29日 「中部 共同親権法制化運動の会」発足。

30日 「反貧困ネットワークあいち」の結成総会が開かれた。

30日 「名城住宅」の跡地の取得を愛知学院大学と中国総領事館が希望していることが分かった。(中日)

31日 河合塾は啓林館と業務提携し、中高一貫校を対象とした数学教科書の副読本を発刊すると発表。

◆6月

- 1 日 岡崎市教委、教員免許更新講習を独自に無料で実施する方針を表明。
- 10 日 千葉県警、児童ポルノ画像投稿の疑いで、豊橋市立小学校の教諭を書類送検。
- 11 日 愛知製鋼は 10 月から東海市にある小学校 12 校で鉄に関する特別授業を実施する。(日経)
- 12 日 春日井市は 2011 年度から小学校の低学年の授業に「書道科」を新設する方針を決めた。(朝日)
- 14 日 京都府警は、発売前の人気マンガを「ユーチューブ」に投稿したとして名古屋市の中学 3 年生を逮捕。
- 19 日 浜名湖で豊橋市立章南中学校の 1 年生と教員が乗ったカッターボートが転覆し、女子生徒が死亡。
- 23 日 天白署は、2008 年に幼児に食事を与えず意識不明にした両親を保護責任者遺棄致傷の疑いで逮捕。
- 30 日 県、児童・障害者相談センターと児童相談センターの 2009 年度の相談実績を発表。児童虐待相談は前年度比 168 件減の 637 件。

◆7月

- 4 日 2009 年度に名古屋市の児童相談所が把握した児童虐待は、前年度より 21 件多い 741 件だったことが分かった。(中日)
- 5 日 豊田市は浄水地区に新設する小学校

について、学校の建設から管理までを地域住民と一緒に進める方式をモデル的に行う。(朝日)

8 日 名古屋市内の児童福祉施設で、09 年、職員の男が男子中学生に性的虐待を繰り返し、懲戒解雇されていたことが分かった。(中日)

8 日 車両火災をくり返していた 19 歳の少年と中学 3 年の少女が逮捕された。

7 日 県公立高校入学者選抜方法協議会議開催、「学習の記録」欄の「選択教科」欄を削除することなどを決める。

14 日 常滑市の小学校の事務長が給食費を着服していたことが分かり、懲戒免職にされた。

22 日 名古屋市は、廃校になった六反小学校の跡地に、不登校の生徒を専門的に受け入れる私立中学校を誘致する方針を固めた。(中日)

25 日 豊田市の放課後児童クラブで、「罰ゲーム」を実施し、「とよた子どもの権利相談室」が是正を求めたことが分かった。(中日)

◆8月

5 日 尾張地方の私立高校で、09 年、バスケットボール部の男性監督が女子部員の肩を抱くなどして懲戒解雇されていたことが分かった。(中日)

5 日 河合塾が税務調査で、法人税と消費税の約 16 億円の申告漏れを指摘されてい

たことが分かった。(中日)

5日 障害を持つ母親らが、NPO法人「ふれ愛名古屋」を結成し、8月に児童デイサービス施設を開いた。(中日)

5日 警察庁の調べによると、県警は1月から6月までの間に7件の児童虐待事件で8人を摘発し(前年比で4件減)、通報で虐待を認知した件数は165件(同44件増)であった。

6日 名城大学、科研費の不正使用があったとして人間学部の男性教授を懲戒免職にしたと発表。

17日 国立大学法人への運営交付金の削減が見込まれる問題で、県都市教育長協議会と県町村教育長協議会が、愛教大支援のアピールを発表。

18日 知多市はNPO法人「子どもの虐待防止ネットワーク・あいち」と協力し、児童虐待を未然に防ぐ取り組みを始めた。(日経)

21日 あいちトリエンナーレ2010開幕。

21日 名古屋大谷高校の吹奏楽部の部員が合宿中に飲酒していたことが分かった。(中日)

24日 豊橋市の「知的障害養護学校の増設を求める家族の会」が、県に、知的障害児が通う特別支援学校を同市内に設置するよう求める要望書と署名を提出。

25日 県がまとめた2010年度学校基本調査結果(速報)で高校卒業者の大学進学率が60.1%で、初めて6割を超えたことが分かった。

25日 県、名古屋市、愛知労働局は、県内の経済主要団体に、来春卒業予定者の雇用確保に力を入れるように要請。

27日 県生涯学習推進センターで、県内の子どもが作成するインターネット上のサイトを監視し、掲示板への悪質な書き込みを削除するボランティアを募集している。(毎日)

28日 岩倉市の11歳の男児が自宅で血まみれで死亡しているのが発見された。知的障害がある兄を殺人の疑いで事情聴取。

◆9月

1日 名古屋市教委、「小規模校対策に関する実施計画」を決定。

2日 県歴史教育者協議会のメンバーが中学生以上の学習教材「たのしくわかる愛知の歴史」を発行。(中日)

7日 河村名古屋市長、校長経験者の教育委員の後任に愛教大教授を選任する意向を表明。

3日 瀬戸市立中学校で中学3年の男子生徒が首をつって自殺。

14日 海陽中等教育学校は、学費を6年間全額免除する「特別給費生」制度を2011、12年度の入学者限定で導入する。(朝日)

15日 岡崎市立小学校の男性教諭が、授業中に「殺人」を題材にした問題を出題していたことが分かった。

15日 名古屋市議会で、河村市長は、児童虐待への対策として2011年度から児童

相談所に現職警察官を配置する考えを示した。

15日 名古屋市議会で、教育長は教室へのエアコン設置は困難と答弁。

16日 引きこもりや不登校の相談を、保健所とNPOが1カ所で受け付ける試みが春日井保健所で実施された。

22日 中京大学の資格センターの元職員が教材費などの名目で受け取った金を着服していたことが分かった。(中日)→10月21日に業務上横領の疑いで逮捕。

30日 春日井市は、書道を小学校の正式科目とすることを決め、2011年度からモデル校2校で実施する。(毎日)

◆10月

1日 県教委は、教員採用試験の2次試験の合格者番号の名簿が、発表予定日前の9月30日から閲覧可能となるミスがあったと発表。

10日 一宮市の市立中学で、男性教諭が1年の男子生徒を教室に入るように注意した際もみ合いになり、骨折させていたことが分かった。(中日)

14日 県、男女共同参画に関する2009年度年次報告書を発表。

19日 県立高校の教員の13%が、国が「過労死の危険がある」とみなす月80時間以上の残業をしていることが県教委の調査で分かった。(中日)

21日 東署は、生後2週間の乳児にミル

クなどを与えなかったとして保護責任者遺棄の疑いで32歳の母親を逮捕。

23日 県立東海商業高校の中間試験で、「校長を暗殺した犯人は誰か」という不適切な出題があったことが分かった。(中日)

◆11月

5日 県教委、2011年度公立高校生徒募集計画を発表。県立高全体で24学級減。鳳来寺高校は閉校。

11日 安城市の男性が発達障害などがあると考えられる児童や生徒に対する指導助言文書の開示を求めたのに拒否されたとして、刈谷高校の文書に関する不開示の取り消しを求めた訴訟で、名古屋地裁は不開示を取り消すよう命ずる判決。

12日 清須市立西枇杷島小学校に通っていた男子と両親が、水泳の授業でおぼれて重い障害を負ったのは学校側の管理が不十分だったとして同市に損害賠償を求めた訴訟の第1回口頭弁論が開かれた。

17日 県の教職員評価制度検討協議会で、制度の「本格実施」を2012年度とすることが提案され、実施時期が先送りされた。

◆12月

1日 県、県内大学・短大の10月末現在の就職内定率が47.6%で前年度より4.2ポイント減と発表。

2日 梅村学園の理事長と副理事長が、国税調査の結果、学園の施設工事の受注業者

から自宅の修繕などの1億2千万円相当の利益供与を受けながら申告していなかったことが分かった。(朝日)

4日 名古屋外国語大学は、11年秋からにも、海外の大学に留学する生徒に全費用を補助する制度をスタートさせる。(中日)

6日 名古屋市内のある中学校で、1年生の女子が半年近く深刻ないじめを受けていたことが分かった。(中日)

8日 名古屋女子大学などを運営する学校法人「越原学園」が金融取引で58億円の含み損を抱えていることが分かった。(日経)

10日 「あいち定時制・通信制父母の会」は、定員増など教育の充実を求める署名を県教委に提出。

11日 愛知学院の学院長の長男が、副学長だったときパワーハラスメント行為をしたと大学が認定していたことが分かった。(中日)

16日 文科省、全国体力テストの結果を公表。愛知は小学男女、中学男女とも30位台。

18日 「子ども・子育て新システム」を考えるシンポジウムが青年会館で、反対集会とパレードが中区で行われた。

21日 県、「あいちの教育に関するアクションプラン2(仮称)ー愛知県教育振興基本計画ー」(素案)に対するパブリックコメントを開始。

21日 県教委、中学卒業見込み者の進路希望状況調査結果を発表。高校等進学希望

率は95.4%、全日制への進学希望は92.4%。

25日 精神疾患で2009年度中に休職した教員は全国で5458人と過去最高で、愛知県は0.57%の教員が該当することが文科省の調査で分かった。(朝日)

27日 県立芸術大学は美術学部の男性准教授を、セクハラ行為を繰り返したとして減給処分にしたと発表。

28日 名古屋市教委、「不登校対応の私立中学校」を運営する法人について国際学園に決めたと発表。名称は「星槎名古屋中学校」を予定。

29日 名古屋市教委、2011年度から企業OBらを担任補助で通年登用する制度を導入する。(中日)

*本動向作成にあたっては、中日新聞、朝日新聞、毎日新聞などの教育関係記事を基本資料とした(いずれも名古屋版)。項目により発生日日が確定できなかったものは新聞掲載月日で示し、掲載紙名を括弧内に記した。

[あいち民研研究部長、名古屋造形大学]